

^{NTT}
docomo

L-01L

LG style 2

取扱説明書

はじめに

L-01Lをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

取扱説明書について

■「クイックスタートガイド」(本体付属品)

各部の名称と機能について説明しています。

■「取扱説明書」アプリ (eトリセツ) (本端末のアプリ)

機能の詳しい案内や操作について説明しています。
フリーワード検索や表示中のページから設定画面やアプリを直接起動できるなど、本端末をより便利にお使いになれます。



【ご利用方法】

ホーム画面で「アプリフォルダ」→「取扱説明書」

※ 初めてご利用になる場合は、画面の指示に従って本アプリをダウンロードしてインストールする必要があります。

※ 「my daiz」から「取扱説明書」(eトリセツ) アプリを呼び出すこともできます。



■「取扱説明書」(PDFファイル)

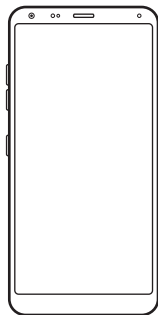
機能の詳しい案内や操作について説明しています。
ドコモのホームページでダウンロードできます。

お知らせ

- ・ 本書においては、「L-01L」を「本端末」と表記しています。
- ・ 本書は、初期状態の内容を記載しています。
- ・ 本端末は、品質改善や機能の追加のため、オペレーティングシステム (OS) のバージョンアップを行うことがあります。その際、操作方法が変更になったりすることがありますので、機能の追加や操作方法の変更などに関する情報は、ドコモのホームページをご覧ください。また、古いOSバージョンで使用していたアプリが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- ・ 本書は端末カラーが「Gold」、ホームアプリが「docomo LIVE UX」の場合で説明しています。
- ・ 本書の内容やホームページのURLに関して、将来予告なしに変更することがあります。
- ・ 本書に記載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- ・ 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。

本体付属品

■ L-01L本体



■ クイックスタートガイド ／ご利用にあたっての注 意事項



■ テレビアンテナケーブル L01



■ SIM取り出しツール (試供品)



■ クリーニングクロス (試供品)



本端末に対応するオプション品（別売）は、ドコモのオンラインショップでも確認、購入いただけます。
<https://onlineshop.smt.docomo.ne.jp/options/search.html>

目次

本体付属品	1
本端末のご利用について	5
安全上のご注意（必ずお守りください）	7
取り扱い上のご注意	22
防水／防塵、耐衝撃性能	30
ご使用前の確認と設定	36
各部の名称と機能	36
ドコモnanoUIMカード	38
microSDカード	41
充電	43
電源を入れる／切る	45
基本操作	47
文字入力	53
初期設定	57
本端末で利用する暗証番号について	58
通知LED	60
画面表示とアイコン	61
タスクマネージャー	65
マルチウィンドウ	66
ホームアプリの切り替えかた	67
docomo LIVE UX	68
ホーム画面の見かた	68
ホーム画面の管理	70
アプリ一覧	73
おすすめアプリを利用	80

アプリを探す	80
ホーム画面のバックアップと復元	81
マイマガジン	82
my daiz NOW	83
ホームアプリの情報	84
電話	85
電話をかける	85
電話を受ける	89
通話中の操作	92
通話履歴	94
伝言メモ	96
通話設定	97
電話帳	102
メール／ウェブブラウザ	106
ドコモメール	106
+メッセージ	106
Gmail	111
緊急速報「エリアメール」	112
ウェブブラウザ	115
カメラ	119
カメラ	119
ギャラリー	125
アプリ	129
dメニュー	129
dマーケット	129

Playストア	130
おサイフケータイ	132
iDアプリ	135
テレビ（ワンセグ）	136
音楽	145
GPS／ナビ	147
時計	150
カレンダー	152
Qメモ+	154
オーディオレコーダー	155
電卓	156
ドコモデータコピー	157
本体設定	160
設定メニュー	160
ネットワークとインターネット	161
接続	173
サウンド	174
表示	175
ロック画面とセキュリティ	176
プライバシー	181
位置情報	182
便利な機能	182
Digital Wellbeingと保護者による使用制限	183
アプリと通知	184
バッテリー	187
ストレージ	188
ドコモのサービス／クラウド	189
アカウント	190

Google	191
システム	192
ユーザー補助	196
ファイル管理	199
ストレージ構成	199
ファイル操作	200
データ通信	202
Bluetooth®通信	202
NFC通信	206
外部機器接続	208
パソコンとの接続	208
プリンターとの接続	210
DLNA 機器との接続	211
その他の機器との接続	211
海外利用	214
国際ローミング（WORLD WING）の概要	214
海外で利用可能なサービス	214
海外でご利用になる前に	215
滞在先で電話をかける／受ける	217
国際ローミングの設定	220
帰国後の確認	222
付録／索引	223
トラブルシューティング（FAQ）	223
あんしん遠隔サポート	233
保証とアフターサービス	234
ソフトウェアアップデート	236
アプリの更新	239
主な仕様	240

携帯電話機の比吸収率 (SAR) について	244
Specific Absorption Rate (SAR) of Mobile Phones	245
Radio Frequency (RF) Signals	247
Regulatory information (FCC ID number, etc.)	248
FCC Statement for the USA	249
Declaration of Conformity	250
Important Safety Information	252
輸出管理規制	253
知的財産権	254
SIM ロック解除	257
索引	258

本端末のご利用について

- ・本端末は、LTE・W-CDMA・GSM／GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- ・本端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない場所、屋外でも電波の弱い場所、LTEサービスエリアおよびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしの良い場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強く電波状態アイコンが4本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- ・本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、LTE・W-CDMA・GSM／GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- ・本端末は、音声デジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い場所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- ・お客様ご自身で本端末に登録されたデータは、定期的にメモを取ったり、microSDカードやパソコンなどの外部記録媒体に保管して下さるようお願いいたします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリやアクセスしたサイトなどによっては、本端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用されたりする可能性があります。このため、ご利用になるアプリやサイトなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。
- ・本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケットパック／パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- ・お客様がご利用のアプリやサービスによっては、Wi-Fi®通信中であってもパケット通信料が発生する場合があります。

- ・ microSD カードや端末の空き容量が少ない場合、起動中のアプリが正常に動作しなくなることがあります。その場合は保存されているデータを削除してください。
 - ・ 紛失に備え画面ロックのパスワードなどを設定し、本端末のセキュリティを確保してください。
 - ・ 万が一紛失した場合は、Gmail、Google PlayなどのGoogle サービスやSNSなどを他の人に利用されないように、パソコンより各種サービスアカウントのパスワード変更や認証の無効化を行ってください。
 - ・ Google LLC が提供するアプリを含む第三者提供サービスおよびアプリのご利用にあたっては、Google および各提供元が定める利用規約などをご確認ください。当該サービスおよびアプリに起因するすべての不具合について、当社としては一切の責任を負いかねます。
 - ・ 利用規約などが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
 - ・ アプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
 - ・ spモード、mopera U およびビジネスmoperaインターネット以外のプロバイダはサポートしていません。
 - ・ ご利用の料金など詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。
 - ・ ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これはディスプレイの特性であり故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- ・ 市販のオプション品については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^(※1) を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^(※1) を負う可能性が想定される」内容です。
	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷 ^(※2) を負う可能性が想定される場合および物的損害 ^(※3) の発生が想定される」内容です。

※1 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

- ※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。
- ※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

 禁止	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。
 分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
 濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
 指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。
 電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

本端末、アダプタ、テレビアンテナケーブル、ドコモ nanoUIM カードの取り扱いについて（共通）

⚠ 危険



禁止

高温になる場所や熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

砂や土、泥をかけたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水・防塵性能については以下をご参照ください。
→P30「防水／防塵、耐衝撃性能」



禁止

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡れた状態では、充電しないでください。
また、風呂場などの水に触れる場所では、充電しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
→P30「防水／防塵、耐衝撃性能」



禁止

本端末に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特に衣類のポケットに入れて持ち運ぶ場合は、ぶつけたり、物に挟んだりしないでください。

内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

※ご注意ください例

- ・ズボンやスカートのポケットに入れた状態で座ったり、しゃがんだりする
- ・上着のポケットに入れた状態で、扉や自動車のドアに挟む
- ・ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける



禁止

本端末の内蔵電池を取り外そうとしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

本端末の背面カバーを取り外そうとしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



分解禁止

分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



水濡れ禁止

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水性能については以下をご参照ください。

→P30「防水／防塵、耐衝撃性能」



水濡れ禁止

充電端子や外部接続端子に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水性能については以下をご参照ください。

→P30「防水／防塵、耐衝撃性能」



指示

オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。

指定以外のものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠ 警告



禁止

落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。火災、やけどなどの原因となります。



指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

可燃性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

可燃性ガスなどへの引火により、爆発や火災などの原因となります。



指示

ガソリンスタンド構内などでの使用については、各施設の指示に従ってください。

ガソリンスタンド構内などでは充電をしないでください。

また、ガソリンスタンド構内などでご使用になる際は落下などに注意し、特に給油中は使用しないでください。

可燃性ガスなどへの引火により、爆発や火災などの原因となります。



指示

使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は安全に注意し、次の作業を行ってください。

- ・電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜く。
- ・本端末の電源を切る。

上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠ 注意



禁止

破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。パイプレタ設定中は特にご注意ください。
落下して、けがなどの原因となります。



禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
防水・防塵性能については以下をご参照ください。
→P30「防水／防塵、耐衝撃性能」



禁止

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。



禁止

乳幼児の手の届く場所に置かないでください。
ドコモ nanoUIMカード／ microSDカード
トレイやSIM取り出しツールなどの小さい
部品の保管場所には特にご注意ください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。



指示

本端末を継続してご使用になる場合や充電中は温度が高くなることがありますのでご注意ください。また、衣類のポケットに入れたり、眠ってしまったりするなどして、意図せず継続して触れることがないようにご注意ください。

アプリ、通話、データ通信、テレビや動画視聴など、長時間の使用や充電中は、本端末やアダプタの温度が高くなることがあります。温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

本端末の取り扱いについて

⚠ 危険



禁止

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

鋭利なもの(釘など)を刺したり、硬いもの(ハンマーなど)で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

本端末内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

本端末内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。

⚠ 警告



禁止

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯、発光させないでください。特に、乳幼児に対しては十分に距離を離してください。

視力障害などの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。



禁止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯、発光しないでください。

運転の妨げとなり、事故などの原因となります。



禁止

点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。

けいれんや意識喪失などの原因となります。



禁止

本端末内のドコモnanoUIMカード／ microSDカードトレイの挿入口に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や金属片（カッターの刃やホチキスの針など）、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

また、ドコモnanoUIMカードやmicroSDカードの挿入場所や向きを間違えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

カメラのレンズに直射日光などを長時間当てないでください。

レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

航空機へのご搭乗にあたり、本端末の電源を切るか、機内モードに設定してください。

航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。

なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。



指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。

使用を禁止されている場所では、本端末の電源を切ってください。

電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

ハンズフリーに設定して通話するときや、大きな音で着信音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

ハンズフリーに設定して通話すると、本端末から大きな音が出ます。

待ち受け中であっても、突然の着信音やアラーム音が鳴動する場合があります。
大きな音を長時間連続して聞くと、難聴など耳への障害の原因となります。

また、音量が大きすぎると周囲の音が聞こえにくく、事故の原因となります。



指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

突然の着信バイブレータ（振動）や着信音の鳴動に驚き、心臓に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用になる方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



指示

ディスプレイ部やカメラのレンズなどのガラスを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

内蔵電池内部の物質が漏れたり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。



指示

ペットなどが本端末に噛みつかないようにご注意ください。内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

注意



禁止

モーションセンサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。けがなどの事故の原因となります。



禁止

ディスプレイを破損し、内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった本端末は、ドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。



禁止

内蔵電池内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。

内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



指示

ドコモ nanoUIM カードの取り外しの際は、指などの体の一部を傷つけないよう、SIM 取り出しツールまたはペーパークリップの先端にご注意ください。

SIM 取り出しツールまたはペーパークリップの先端に触れると、けがなどの原因となります。



指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



指示

本端末の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。

各箇所の材質については以下をご参照ください。

→ P20 「材質一覧」



指示

本端末のスピーカー部、受話口（レシーバー）部、バイブレータ（音量キー付近）部、メインカメラ部に磁気を発生する部品を使用しているため、金属片（カッターの刃やホチキスの針など）が付着していないことを確認してください。

付着物により、けがなどの原因となります。



指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。

暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

アダプタの取り扱いについて

警告



禁止

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。

感電などの原因となります。



禁止

コンセントやアクセサリソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、体の一部を触れさせないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

アダプタのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属類を接触させないでください。火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

ACアダプタに変圧器（海外旅行用のトラベルコンバーターなど）を使用しないでください。発火、発熱、感電などの原因となります。



禁止

本端末にアダプタを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコードや充電端子、電源プラグに触れないでください。火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

指定の電源、電圧で使用してください。また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。誤った電源、電圧で使用するすると火災、やけど、感電などの原因となります。
ACアダプタ：AC100V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）



指示

DCアダプタのヒューズを交換する場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。指定以外のヒューズを使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。指定のヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。



指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

アダプタをコンセントやアクセサリースocketに差し込むときは、確実に差し込んでください。

確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

電源プラグをコンセントやアクセサリースocketから抜く場合は、アダプタのコードを引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタを持って抜いてください。

アダプタのコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

本端末にアダプタを抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。

正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。

充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

使用しない場合は、電源プラグをコンセントやアクセサリースocketから抜いてください。

電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）が付着した場合は、直ちに電源プラグをコンセントやアクセサリースocketから抜いてください。

付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやアクセサリースocketから抜いて行ってください。

抜かずに行くと、火災、やけど、感電などの原因となります。

注意



禁止

コンセントやアクセサリースOCKETにつないだ状態でアダプタに継続して触れないでください。
やけどなどの原因となります。

ドコモ nanoUIM カードの取り扱いについて

注意



指示

ドコモ nanoUIM カードを取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。
切断面が鋭利になっている場合があります、けがなどの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

警告



指示

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末を 15cm 以上離して携行および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器をご使用になる場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください（機内モードまたは電源オフなど）。

付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

材質一覧

■ L-01L本体

使用箇所	材質	表面処理
外装ケース（上下）	アルミニウム＋PBT GF40%	インサート射出＋CNC加工＋研磨＋陽極酸化
外装ケース（前面部）	PC射出	ブラック光沢処理
外装ケース（背面部）	アクリル樹脂＋PC	UV モールディング＋蒸着＋印刷
外装ケース（左右）	アルミニウム＋PBT GF40%	インサート射出＋CNC加工＋研磨＋陽極酸化
ディスプレイ	ガラス	—
USB Type-C 接続端子	PBT-GF40%	—
受話口（レシーバー）	STS 304	焼付塗装
サブマイク	アルミニウム	—
電源キー／音量キー／Google アシスタントキー	PC+TPU	塗装

使用箇所	材質	表面処理
イヤホンマイク端子	PBT+GF40%	—
ドコモ nanoUIM カード ／ microSD カードトレイ (外装)	PC+GF5%	UV2コーティング
ドコモ nanoUIM カード／ microSD カードトレイ (トレイ)	PC+GF5%	—
ドコモ nanoUIM カード／ microSD カードトレイ (バックン)	TPE	—
外装ケースの飾り (上下)	PBT+GF40%	—
カメラレンズ飾り	アルミニウム	ダイヤカット、陽極酸化
カメラレンズ	ガラス	—
フラッシュ	アクリル樹脂 +透明PC	内側鋸歯状適用
指紋認証キー	EMC	焼付塗装
指紋認証キー飾り	アルミニウム	ダイヤカット、陽極酸化

■ テレビアンテナケーブル L01

使用箇所	材質	表面処理
イヤホンマイク端子 (先端部)	銅	ニッケルメッキ
イヤホンマイク端子 (外装)	TPE_ JS400-78A	Non PVC
ケーブル	TPE_ JS400-78A	Non PVC
接続プラグ (先端部)	銅	金メッキ
接続プラグ (外装)	TPE_ JS400-78A	Non PVC

■ SIM取り出しツール

使用箇所	材質	表面処理
本体	SUS304	—

■ クリーニングクロス

使用箇所	材質	表面処理
本体	ポリエステル 70%、 ナイロン 30%	—

試供品（SIM取り出しツール、クリーニングクロス）の取り扱いについて

■ SIM取り出しツール、クリーニングクロス（共通）

注意



禁止

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。

誤飲、けが、感電などの原因となります。



禁止

乳幼児の手の届く場所に置かないでください。SIM取り出しツールなどの小さい部品の保管場所には特にご注意ください。

誤飲、けが、感電などの原因となります。

■ SIM取り出しツール

警告



禁止

SIM取り出しツールの先端部は尖っています。本人や他の人に向けて使用しないでください。

けがや失明などの原因となります。

取り扱い上のご注意

共通のお願い

- L-01Lは防水／防塵性能を有しておりますが、本端末内部に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や粉塵などの異物を入れたり、付属品、オプション品にこれらを付着させたりしないでください。

アダプタ、テレビアンテナケーブル、ドコモ nanoUIM カードは防水／防塵性能を有していません。風呂場などの湿気の多い場所や雨などがかかる場所での使用はおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。修理につきましては、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。

- お手入れはクリーニングクロスや乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。

- ・ 強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
- ・ ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
- ・ アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

- 端子や指紋センサーなどは時々清掃し、きれいな状態で使用してください。

端子などが汚れた状態で使用すると、正常にご利用いただけない場合があります。

また、清掃する際には端子などの破損に十分ご注意ください。

- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。

急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

- 本端末に無理な力がかからないように使用してください。

多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、内蔵電池などの故障、破損の原因となります。

また、外部接続機器を外部接続端子に差した状態の場合、故障、破損の原因となります。

- オプション品は、NTT ドコモが指定したものを使用してください。

指定以外のものを使用すると、故障、破損の原因となります。

- 対応の各オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

- 落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障、破損の原因となります。

本端末についてお願い

- ディスプレイを強く押したり、先の尖ったもので操作したりしないでください。

傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。

- 極端な高温、低温は避けてください。

温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。

- 家庭用電子機器（テレビ・ラジオなど）をお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

- お客様ご自身で本端末に登録されたデータは、microSDカード、パソコン、クラウドなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。

万が一登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- 外部接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差ししたり、差した状態で引っ張ったりしないでください。

故障、破損の原因となります。

- 使用中や充電中に本端末が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

- カメラのレンズを直射日光の当たる場所に放置しないでください。

素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

- 通常はドコモnanoUIMカード／ microSDカードトレイを閉じた状態でご使用ください。

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や粉塵などの異物が入り故障の原因となります。

- 指紋センサーに強い衝撃を与えたり、表面に傷をつけたりしないでください。

指紋センサーの故障の原因となるだけでなく、認証操作ができなくなる場合があります。

- microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。

データの消失、故障の原因となります。

- 磁気カードや磁気を帯びたものを本端末に近づけないでください。

キャッシュカード、クレジットカード、交通系ICカードなどのデータが消えてしまうことがあります。
また、強い磁気を近づけると本端末の誤動作の原因となります。

- 本端末をフィルムやシールで装飾しないでください。
近接センサーを使用する各種機能が正常に動作しない場合があります。

近接センサーの位置は、以下をご参照ください。

→ P36「各部の名称と機能」

- 内蔵電池は消耗品のため、保証対象外です。

内蔵電池の使用条件により、寿命が近づくにつれて内蔵電池が膨れる場合があります。

十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときや、内蔵電池が膨らんでいるときは内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換につきましては、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。

- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。

- 内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。

- 本端末を保管される場合は、内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となるため、下記のような状態で保管しないでください。

- ・ フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
 - ・ 電池残量なしの状態（本端末の電源が入らない程消費している状態）での保管
- なお、保管に適した電池残量の目安は40パーセント程度です。

- 本端末の内蔵電池の種類は次のとおりです。

表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

アダプタについてのお願い

- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
 - ・ 湿気、ほこり、振動の多い場所
 - ・ 家庭用電子機器（テレビ・ラジオなど）の近く
- 充電中にアダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
故障の原因となります。

ドコモ nanoUIM カードについてのお願い

- ドコモ nanoUIM カードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- 他の IC カードリーダー／ライターなどにドコモ nanoUIM カードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。

- IC 部分は時々清掃し、きれいな状態で使用してください。
IC 部分が汚れた状態で使用すると、正常にご利用いただけない場合があります。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身で、ドコモ nanoUIM カードに登録されたデータは、microSD カード、パソコン、クラウドなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。
万が一登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったドコモ nanoUIM カードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- IC を傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。
- ドコモ nanoUIM カードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となります。
- ドコモ nanoUIM カードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因となります。
- ドコモ nanoUIM カードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けしないでください。
故障の原因となります。

Bluetooth[®]機能を利用する場合 のお願い

- 本端末は、Bluetooth[®]機能を利用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth[®]標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth[®]機能を利用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth[®]機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 周波数帯について
本端末のBluetooth[®]機能／無線LAN機能が利用する周波数帯は、次のとおりです。

2.4FH1/DS4/OF4/XX8

- 2.4 : 2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
- FH/DS/OF/XX: 変調方式がFH-SS、DS-SS、OFDM、その他の方式であることを示します。
- 1 : 想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
- 4 : 想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。

- 8 : 想定される与干渉距離が80m以下であることを示します。
- : 2400MHz～2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャネルは国により異なります。
航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。

● Bluetooth[®]機器使用上の注意事項

本端末の利用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで利用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに利用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

無線LAN (WLAN) についてのお願い

- 無線LAN (WLAN) は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、利用することを推奨します。
- 無線LAN機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 無線LANについて
電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで利用しないでください。
 - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
 - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
 - 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを利用していると、正しく検索できない場合があります。

- WLANを海外で利用する場合、ご利用の国によっては利用場所などが制限されている場合があります。その場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

● 2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

● 5GHz機器使用上の注意事項

本端末は、5GHzの周波数帯において、5.2GHz帯 (W52)、5.3GHz帯 (W53)、5.6GHz帯 (W56) の3種類の帯域を使用できます。

- W52 (5.2GHz帯／36、40、44、48ch)
- W53 (5.3GHz帯／52、56、60、64ch)
- W56 (5.6GHz帯／100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch)

5.2/5.3GHz帯無線LANの屋外利用は法律で禁止されています (5.2GHz帯高出力データ通信システムのアクセスポイント／中継局と通信する場合を除く)。

FeliCaおよびNFCリーダー／ライターについてお願い

- 本端末のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター、P2P機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を利用しています。
- 使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター、P2P機能をご利用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を利用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。

- 航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。ご利用の国によっては利用が制限されている場合があります。その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

試供品 (SIM取り出しツール、クリーニングクロス) についてお願い

SIM取り出しツール

- SIM取り出しツールに無理な力がかからないように使用してください。
故障、破損の原因となります。
- 廃棄の際は、それぞれの地域ルールにしたがって分別廃棄を行ってください。
- SIM取り出しツールは他の携帯端末には使用しないでください。
携帯端末の故障、破損の原因となります。

クリーニングクロス

- クリーニングクロスが水などの液体 (飲料水、汗、海水、ペットの尿など) を含んだ場合には、乾いた柔らかい布などで軽く拭き、陰干しを行ってください。
- クリーニングクロスでお手入れの際は、本端末に無理な力がかからないように使用してください。
故障、破損の原因となります。

注意

- 改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。

本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技適マーク」が本端末の電子銘板に表示されております。電子銘板は、本端末で次の手順でご確認いただけます。

ホーム画面で「設定」→「システム」→「規制と安全に関する情報」

本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

- 自動車などを運転中の使用にはご注意ください。
法令で定める場合を除き、運転中に本端末の画面を注視したり、手で持って通話することは、罰則の対象となります。

- 本端末のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。
海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。
- 基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。
ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

防水／防塵、耐衝撃性能

L-01Lは、ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイを確実に取り付けけた状態で、IPX5^{*1}、IPX8^{*2}の防水性能、IP6X^{*3}の防塵性能を有しています。また、MIL規格に準拠する試験^{*4}をクリアした耐衝撃構造を採用しています。

- ※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L／分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、通信機器としての機能を有することを意味します。
- ※2 IPX8とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mのところに携帯電話を静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに通信機器としての機能を有することを意味します。
- ※3 IP6Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に携帯電話を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに電話機の内部に塵埃が侵入しない機能を有することを意味します。
- ※4 米国国防総省が制定したMIL-STD-810G Method 516.6-Shockに準拠した独自の落下試験を実施しています。

項目	試験内容
低圧動作	連続1時間（57.2kPa／高度約4,572m相当）の低圧動作
高温動作	動作環境：43℃で連続4時間、保管環境：63℃で連続4時間の高温耐久試験
高温保管	
低温動作	動作環境：-21℃で連続4時間、保管環境：-33℃で連続4時間の低温耐久試験
低温保管	
温度衝撃	-21～43℃の急激な温度変化を2時間周期で3回繰り返す温度耐久試験
雨滴	降雨量2cm/hour、15分間の降雨試験
湿度	連続15日間（湿度88～59%、温度31～41℃）の高湿度試験
塩水噴霧	連続24時間の塩水噴霧後、24時間乾燥を4日間繰り返す塩水耐久試験
粉塵	連続6時間（風速8.9±1.3m/sec、濃度10±7g/m ³ ）の粉塵試験
浸漬	約1±0.1mの水中に30分間浸漬する試験

項目	試験内容
振動	3時間（3方向各1時間／20～2,000Hz）の振動試験
衝撃	高さ1.22mから10方向へ落下試験

※ 米国防総省の調達基準（MIL-STD-810G）の13項目、浸漬、雨滴、粉塵、衝撃、振動、湿度、塩水噴霧、高温保管、高温動作、低温保管、低温動作、低圧動作、温度衝撃に準拠した試験を実施しています。本端末の有する性能は試験環境下での確認であり、実際の使用時すべての環境での動作を保証するものではありません。また、無破損、無故障を保証するものではありません。

L-01Lが有する防水性能でできること

- 雨の中で傘をささずに通話ができます（1時間の雨量が20mm程度）。
- 洗面器などに張った真水・常温（5℃～35℃）の水道水に浸けて、静かに振り洗いでできます。
 - ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイが外れて隙間が空かないように押さえたまま、強くこすらずに洗ってください。
 - 洗うときは、ブラシやスポンジ、せっけん、洗剤などは使用しないでください。
 - 洗ったあとは、表面を乾いた布でよく拭いて、水抜きを行ってください。→P33
- プールサイドで使用できます。ただし、プールの水をかけたり、プールの水に浸けたりしないでください。

ご使用にあたって

防水／防塵性能を維持するために、必ず次の点を確認してください。

- ・ドコモ nanoUIMカード／ microSD カードトレイは確実に取り付けてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など）が挟まると、水や粉塵が入る原因となります。
- ・受話口（レシーバー）やサブマイク、送話口（マイク）、スピーカー、イヤホンマイク端子、USB Type-C 接続端子を尖ったものでつかないでください。
- ・落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- ・ドコモ nanoUIMカード／ microSD カードトレイのゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。ゴムパッキンをはがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。

防水／防塵性能を維持するため、異常の有無にかかわらず、2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモ指定の故障取扱窓口にお持ちください。

注意事項

次のイラストのように、常温の水以外の液体などをかけたり浸けたりしないでください。

<例>



せっけん／
洗剤／入浴剤



海水



プール



温泉



砂／泥

また、次の注意事項を守って正しくお使いください。

■ 本端末について

- ・お湯に浸けたり、サウナで使用したり、ドライヤーなどの温風を当てたりしないでください。
- ・水滴が付着したまま放置しないでください。USB Type-C 接続端子がショートするおそれがあります。また、寒冷地では、本端末が凍結し、故障の原因となります。
- ・結露防止のため、寒い場所から暖かい場所へは、本端末が常温になってから持ち込んでください。
- ・水中で本端末を使用しないでください。
- ・濡れている状態で絶対に充電しないでください。
- ・洗濯機などで洗わないでください。

- ・本端末は水に浮きません。
- ・砂浜などの上に直接置かないでください。
 - 受話口（レシーバー）やサブマイク、送話口（マイク）、スピーカー、イヤホンマイク端子などに砂などが入り、音が小さくなるおそれがあります。
 - USB Type-C接続端子やイヤホンマイク端子の穴などに砂などが入り、防水性能が損なわれることがあります。
 - 水滴や砂などが付着したままご使用になると、音が割れる場合があります。
- ・受話口（レシーバー）やサブマイク、送話口（マイク）、スピーカー、イヤホンマイク端子に水滴を残さないでください。通話不良となるおそれがあります。
- ・USB Type-C接続端子やイヤホンマイク端子に水滴を残さないでください。ショートするおそれがあります。

■ その他

- ・付属品、オプション品は防水／防塵性能を有しておりません。
- ・実際の使用にあたって、すべての状況の動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

水に濡れたときの水抜きについて

本端末を水に濡らした場合、必ず下記の手順で水抜きを行ってください。

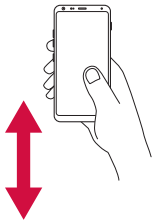
- ・水滴が付着していると、スピーカーなどの音量が小さくなり、音質が変化する場合があります。

1 本端末表面の水分を乾いたきれいな布でよく拭き取る



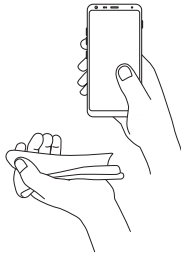
2 本端末をしっかりと持ち、図のように矢印の方向に20回程度、水滴が飛ばなくなるまで振る

- 本端末に水滴が付着していないことを目視で確認してください。



3 乾いたきれいな布に本端末を軽く押し当て、イヤホンマイク端子、送話口（マイク）、受話口（レシーバー）、USB Type-C接続端子、スピーカー、キーなどのすき間に入った水分を拭き取る

- すき間に溜まった水分を綿棒などで直接拭き取らないでください。



4 本端末から出てきた水分を乾いたきれいな布などで十分に拭き取り、しばらく自然乾燥させる

- 水を拭き取ったあとに本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。

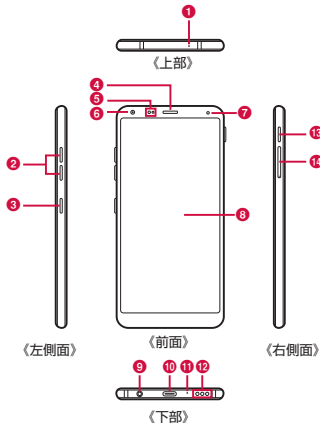
充電のときには

付属品、オプション品は防水／防塵性能を有していません。充電時、および充電後には必ず次の点を確認してください。

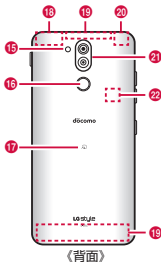
- 本端末が濡れていないか確認してください。本端末が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。
- 濡れた手でACアダプタに触れないでください。感電の原因となります。
- ACアダプタは、風呂場、シャワー室、キッチン、洗面所などの水周りや水のかかる場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能



- 1 サブマイク：通話時に騒音を抑えるために使用します。
- 2 音量キー：各種音量の調節やマナーモードの設定、静止画の撮影などに使用します。
- 3 Google アシスタントキー：Google アシスタントが起動されます。
- 4 受話口（レシーバー）
- 5 近接センサー／照度センサー：通話中に顔の接近を検知して誤動作を防止したり、画面の明るさの自動制御に使用したりします。
- 6 フロントカメラ
- 7 通知LED
- 8 ディスプレイ（タッチスクリーン）（P47）
- 9 イヤホンマイク端子
- 10 USB Type-C 接続端子：充電時などに使用します。USB Power Delivery に対応しています。
- 11 送話口（マイク）
- 12 スピーカー
- 13 電源キー：電源を入れる／切るときや、画面を点灯／消灯するときを使用します。2秒以上押すとメニューが表示され、電源を切る（P45）、再起動、非常用節電モード（P51）の操作ができます。
- 14 ドコモ nanoUIM カード／ microSD カードトレイ



《背面》

- 15 フラッシュ
- 16 指紋センサー※¹
- 17  マーク
- 18 Wi-Fi® / Bluetooth® アンテナ部※²
- 19 LTE / FOMA アンテナ部※²
- 20 GPS アンテナ部※²
- 21 メインカメラ
- 22 Hall-IC センサー※³

※1 センサー部分にはシールなどを貼らないでください。

※2 本体に内蔵されています。手で覆うと通信品質に影響を及ぼす場合があります。

※3 市販のカバーの開閉を認識するためのセンサーです。

お知らせ

- 背面カバーは取り外せません。無理に取り外そうとすると破損や故障の原因となります。
- 本端末の電池は内蔵されており、お客様ご自身では交換できません。

ドコモ nanoUIM カード

ドコモ nanoUIM カードとは、お客様の電話番号などの情報が記憶されている IC カードです。

- 本端末では、ドコモ nanoUIM カードのみご利用できます。ドコモ miniUIM カード、ドコモ UIM カード、FOMA カードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- ドコモ nanoUIM カードが取り付けられていないと、本端末で電話の発信や SMS の送受信、パケット通信などの機能が利用できません。
- 日本国内では、ドコモ nanoUIM カードを取り付けしないと緊急通報番号（110 番、119 番、118 番）に発信できません。
- ドコモ nanoUIM カードについて詳しくは、ドコモ nanoUIM カードの取扱説明書または、ドコモのホームページをご覧ください。
- 電源が入っている状態で、ドコモ nanoUIM カードを取り付けたトレイを抜き差しすると、本端末が再起動します。

ドコモ nanoUIM カードの暗証番号について

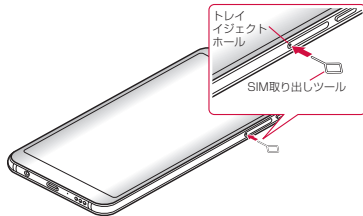
ドコモ nanoUIM カードには、PIN コードという暗証番号を設定できます。ドコモ nanoUIM カードの暗証番号について詳しくは「PIN コード」(P59) をご参照ください。

ドコモ nanoUIM カードの取り付け／取り外し

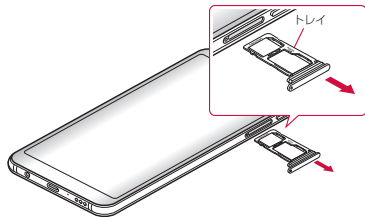
- ドコモ nanoUIM カードの取り付け／取り外しは、必ず本端末の電源を切ってから行ってください。充電している場合は AC アダプタから取り外してください。
- トレイの取り外しは、付属の SIM 取り出しツール（試供品）をご使用ください。
- microSD カードを取り付けている場合は、必ず microSD カードのマウントを解除してから、ドコモ nanoUIM カードの取り付け／取り外しを行ってください（P188）。

■ 取り付けかた

1 SIM 取り出しツールをトレイJECTホールに水平に差し込む

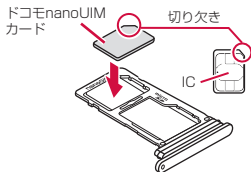


2 トレイをまっすぐに引き出し、本端末から
トレイを取り出す



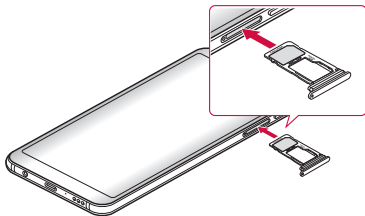
3 ドコモ nanoUIM カードのIC 面を下に向けて
トレイに乗せる

- 切り欠きの方向にご注意ください。



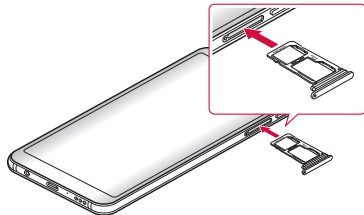
4 トレイを本端末に差し込み、奥までまっす
ぐ押し込む

- 本端末とトレイにすき間がないことを確認して
ください。



■ 取り外しかた

- 1 SIM取り出しツールをトレイジェクトホールに水平に差し込む (P38)
- 2 トレイをまっすぐに引き出し、本端末からトレイを取り出す (P39)
- 3 トレイからドコモ nanoUIM カードを取り出す
- 4 トレイを本端末に差し込み、奥までまっすぐ押し込む
 - ・ 本端末とトレイにすき間がないことを確認してください。



お知らせ

- ・ ドコモ nanoUIM カードを取り扱うときは、IC に触れたり、傷つけないようにご注意ください。
- ・ ドコモ nanoUIM カードを無理に取り付けたり取り外したりしようとすると、ドコモ nanoUIM カードが破損することがありますのでご注意ください。
- ・ 取り外したドコモ nanoUIM カードはなくさないようにご注意ください。
- ・ SIM取り出しツールを紛失した場合には、ペーパークリップで代用できます。



ペーパークリップの例

microSD カード

本端末は、microSD カード（microSDHC カード、microSDXC カードを含む）を取り付けて使用することができます。

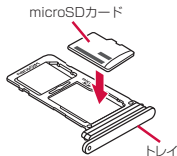
- microSD カードの取り付け／取り外しは、必ず本端末の電源を切ってから行ってください。
- 本端末では市販の2GBまでのmicroSD カード、32GBまでのmicroSDHC カード、512GBまでのmicroSDXC カードに対応しています（2020年9月現在）。
- microSDXC カードは、SDXC 対応機器でのみご利用いただけます。SDXC 非対応の機器にmicroSDXC カードを差し込むと、microSDXC カードに保存されているデータが破損することなどがあるため、差し込まないでください。
- データが破損したmicroSDXC カードを再度利用するためには、SDXC 対応機器にてmicroSDXC カードの初期化をする必要があります（データはすべて削除されます）。
- SDXC 非対応機器とのデータコピーについては、microSDHC カードもしくはmicroSD カードなど、コピー先／コピー元の機器の規格に準拠したカードをご利用ください。
- 市販されているすべてのmicroSD カードの動作を保証するものではありません。対応のmicroSD カードは各microSD カードメーカーへお問い合わせください。

- 他の機器からmicroSD カードに保存したデータは、本端末で表示、再生できないことがあります。また、本端末からmicroSD カードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できないことがあります。
- 本端末に対応しているmicroSD カードのUHS スピードクラスは、クラス1です。
- 本端末に対応しているmicroSD カードのスピードクラスは、最大クラス10です。
- スピードクラスはmicroSD カードの性能であり、スピードクラスの性能のすべての動作を保証するものではありません。

microSD カードを取り付ける

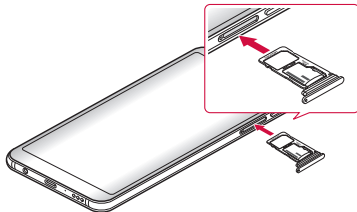
- 1** SIM取り出しツールをトレイジェクトホールに水平に差し込む（P38）
- 2** トレイをまっすぐに引き出し、本端末からトレイを取り出す（P39）

3 microSDカードの金属端子面を下に向けてトレイに乗せる



4 トレイを本端末に差し込み、奥までまっすぐ押し込む

- 本端末とトレイにすき間がないことを確認してください。

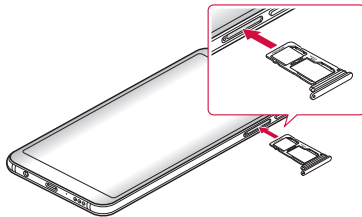


microSDカードを取り外す

microSDカードを取り外す場合、必ずSDカードのマウント解除を行ってから取り外してください (P188)。

- 1 SIM取り出しツールをトレイJECTホールに水平に差し込む (P38)
- 2 トレイをまっすぐに引き出し、本端末からトレイを取り出す (P39)
- 3 トレイからmicroSDカードを取り外す
- 4 トレイを本端末に差し込み、奥までまっすぐ押し込む

- 本端末とトレイにすき間がないことを確認してください。



お知らせ

- SIM取り出しツールを紛失した場合には、ペーパークリップで代用できます。



ペーパークリップの例

microSDカードを初期化する

microSDカードを初期化すると、microSDカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

- 1 ホーム画面で「設定」→「ストレージ」
- 2 「SDカード」→ ⋮ → 「ストレージの設定」
→ 「フォーマット」→ 「フォーマット」→ 「完了」

充電

充電について

- ACアダプタ07（別売）はAC100Vから240Vまで対応しています。
- ACアダプタ07の詳細については、ACアダプタ07の取扱説明書をご覧ください。
- ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- 充電中でも本端末の電源を入れておけば、本端末を操作することができます。ただし、その間は充電量が減るため、充電時間が長くなります。
- ACアダプタのType-Cプラグを抜き差しする際は、無理な力がかからないようにゆっくり確実に行ってください。
- 内蔵電池が空の状態での充電を開始すると、しばらくの間、本端末の電源が入らない場合があります。
- 充電が完了したら、必ずACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 定格電圧が保持されていない状態で充電した場合、充電がされていなかったり、充電が中断されたりする場合があります。

- ・本端末に対応する最新の充電機器は、ドコモのオンラインショップでご確認ください。
<https://onlineshop.smt.docomo.ne.jp/options/search.html>
- ・充電時間や利用可能時間の目安については、「主な仕様」(P240)をご覧ください。

長時間（数日間）充電はおやめください

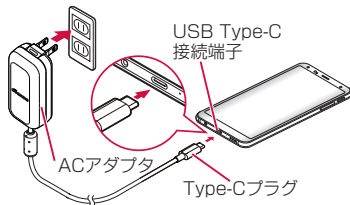
- ・充電したまま本端末を長時間おくと、充電が終わった後、本端末は内蔵電池から電源が供給されるようになるため、実際に使うと短い時間しか使えず、すぐに電池が切れてしまうことがあります。このようなときは、改めて正しい方法で充電を行ってください。再充電の際は、本端末を一度ACアダプタから外し、改めてセットしてください。

内蔵電池の寿命について

- ・内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が次第に短くなります。
- ・充電しながらテレビ視聴などを長時間行くと、内蔵電池の寿命が短くなることがあります。
- ・1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、内蔵電池の寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。内蔵電池の交換につきましては、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」またはドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。

ACアダプタで充電する

ACアダプタ 07（別売）を使って充電する方法を説明します。



- 1 本端末のUSB Type-C 接続端子に、ACアダプタのType-C プラグを水平に差し込む
- 2 ACアダプタの電源プラグを起こし、コンセントに差し込む
 - ・充電中は通知LEDが赤く点灯します。

3 充電が完了したら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから引き抜く

4 本端末からACアダプタのType-Cプラグを水平に引き抜く

DCアダプタ 05で充電する

DCアダプタ 05（別売）は、自動車のアクセサリセット（12V／24V）から充電するための電源を供給するアダプタです。

DCアダプタ 05を使用する場合は、USBケーブル A to C 02（別売）が必要です。

詳しくは、DCアダプタ、USBケーブル A to Cの取扱説明書をご覧ください。

パソコンを使って充電する

USBケーブル A to C 02（別売）を使って本端末とパソコンを接続すると、本端末をパソコンで充電することができます。

- ・パソコンとの接続のしかたは、「本端末とパソコンを接続する」（P209）をご覧ください。
- ・パソコンとUSB接続を行うと、パソコン上にポップアップ画面が表示される場合があります。パソコンと同期せずに充電のみ行いたい場合は、「キャンセル」を選択してください。
- ・本端末の状態により、充電に時間がかかる場合や、充電できない場合があります。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 電源キーを1秒以上押し続ける

- ・本端末が振動し、しばらくするとロック画面が表示されます。
- ・初めて本端末の電源を入れたときは、画面の指示に従って初期設定を行います（P57）。

電源を切る

1 電源キーを2秒以上押し続ける

2 「電源を切る」→「電源を切る」

画面の表示／非表示

本端末では、誤動作の防止と省電力のため、一定時間が経過すると、画面の表示が消え、画面がロックされます。

1 電源キーを押す

- ロック画面が表示されます。
- 再度、電源キーを押すと画面の表示が消え、画面がロックされます。

お知らせ

- 画面が消灯するまでの時間と、消灯後に画面がロックされるまでの時間は設定できます。詳しくは「画面消灯時間」(P175)と「ロックタイマー」(P178)をご参照ください。

画面ロックを解除する

電源を入れたときやディスプレイを表示させたときはタッチスクリーンはロックされています。

1 画面を上下左右のいずれかの方向にスワイプする

- 画面ロックの解除方法は変更できます (P177)。

お知らせ

- 画面ロックを「タッチ」／「スワイプ」に設定している場合は、画面ロックを解除していない状態で、表示されている通知を下にドラッグまたはスワイプして通知パネルを開くことができます (P177)。

ロック画面について



ロック画面（表示例）

- 1 日付と時刻
- 2 通知情報表示エリア
最大3つの最新通知情報の詳細を表示します。
- 3 電話（P85）
- 4 カメラ（P119）

基本操作

本端末は、ディスプレイにタッチスクリーンを採用しており、スクリーンに触れることでさまざまな操作を行うことができます。

タッチスクリーンの使いかた

タッチスクリーン利用上の注意

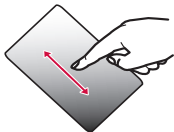
タッチスクリーンは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先が尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。以下の場合にはタッチスクリーンに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。

- 手袋をしたままでの操作
- 爪の先での操作
- 異物を操作面に乗せたままでの操作
- 保護シートやシールなどを貼っての操作
- タッチスクリーンが濡れたままでの操作
- 指が汗や水などで濡れた状態での操作
- 水の中での操作

タッチスクリーンの操作

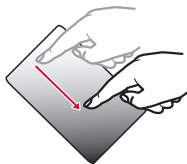
タッチスクリーンでは以下の操作ができます。

- **タップ** : 画面に軽く触れる
- **ダブルタップ** : 画面に2度続けて軽く触れる
- **ロングタッチ** : 画面に1秒以上触れる
- **スワイプ** : 画面を軽くなぞる
 - スワイプすると画面がスクロールします。



- **ドラッグ** : 画面に触れたままなぞって指を離す
 - アイコンやウィジェットなどを移動できます。

- **フリック** : 画面に触れて指をすばやく払う
 - フリックすると画面が高速でスクロールします。スクロール中に画面に触ると、スクロールが停止します。



- **ピンチアウト** : 2本の指で画面に触れ、触れたまま指の間を広げる
 - ピンチアウトすると画面が拡大表示されます。



- **ピンチイン** : 2本の指を開いて画面に触れ、触れたままつまむように指を近づける
- ・ピンチインすると画面が縮小表示されます。



ナビゲーションバー

ナビゲーションバーのスタイルを変更できます。

- 1 ホーム画面で「設定」→「表示」→「ナビゲーションバー」
- 2 「ジェスチャー」／「ジェスチャーおよびボタン」／「基本」

お知らせ

- ・戻るジェスチャーの感度を変更するには、ホーム画面で「設定」→「表示」→「ナビゲーションバー」→「ジェスチャー」→「戻るジェスチャーの感度」のスライダーで調整します。
- ・「ジェスチャー」の操作方法は、ホーム画面で「設定」→「表示」→「ナビゲーションバー」→「ジェスチャー」→「ジェスチャーガイド」で確認できます。

基本のボタン配列を変更する

- ホームタッチボタンは最大5つまで配置可能です。

1 ホーム画面で「設定」→「表示」→「ナビゲーションバー」

2 「ジェスチャーおよびボタン」／「基本」

3 「ボタンの配列」

- 以降は画面の指示に従って操作してください。
- 「ジェスチャーおよびボタン」の場合は、戻るキーのボタンの配列のみ変更できます。

	戻るキー タップすると、直前の画面に戻ります。 または、ダイアログボックス、オプションメニュー、通知パネル、ソフトウェアキーボードを非表示にします。
	ホームキー - タップすると、ホーム画面が表示されます。 - ロングタッチすると、アシスト機能に対応したアプリが起動します。 - アシスト機能に対応したアプリを設定するには、ホーム画面で「設定」→「アプリと通知」→「既定のアプリ」→「アシストと音声入力」→「アシストアプリ」→アプリを選択します。

	履歴キー タップすると、タスクマネージャーが表示されます。
	お知らせキー タップすると、通知パネルを表示／非表示します。
	キャプチャー＋キー タップすると、キャプチャー＋が起動します。

ナビゲーションバーを非表示にする

アプリごとにナビゲーションバーを非表示にできます。ナビゲーションバーは、使用していないときは自動的に非表示になります。ナビゲーションバーを再表示するには、画面下部から上にスワイプします。をにすると、ナビゲーションバーが常時表示（ロック）されます。

1 ホーム画面で「設定」→「表示」→「ナビゲーションバー」

2 「ジェスチャーおよびボタン」／「基本」

3 「ナビゲーションバーを非表示」

4 非表示にするアプリをタップ

画面の表示方向を自動的に切り替える

本端末を横向き／縦向きにすると、自動的に横画面表示／縦画面表示に切り替わるように設定できます。

- 表示中の画面によっては、本端末の向きを変えても表示方向が切り替わらない場合があります。
- 本端末が地面に対して水平に近い状態で向きを変えても、横画面表示／縦画面表示は切り替わりません。

- 1 ホーム画面で「設定」→「表示」
- 2 「縦横表示の自動回転」をONにする

お知らせ

- 通知パネルからも設定できます (P64)。

スクリーンショットを撮る

表示している画面を画像として保存できます。

- 1 電源キーと音量キー（下）を同時に1秒以上押し続ける
 - 撮影したスクリーンショットは、「ギャラリー」や「フォト」アプリで見ることができます。
 - テレビ視聴画面など、画面によっては画像を保存できない場合があります。

非常用節電モード

非常用節電モードを有効にすると、端末の設定や機能を制限して電池の消費を抑えることができます。

非常用節電モードを有効にする

- 1 電源キーを2秒以上押し続ける
- 2 「非常用節電モード」→画面の内容を確認→「OK」
 - 本端末が再起動し、非常用節電モードが有効になります。

お知らせ

- ホーム画面で「アプリフォルダ」→「災害用キット」→→画面の内容を確認→「OK」をタップしても、非常用節電モードを有効にすることができます。
- 非常用節電モードを有効にした場合でも、Wi-Fi®やBluetooth®機能をONにすることができます。

非常用節電モードを解除する

1 電源キーを2秒以上押し続ける

2 「非常用節電モード」→「OK」

- ・非常用節電モードのホーム画面で、「節電解除」→「OK」をタップしても、非常用節電モードを解除することができます。
- ・本端末が再起動し、非常用節電モードが解除されます。

アプリの権限を設定する

本端末の機能や情報にアクセスするアプリや機能を初めて起動すると、アクセス権限を許可するかを確認画面が表示されます。アクセス権限を許可すると、アプリや機能で該当する機能や情報を利用できるようになります。

- ・アプリや機能によって表示される確認画面が異なります。表示内容をよくご確認のうえ操作してください。

<例>「メモ」アプリを初めて起動する

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「メモ」 機能利用の許可画面が表示されます。

2 「OK」→「許可」／「許可しない」

以降は画面の指示に従って操作してください。

お知らせ

- ・アクセス権限を許可しないとアプリや機能を起動できない場合や、機能の利用が制限される場合があります。
- ・権限の設定を変更するには、ホーム画面で「設定」→「アプリと通知」→「アプリ情報」→アプリを選択→「許可」→変更する権限を選択→「許可」／「許可しない」にします。

文字入力

本端末では、タッチスクリーンに表示されるソフトウェアキーボードで文字を入力することができます。

ソフトウェアキーボードでの文字入力

画面上のテキストボックスをタップすると、タッチスクリーンにソフトウェアキーボードが表示されます。本端末では、10キーキーボードとQWERTYキーボード、50音キーキーボード、手書き入力の4種類のソフトウェアキーボードを切り替えて使用できます。

あA1 をタップすると、文字種の変更など、入力操作の切り替えができます。

10キーキーボード／QWERTYキーボード／50音キーキーボード

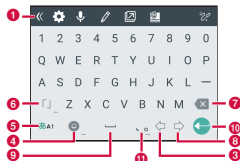
● 10キーキーボード

一般の携帯電話のような入力方法（マルチタップ方式）のキーボードです。入力したい文字が割り当てられているキーを、目的の文字が入力されるまで数回タップします。

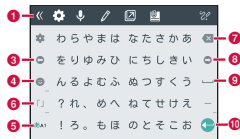


● QWERTYキーボード

パソコンのキーボードと同じ配列のキーボードです。日本語をローマ字で入力します。



● 50音キーキーボード（50音キーキーボード縦書き（右）の例）



① キーボードバー

以下が表示されます。

⏪：キーボードバーに表示される項目を切り替えます。

⚙️：設定メニューが表示されます。キーボードバーに表示される項目を切り替えても常時表示されています。

- : 音声入力モードになります。
- : 手書き入力キーボードを表示します。
- : 入力拡張プラグインを使用できます。
- : クリップボードを表示します。
- : 手書きでGifアニメが作成できます。
- : キーボードの種類を選択します。
- : 辞書に単語を登録できます。
- : ドラッグすることでキーボードが移動できます。
- : フローティングキーボードが表示されます。●をタップするとキーボードの透過度を調整できます。
- をタップすると通常のキーボードに戻ります。
- : ドラッグすることでキーボードの大きさを調整します。

2 逆順キー

タップすると、1つ前の文字を表示（逆順）します。

3 左カーソルキー

- ・左へカーソルを移動します。
- ・変換時は変換範囲を狭めます。
- ・ロングタッチすることで連続移動します。

4 記号／英数カナキー

- ・絵文字／記号／顔文字を表示します。
- ・「英数カナ」と表示されているときは、英数字またはカナの候補を表示します。

5 文字種切替

- ・入力（文字種）を切り替えます。

6 括弧キー

- ・括弧を入力します。
- ・ロングタッチすると、括弧の一覧が表示されます。

- ・英字入力時、タップすると大文字キーと小文字キーを切り替えることができます。

: 小文字

: 文頭だけ大文字

: 全部大文字

- ・10キーキーボードで英字入力時、が表示されます。
- ・QWERTYキーボードで数字入力時、記号が切り替えられます。

7 削除キー

- ・カーソル位置の左の文字を削除します。
- ・ロングタッチすることで連続して削除できます。

8 右カーソルキー

- ・右へカーソルを移動します。
- ・変換時は変換範囲を広げます。
- ・ロングタッチすることで連続移動します。

9 スペース／変換キー

- ・スペースを入力します。
- ・ひらがな入力中は「変換」と表示され、連文節変換候補リストを表示します。

10 確定／実行／改行／検索／次へ／完了キー

- ・入力文字／変換文字を確定します。
- ・すでに入力文字／変換文字が確定されている場合には、入力したテキストボックスの機能（実行／改行／検索／次へ／完了）を実行します。

11 句読点キー

- ・句読点を入力します。
- ・ロングタッチすると、記号の一覧が表示されます。

手書き入力キーボード

キーボードバーで  をタップすると、手書き入力キーボードが表示されます。



1 手書き入力領域

- 文字を書くと、手書き入力領域右側に  が表示されます。 をタップすると、引き続き文字を手書きで入力することができます。

2 メニューキー

- 文字種別と文字認識切替えを選択できます。
- ロングタッチすることで、手書き入力の詳細設定ができます。
- 文字認識切替えを   に設定すると、2つの手書き入力領域が表示されます。交互に1文字ずつ入力します。

3 記号キー

- 絵文字／記号／顔文字を表示します。

4 キーボードタイプキー／クリップボードキー

- 手書き入力キーボード表示前のソフトウェアキーボードに切り替わります。
- ロングタッチすることで、クリップボードを選択できます。

5 スペースキー

- 半角スペースを入力します。

6 左カーソル／右カーソルキー

- カーソル位置を移動します。

7 確定／改行キー

- 入力文字／変換文字を確定します。
- すでに入力文字／変換文字が確定されている場合には、入力したテキストボックスの機能（改行）を実行します。

8 削除キー

- カーソル位置の左の文字を削除します。
- ロングタッチすると連続して削除します。
- 手書き入力領域に入力中は、ロングタッチすると削除方法が選択できます。

 : 領域内の文字をすべて削除

 A : 1文字削除

 : 一画ごと削除

お知らせ

- キー表示は入力画面や文字種により変わります。
- キーボードが不要な場合は、 をタップすることで閉じることができます。再び表示するには、画面上のテキストボックスをタップしてください。

文字入力の設定を変更する

キーボードバーで  をタップすると、文字入力に関する設定が変更できます。

キーボード種類	キーボードの種類が選択できます。
入力モード	入力モードが選択できます。
単語登録	辞書に単語を登録します。
キーボード操作	キー操作効果音、キー操作バイブの設定をします。
フリック・トグル	フリック入力、フリック感度、トグル入力、カーソル自動移動の設定をします。
プラグインへの全文送信	入力フィールドの全文を入力拡張プラグインに送信します。文字が選択状態の場合には選択した文字列が入力拡張プラグインに送信されます。
辞書	辞書の管理ができます。
学習辞書リセット	学習辞書のリセットができます。
初期状態にリセット	キーボードの設定をリセットします。

その他

入力言語、キーボードレイアウト、キーボード操作、予測候補と変換、辞書、手書き入力、入力拡張プラグインなどの設定をします。

お知らせ

- ・ キーボードバーは  → 「初期状態にリセット」 → 「OK」 をタップするとリセットできます。

初期設定

初めて電源を入れたときの設定

初めて本端末の電源を入れたときは、画面の指示に従って使用する言語やGoogleアカウントなどの設定、およびドコモサービスの初期設定を行います。

- ・ネットワークとの接続や設定の省略などによっては手順が異なります。

1 「ようこそ」画面で ➡

- ・「日本語（日本）」をタップすると、言語を変更できます。
- ・以降は画面の指示に従って以下の設定を行ってください。
 - インターネット接続設定
 - アプリとデータのコピー
 - Google アカウントの設定
 - Google サービス
 - 端末の保護
 - Google アシスタントの設定
 - Voice Matchでアシスタントにアクセス

2 「ドコモサービス」画面で注意事項などの内容を確認し、「上記のリンク先の内容に同意する」をONにする→「次へ」

- ・以降は画面の指示に従って以下の設定を行ってください。
 - dアカウント
 - ドコモサービス一括設定

3 「その他の設定項目」画面で設定内容を確認→「設定完了」

4 利用規約を確認する

5 「完了」

お知らせ

- ・設定した各機能は後から変更できるものもあります。
- ・オンラインサービスを設定する前に、データ接続が可能な状態であることをご確認いただくか、Wi-Fi®ネットワークに接続されていることをご確認ください。
- ・Google アカウントを設定しない場合でも本端末をお使いになれますが、Gmail、Google PlayなどのGoogle サービスがご利用になれません。

Google アカウントの設定を行う

Google アカウントとは、Google の各種サービスを利用するためのユーザー名／パスワードです。本端末に Google アカウントを設定することで、Gmail を利用して Eメールを送受信したり、Google Play を利用してアプリやゲームなどのコンテンツをダウンロードしたりできます。

- 1 ホーム画面で「設定」→「アカウント」→「アカウントを追加」
- 2 「Google」
- 3 画面の指示に従って設定

dアカウントの設定を行う

dアカウントとは、スマートフォン、タブレット、パソコンなどで dポイントや dマーケット等のドコモが提供するサービスを利用するときに必要な ID／パスワードです。

- 1 ホーム画面で「設定」→「ドコモのサービス／クラウド」
- 2 「dアカウント設定」

本端末で利用する暗証番号について

本端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要なものがあります。本端末の画面ロック用パスワードやネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、本端末を活用してください。

- ・ 入力した画面ロック用 PIN / パスワード、ネットワーク暗証番号、PIN コード、PIN ロック解除コード (PUK) は、「・」で表示されます。

■ 各種暗証番号に関するご注意

- ・ 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- ・ 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- ・ 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本端末、ドコモ nanoUIM カードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

- ・PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモnanoUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

■ 画面ロック用PIN / パスワード

本端末の画面ロック機能を使用するための暗証番号です。

■ ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただけますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

- ・ ネットワーク暗証番号の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

■ PINコード

ドコモnanoUIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。この暗証番号は、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

PINコードは、第三者によるドコモnanoUIMカードの無断使用を防ぐため、ドコモnanoUIMカードを取り付ける、または本端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の暗証番号です。PINコードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。

- ・ 新しく本端末を購入されて、現在ご利用中のドコモnanoUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。設定を変更されていない場合は「0000」となります。
- ・ PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。

■ PINロック解除コード (PUK)

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、PINロック解除コードはお客様ご自身では変更できません。

- ・ PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、ドコモnanoUIMカードがロックされます。その場合は、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。

PINコードを設定する

本端末の電源を入れたときにPINコードを入力しないと使用できないように設定できます。

- 1 ホーム画面で「設定」→「ロック画面とセキュリティ」
- 2 「UIMカードのロック設定」
- 3 「UIMカードのロック」
- 4 PINコードを入力して「OK」
 - ・「UIMカードのロック」がONになります。

PINコードを変更する

あらかじめPINコードを有効にしておく必要があります。

- 1 ホーム画面で「設定」→「ロック画面とセキュリティ」
- 2 「UIMカードのロック設定」
- 3 「UIM PINの変更」
- 4 すでに設定されているPINコードを入力して「OK」
- 5 新たに設定するPINコードを入力して「OK」
- 6 手順5で入力したものと同一PINコードを入力して「OK」

通知LED

通知LEDの点灯／点滅により、充電状態や不在着信などを通知します。

動作	説明
赤で点灯	充電中
赤で点滅	不在着信、新着＋メッセージの通知あり、音声録音時

画面表示とアイコン

ステータスバー

ステータスバーは画面上部に表示されます。ステータスバーには本端末のステータスと通知情報が表示されます。ステータスバーの左側に通知アイコンが表示され、右側にステータスアイコンが表示されます。

通知アイコン ステータスアイコン



主な通知アイコン

	新着 Gmail あり	P111
	新着 エリアメール あり	P113
	着信中、発信中、通話中	P89
	不在着信あり	P92
	伝言メモあり	P96
	留守番電話あり	-
	アラーム通知あり	P150

	カレンダーに設定された予定あり	P153
	スクリーンショットあり	P51
	音楽アプリで音楽を再生中	P145
	オープンネットワーク (Wi-Fi®) を検出	P165
	USB 接続中	P209
	本端末のメモリの空き容量低下	-
	データアップロード完了	-
	データダウンロード完了	-
	利用可能なアップデートあり	-
	ワンセグ視聴中	P138
	テレビ録画中	P142
	テレビ録画終了	P142
	その他の通知あり	-
	Wi-Fi® テザリング使用可能	P168
	USB テザリング使用可能	P167

	Bluetooth® テザリング使用可能	P169
	Wi-Fi Direct® 接続中	P165
	LG Electronics Inc. が提供するアプリのアップデートあり	P239
	バッテリーセーブ機能 ON	P188
	おまかせロック中	-
	docomo LIVE UX からの通知あり	-
	dアカウント設定の認証失敗	-
	ドコモデータコピーの通知あり	P157
	ドコモアプリの位置情報機能 ON	P189

お知らせ

- ・  は、内部ストレージの容量が不足している場合に表示されます。
- ・  が表示されているときは、アプリをダウンロードしてもインストールができない場合があります。空き容量を確保してから再度アプリのインストールを行ってください。

主なステータスアイコン

	電波レベル	-
	圏外	-
 (灰色)	Bluetooth® 機能 ON	P203
 (白色)	Bluetooth® デバイスに接続中	P204
	国際ローミング中	-
	4G (LTE) 使用可能／通信中*	-
	3G 使用可能／通信中	-
	FOMA ハイスピード／HSDPA 使用可能／通信中	-

	Wi-Fi®接続中／通信中（4段階表示）	P161
	インターネット利用不可のWi-Fi®に接続中	-
	電池残量	-
	充電が必要	P43
	充電中	P43
	高速充電中	P43
	機内モード設定中	P161
	ドコモ nanoUIM カード未挿入	P38
	マナーモード（パイプのみ）	P174
	マナーモード（サイレント）	P174
	アラーム設定中	P150
	Reader/Writer, P2P 機能 ON	P173
	ハンズフリー通話中	P92
	伝言メモ設定中	P96
	GPS 測位中	P147

	本端末とドコモ nanoUIM カードに NFC / おサイフケータイ ロックを設定中	P134
	本端末またはドコモ nanoUIM カードに NFC / おサイフケータイ ロックを設定中	P134
	本端末とドコモ nanoUIM カードにおまかせロックを設定中	-
	本端末またはドコモ nanoUIM カードにおまかせロックを設定中	-
	VPN 接続中	P172
	イヤホン接続中	-
	マイク付きイヤホン接続中	-
	Hi-Fi Quad DAC ON	P174

※ 本端末は、LTE 接続時は常に「4G+」が表示されます。

通知パネル

通知パネルでは、通知の内容を確認したり、アプリの起動や機能の設定などができます。

通知パネルの見かた

1 ステータスバーを下にドラッグまたはスワイプする



- 1 日付と時刻
日付と時刻を表示します。

- 2 クイック設定アイコン欄
各種機能の設定や起動ができます。
・ 展開時に左右にスクロールすると、表示されていないアイコンを表示できます。
- 3 画面の明るさ調整欄
スライダーで画面の明るさを調整します。
・ 「自動」にチェックマークを付けると、画面の明るさを自動で調整します。
- 4 通知情報
通知情報の詳細を表示します。
・ 通知情報の種類によっては、タップすると対応するアプリや機能が起動します。
- 5 通知設定
通知を受信するアプリを選択します。
- 6 通信事業者名
- 7 設定ボタン
「設定」画面が表示されます。
- 8 すべて消去
通知情報と通知アイコンの表示を消去します。
通知内容によっては通知を消去できない場合があります。
- 9 現在の表示位置
クイック設定アイコン欄のページ枚数と現在の表示位置を示します。
- 10 編集
クイック設定アイコンのカスタマイズや並べ替えができます。

通知内容の詳細を表示する

1 通知パネルの通知情報をタップする

- 最適なアプリが開き、通知内容の詳細が表示されます。

通知パネルを閉じる

1 通知パネルを上ドラッグまたはスワイプする

お知らせ

-  をタップして閉じることもできます。

タスクマネージャー

起動中のアプリの確認／終了をします。

1 □ をタップする

- アプリのサムネイルをタップすると、アプリを起動できます。
- サムネイルを上フリックすると、一覧から削除できます。
- サムネイル上部のアイコンをタップして  をタップすると、アプリがマルチウィンドウ (P66) で起動します。
- サムネイル上部のアイコンをタップして  をタップすると、アプリがポップアップウィンドウで起動します。
- サムネイル上部のアイコンをタップして  をタップすると  になり、アプリが固定されてタスクマネージャーではアプリを終了できなくなります。
- 「すべて消去」をタップすると、起動中のアプリをすべて終了します。
- 「画面の固定」(P176) をONにしている場合は、サムネイル上部のアイコンをタップして  → 「固定」をタップすると選択したアプリ以外を使用できないようになります。解除するには  と  をロングタッチします。

お知らせ

- 「ナビゲーションバー」の「スタイル」で「ジェスチャー」を選択している場合（P175）は、画面下部から上にドラッグして指を止めるとタスクマネージャーの操作ができます。

マルチウィンドウ

2つの画面を表示して異なるアプリを同時に使用することができます。

- 表示するアプリをあらかじめ起動しておいてください。
- ご使用のアプリによっては、マルチウィンドウで利用できない場合があります。

1 □ をタップする

- アプリのサムネイルが表示されます。サムネイル上部のアイコンをタップしてマルチウィンドウで起動できるアプリのサムネイルには  が表示されます。

2 アプリのサムネイルの をタップする

- 画面が上下に分割され、アプリが上側の画面に表示されます。

3 下側の画面でアプリをタップする

- アプリが下側の画面に表示されます。

お知らせ

- マルチウィンドウを終了するには、画面中央にある  をタップし  をタップします。

ホームアプリの切り替えかた

- 1 ホーム画面で「設定」→「表示」→「ホーム画面」
- 2 「ホーム選択」→「docomo LIVE UX」／「ホーム」／「ホーム／アプリ一覧」／「easyホーム」
- 3 「OK」

docomo LIVE UX

ホーム画面を直感的にカスタマイズでき、世の中のトレンドや、お客様一人ひとりにあわせたさまざまな情報が雑誌形式で表示される新しい検索サービス「マイマガジン」が利用できるホームアプリです。

docomo LIVE UXの詳細については、ホーム画面で
☰ → ⋮ → 「ヘルプ」を参照するか、以下のホームページをご覧ください。

https://www.nttdocomo.co.jp/service/live_ux/index.html

ホーム画面の見かた

ホーム画面では、アプリを起動したり、ウィジェットを利用したりすることができます。

すべてのアプリはホーム画面上に貼られます。

- ホーム画面を左右にフリックするとページを切り替えられます。
- アプリの通知があるとき、アイコンやフォルダの右上にドット（点）または数字が表示される場合があります。



ホーム画面の表示内容（表示例）

① ウィジェット

- ・ ウィジェット（Google検索）を起動できます。
- ・ ロングタッチするとショートカットメニューが表示され、特定の操作を実行できます。

② アプリアイコン

- ・ タップすると、アプリを起動できます。
- ・ ロングタッチするとショートカットメニューが表示され、特定の操作を実行したり、アプリ情報を確認したりできます。＝ が表示された場合は、ロングタッチして任意の場所までドラッグすると、特定の操作のショートカットをホーム画面に追加できます。

③ インジケーター

- ・ ホーム画面のページ枚数と現在の表示位置を示します。

④ 機能ボタン

- ・ アプリを検索、おすすめアプリを利用（P80）、壁紙・きせかえの変更、ホーム画面の並べ替えができる画面を表示します。

⑤ マチキャラ

- ・ タップすると知りたいことに対話で応えてくれます。

⑥ カスタマイズエリア

- ・ アプリ、ウィジェット、フォルダなどを配置できます。

⑦ フォルダ

- ・ 複数のアプリアイコンなどが格納されています。

⑧ ドック

- ・ ホーム画面のページを切り替えても常に表示されます。

⑨ マイマガジンボタン

- ・ マイマガジンを表示します（P82）。

ホーム画面の管理

アプリなどの移動

- 1 ホーム画面で移動するアプリアイコンやウィジェットなどをロングタッチ
- 2 移動したい位置までドラッグ、または表示された吹き出しの「移動」をタップしドラッグ
 - ・ ホーム画面の端までドラッグすると、隣のページへ移動できます。

ウィジェットなどの削除

- 1 ホーム画面で削除するウィジェットなどをロングタッチ
- 2 「ホーム画面から削除」
 - ・ アプリが格納されているフォルダは削除できません。

アプリのアンインストール

- 1 ホーム画面でアンインストールするアプリアイコンをロングタッチ
 - ・ フォルダ内のアプリをアンインストールする場合は、フォルダをタップしてからアンインストールするアプリをロングタッチします。
- 2 「アンインストール」→「OK」
 - ・ アプリをアンインストールできない場合、「アンインストール」は表示されません。
 - ・ 「アプリ無効化」と表示された場合は、アプリを無効化（P186）することができます。

フォルダ名の変更

- 1 ホーム画面でフォルダを選択
- 2 フォルダ名をタップ
- 3 フォルダ名を入力
 - ・ キーボードに表示される  をタップします。

ホーム画面の設定

1 ホーム画面でアイコンなどがない部分をロングタッチ

2 項目を選択

フォルダを作成	フォルダを追加します。
壁紙・きせかえ	壁紙やきせかえを変更することができます。
ウィジェットを貼り付け	ウィジェット一覧を表示します。 ウィジェットをホーム画面に追加する場合は、ホーム画面のウィジェットを貼り付けたい部分をロングタッチ→「ウィジェットを貼り付け」→追加したいウィジェットをタップ ※ スペースが足りない場合、空いているスペースに自動で貼り付けます。
ホーム画面一覧	ホーム画面一覧を表示します。 ホーム画面一覧の詳細については→P72
ホーム設定	ホーム画面の配置のバックアップと復元を行ったり、マチキャラやマイマガジンの設定を行ったりします。

壁紙の変更

1 ホーム画面でアイコンなどがない部分をロングタッチ→「壁紙・きせかえ」

- ・  をタップ→「壁紙・きせかえ」をタップしても操作できます。

2 壁紙にしたい画像をタップ

- ・ 右上の  をタップ→「他の壁紙を選ぶ」をタップすると、他のアプリから壁紙を選択できます。

3 画面の指示に従って壁紙を設定

きせかえの変更

1 ホーム画面でアイコンなどがない部分をロングタッチ→「壁紙・きせかえ」→  をタップ

- ・  をタップ→「壁紙・きせかえ」→  をタップしても操作できます。

2 きせかえを選ぶ→「設定」

マチキャラ表示方法

- 1 ホーム画面でアイコンなどがない部分をロングタッチ→「ホーム設定」→「マチキャラ設定」
- 2 「キャラ表示」の  / 

ページの管理

- 1 ホーム画面でアイコンなどがない部分をロングタッチ→「ホーム画面一覧」
 - ・  をタップ→「ホーム画面一覧」をタップしても操作できます。
- 2 【+】をタップでホーム画面の枚数を追加できます。
 - ・ ホーム画面のページを削除するには、削除するページのサムネイルの  をタップします。
 - ・ アプリが配置されているページは削除することができません。
 - ・ ページを並べ替えるには、並べ替えるページのサムネイルをロングタッチ→任意の場所までドラッグします。

お知らせ

- ・ ホーム画面でピンチインしてもホーム画面一覧を表示できます。
- ・ ページは最大32ページまで追加できます。

アプリ一覧

- ・アプリによっては、ヘルプから機能や操作手順などを確認できます。
- ・一部のアプリの使用には、別途お申し込み（有料）が必要となるものがあります。
- ・インストールされているアプリは次のとおりです。

■ アプリフォルダにあるアプリ

	電卓	四則演算などができます (P156)。
	ゲームランチャー	ゲームを管理できます。
	取扱説明書	本端末の取扱説明書です。説明から使いたい機能を直接起動することもできます。
	データコピー	機種変更時のデータ移行や、microSDカードへのバックアップ・復元ができるアプリです (P157)。
	災害用キット	災害用伝言板と災害用音声お届けサービス、緊急速報「エリアメール」をご利用いただくためのアプリです (P112)。

	あんしんセキュリティ	ウイルス検知などセキュリティ対策の動作状況の確認や、設定ができるアプリです。スマートフォンを取り巻く脅威と対策のニュースも読めます。
	遠隔サポート	「あんしん遠隔サポート」をご利用いただくためのアプリです。「あんしん遠隔サポート」はお客様がお使いの機種の画面を、専用コールセンタースタッフが遠隔で確認しながら、操作のサポートを行うサービスです (P233)。
	ドコモ電話帳	ドコモが提供する電話帳アプリです。docomoアカウントの電話帳データをクラウド上で管理できます (P102)。

	dフォト	写真や動画を無料で5GBまでクラウドにバックアップし、スマートフォン、タブレット、パソコンなどからアクセスできるサービスです。また、クラウドや本端末にある写真をフォトブックにできるサービスもあります（ご利用には別途有料サービスへの申し込みが必要です）。
	データ保管BOX	データ保管BOXをご利用いただくためのアプリです。データ保管BOXは、必要なファイルをアップロードし、クラウド上で手軽に管理できるサービスです。
	メモ	メモを作成・管理できるアプリで、スケジュールアプリとデータを共有しています。
	スケジュール	スケジュールを作成・管理できるアプリで、メモアプリとデータを共有しています。

	my daiz	話しかけるだけで簡単に情報検索を行ったり、あなたに必要な情報を最適なタイミングでお届けするサービスです。 天気や乗換えの他に、レシピ検索や宅配調整などの提携サービスを追加でき、便利にご利用いただくことができます。
	はなして翻訳	お互いの言葉を相手の言語に翻訳するアプリです。対面翻訳・電話翻訳・うつつして翻訳・定型文機能を利用し言語の異なる相手とのコミュニケーションを楽しむことができます。
	地図アプリ ^{*1}	車・徒歩・電車など複数の移動手段に合わせてお出かけをトータルにサポートするアプリです。ナビゲーション機能など一部機能のご利用にあたっては別途有料サービスへの申し込みが必要です。

	dブック マイ本棚 ^{*1}	ドコモの電子書籍ストアで購入したコミック・小説・実用書などの閲覧ができるアプリです。また、一部の作品を無料で試し読みできます。
	iDアプリ	ドコモが提供する電子マネー「iD」を利用するためのアプリです。「iD」を設定したおサイフケータイをお店の読み取り機にかざして簡単・便利にショッピングができます（P135）。
	おサイフケータイ	複数の登録済みおサイフケータイ対応サービスを、一覧で表示できるアプリです。おすすめサービスの登録や登録済みサービスの残高、ポイントの確認もできます（P132）。
	ローソン	ローソンの公式アプリです。ケータイが会員カード代わりになるデジタル会員証の表示や店舗検索、おトクなお試し引換券のチェックができます。

	マクドナルド	マクドナルドの公式アプリです。店舗検索で近くのマクドナルドを探したり、店舗で使えるお得なクーポンや最新情報を取得することができます。またdアカウントなどでログインすると、ワンタッチでポイントを貯めたり、使うことができます。
	Amazon Kindle	Amazonで購入した書籍を読むための電子書籍リーダーアプリです。
	ファイルマネージャー	内部ストレージ、microSDカード内のデータを検索、編集、または削除できます（P200）。
	SmartWorld	LG SmartWorldを利用できます。
	Qメモ+	メモを作成・管理できるアプリです（P154）。

	音楽	内部ストレージやmicroSDカードに保存された音楽ファイルを再生できます。アルバムやアーティストごとに音楽ファイルを整理することもできます (P145)。
	テレビ	ワンセグの視聴などができます (P136)。
	オーディオレコーダー	音声の録音、再生ができます (P155)。
	スマートドクター	本端末の状態を診断し、最適化できます (P182)。
	カレンダー	カレンダーを表示したり、スケジュールを管理したりできます (P152)。
	タスク	タスクを管理します。

■ ホーム画面にあるアプリ

	電話	電話の利用や、通話の設定をすることができるアプリです (P85)。
	ドコモメール	ドコモのメールアドレス (@docomo.ne.jp) を利用して、メールの送受信ができます。dアカウントを利用すれば、タブレットやPCブラウザなど複数のデバイスから同一のメールアドレスを使ってメールの送受信や閲覧が行えます (P106)。
	Chrome	Googleのウェブブラウザアプリです (P115)。
	dポイント	dポイントを「確認する」「ためる」「つかう」ことができるアプリです。
	d払い	ドコモが提供するスマホ決済サービス「d払い」を利用するためのアプリです。対象の街のお店で、アプリに表示されたバーコードを提示するだけで、簡単・便利・おトクにお買い物をするができます。

	dcard	dカードのご利用明細、たまったdポイント、おトクな情報のエントリーを簡単に確認できるアプリです。また、ドコモが提供する電子マネー「iD」の設定ができます。
	My docomo	お客様のご利用データ量・ご利用料金・dポイントなどの確認、各種手続き・お申し込みもオンラインで行えます。
	dメニュー	「dメニュー」へのショートカットアプリです。dメニューでは、ドコモのおすすめのサイトや便利なアプリに簡単にアクセスすることができます（P129）。
	dマーケット	音楽、動画、書籍などのデジタルコンテンツの販売や、ショッピングサイトや旅行予約サイトなどさまざまなサービスを提供しています（P129）。

	Playストア	Google Play からアプリなどをダウンロードできます（P130）。
	Google	クイック検索ボックスで各種情報を検索できます。
	Gmail	Googleや一般のプロバイダが提供するEメールを利用できます（P111）。
	マップ	Googleマップで現在地の確認や目的地の検索などができます（P149）。
	YouTube	動画の再生・投稿ができます。
	ドライブ	画像や動画などをGoogleドライブに保存したり、共有したりすることができます。
	Play Music	音楽を探して再生したり共有できます。 自分の音楽をクラウド上にアップロードし、後から聴くこともできます。
	Playムービー&TV	Google Playから映画を購入できます。

	Duo	ビデオ通話ができます。
	フォト	写真や動画を閲覧できます。Google フォトに同期してバックアップしたり、他人と共有したりすることもできます。
	ドキュメント	ドキュメントの作成や編集ができます。また、他のユーザーと共同編集することもできます。
	スプレッドシート	スプレッドシートの作成や編集ができます。また、他のユーザーと共同編集することもできます。
	スライド	プレゼンテーションの作成や編集ができます。また、他のユーザーと共同編集することもできます。
	Keep メモ	オンラインでメモを管理できます。
	ニュース	ニュースを確認できます。
	Battery Monitor ^{※1}	バッテリー状態を計測し、確認できます。

	+メッセージ	携帯電話番号を宛先にして、テキストメッセージを送受信できるメッセージングアプリです。テキスト以外にも画像や動画、スタンプ等を送ることができます。
	Amazon ショッピング	Amazon でよりお得に、より便利にオンラインショッピングをご利用いただける公式アプリです。
	Facebook	Facebook は、友達や家族、同僚や同級生たちとのつながりを深めたり、今世界で何が起きているかを知ることができます。
	Disney DX	ディズニー、ピクサー、マーベル、スター・ウォーズの4ブランドのニュースやコンテンツを楽しむことができます。
	カメラ	静止画や動画を撮影できます (P119)。
	ギャラリー	静止画や動画を閲覧・整理できます (P125)。

	時計	アラーム、世界時計、タイマーの設定、およびストップウォッチ測定ができます (P150)。
	設定	各種設定を行うことができます (P160)。
	マイマガジン ^{※2}	お客様が選んだジャンルの記事が表示される検索サービスです (P82)。
	アプリのゴミ箱 ^{※3}	ゴミ箱に移動したアプリが表示されます。

- ※1 本端末を初期化するとアプリフォルダに配置されます。
- ※2 ホームアプリが「docomo LIVE UX」以外の場合に表示されます。
- ※3 ホームアプリが「ホーム」の場合にのみ表示されます。

お知らせ

- このアプリ一覧は、初期状態でプリインストールされているものです。プリインストールされているアプリには一部アンインストールできるアプリがあります。一度アンインストールしても「Playストア」(P130) などから再度ダウンロードできる場合があります。また、端末の初期化を行う場合、初期状態にアプリが回復（再インストール）されます。
- ソフトウェアアップデートを行うと、アプリの内容やアイコンの位置が変わることがあります。
- アプリによっては、アイコンの下に名前が最後まで表示されない場合があります。
- アプリの通知があるとき、アプリアイコンやフォルダの右上に、ドット（点）や数字が表示される場合があります。

おすすめアプリを利用

お客様の利用状況に合わせて、アプリやサービスをおすすめします。

1 ホーム画面で  をタップ

2 「おすすめアプリ」 ボタンをタップ

- 初めて使用するときは利用の確認画面が表示され、「おすすめアプリを見る」をタップすると説明画面が表示されます。説明画面で「おすすめアプリ一覧へ」をタップするとアプリの一覧画面が表示され、おすすめアプリの通知もオンになります。

3 利用するアプリやサービスを選択

- アプリの紹介画面またはサービスページが表示されます。

お知らせ

- アプリ一覧画面で  →各設定の  /  をタップすると、設定をオン／オフに切り替えることができます。
- おすすめアプリの許諾に同意した状態で、ホーム画面で  をタップすると、おすすめアプリ一覧の抜粋版が表示されるようになります。おすすめアプリ一覧をもっと見たい場合は「もっとみる」をタップします。

アプリを探す

アプリを使用した順やインストールした順に一覧で探したり、アプリ名で検索したりする機能です。

1 ホーム画面で 

2 

3 「アプリ名を入力」をタップし、文字を入力

- 「つかった順」「インストール順」「アプリ名順」をタップすると、任意の並び順ですべてのアプリを一覧で表示することができます。

4 アプリを選択

- アプリが起動します。
-  をタップすると選択したアプリにフォーカスが当たった状態で、アプリが配置されたホーム画面が表示されます。

ホーム画面のバックアップと復元

ドコモクラウドにバックアップされたdocomo LIVE UXのデータを使って、ホーム画面のアプリやウィジェットなどの配置を復元することができます。その際、ホーム画面の最後にドコモサービスのページが追加されます。

- バックアップと復元を利用するには、dアカウントの設定が必要です（P58）。

ホーム画面のバックアップ

- 1 ホーム画面でアイコンなどが無い部分をロングタッチ→「ホーム設定」
- 2 「配置のバックアップと復元」
- 3  → 「バックアップ」

ホーム画面を復元する

- 1 ホーム画面でアイコンなどが無い部分をロングタッチ→「ホーム設定」
- 2 「配置のバックアップと復元」
- 3 「最新のバックアップデータを復元」 / 「バックアップデータ一覧から復元」
- 4 「復元する」
 - 「バックアップデータ一覧から復元」を選択したときは、復元するデータを選択→「復元」→「復元する」

マイマガジン

マイマガジンはお客様が選んだジャンルの記事が表示される検索サービスです。読む記事の傾向やプロフィール情報によって使えば使うほどお客様の好みに近づいていきます。お知らせの通知や位置情報、ドコモサービス契約情報などを利用したマイマガジンのカスタマイズが利用できるように設定することもできます。

記事の見かた

1 ホーム画面で

- 表示するジャンル選択画面が表示された場合は、ジャンルを選択し「OK」をタップします。
- ジャンル別の記事一覧画面が表示されます。
- 左右にフリックするとジャンルを切り替えられます。

2 読みたい記事をタップ

-  をタップすると、マイマガジンの設定を変更したり、ヘルプを確認したりすることができます。

表示ジャンル設定

1 ホーム画面で

2 → 「表示ジャンル設定」

- チェックを入れたジャンルがマイマガジン上に表示されるようになります。
- 右上の  をタップするとジャンルの並べ替えをすることができます。

my daiz NOW

my daiz NOWは、あなたの好みや行動に合わせて便利な情報をお届けするサービスです。天気や交通情報、グルメ情報などの生活に便利な情報が簡単にチェックできます。

画面の見かた



表示例

1 ホーム画面で右にフリック

- 上下スワイプで表示するカードを切り替えることができます。
- 左右にフリックするとホーム画面に戻ります。

2 読みたいカードをタップ

- カードをタップすると、より詳細な情報が閲覧できます。
- 画面左上に表示されるmy daiz（キャラクター）をタップすると、知りたいことに対話で応えてくれます。

表示設定

1 ホーム画面で [設定] → 「ホーム画面一覧」

2 my daiz NOWの [設定]

- my daiz NOWを非表示にできます。
- [設定] をタップすると再表示できます。

ホームアプリの情報

docomo LIVE UXのバージョン情報などが確認できます。

1 ホーム画面で  → :

2 「アプリ情報」

- docomo LIVE UXのアップデートがある場合は、アプリケーション情報画面に「今すぐアップデート」が表示され、タップするとdocomo LIVE UXをアップデートできます。

電話

電話をかける

1 ホーム画面で「電話」→ 

2 電話番号を入力



1 新規連絡先として登録※

電話番号を新規連絡先として登録します。

2 連絡先登録/更新※

電話番号を連絡先に追加登録または更新します。

3 メッセージを送信※

SMSを作成できます。

4 ビデオコール※

ビデオコールを発信できます。

5 メニュー※

メニューを表示します。

6 電話番号入力欄

入力した電話番号が表示されます。

7 削除キー

一番右側の番号またはカーソルの左側の番号を削除します。ロングタッチすると、入力された番号をすべて削除できます。

8 電話発信

入力した電話番号に電話をかけます。

※ 電話番号が入力されている場合に表示されます。

3



- ・ ビデオコールを発信する場合
「ビデオコール」をタップします。

4

通話が終了したら 

お知らせ

- VoLTEは、通話やビデオコールを高品質でご利用いただけます。VoLTEのご利用には、自分と相手が以下の条件を満たす必要があります。
 - VoLTE対応機種であること
 - VoLTE利用可能エリアであること
 - 優先ネットワーク設定*が4G / 3G / GSM（自動）に設定され、通話モード設定がONに設定されていること
- ※ ホーム画面で「設定」→「ネットワークとインターネット」→「モバイルネットワーク」→「詳細設定」→「優先ネットワークタイプ」
- VoLTE（HD+）は、通話やビデオコールの音声はVoLTEよりさらに高音質でご利用いただけます。VoLTE（HD+）のご利用には、VoLTEのご利用条件に加えて自分と相手がVoLTE（HD+）対応機種である必要があります。
- ビデオコールは、お互いの映像を見ながら通話ができます。また、音声通話に切り替えられます。
 - ビデオコールの発信時は音声通話料およびパケット通信料がかかります。また、着信時にもパケット通信料がかかります。
 - 映像はベストエフォート通信（通信の混雑具合に応じた最適速度となる）のため、通信環境により品質は異なります。

- ビデオコールの映像は、ご利用機種により表示処理に違いがあるため、本端末で表示される自分の映像と相手に表示される映像の範囲が異なる場合があります。
- 音声通話中にビデオコールへ切り替えができなかった場合は、画面上にビデオコール切り替えに失敗した旨が表示され、音声通話が継続されます。

ポーズを入力する

銀行の残高照会やチケットの予約サービスなど、通話中に番号を追加入力する必要があるサービスを利用する際、あらかじめメインの電話番号と追加番号を一度に入力して発信するためには、「2秒間の停止を追加」または「待機を追加」を使用します。

2秒間の停止「。」を追加する

電話発信後、2秒間一時停止してから、自動的にサービスの番号をダイヤルします。

- 1 ホーム画面で「電話」→ 
- 2 電話番号を入力→  → 「2秒間の停止を追加」
 - 電話番号の後ろに「。」（カンマ）が表示されます。

3 利用するサービスのメニュー番号などを入力→

- ・2秒後にプッシュ信号（番号）が自動的に送信されます。

待機「;」を追加する

電話発信後、サービスの番号を送信するかどうかの確認メッセージが表示されます。

1 ホーム画面で「電話」→

2 電話番号を入力→ : →「待機を追加」

- ・電話番号の後ろに「;」（セミicolon）が表示されます。

3 利用するサービスのメニュー番号などを入力→

4 画面の指示に従って操作

- ・プッシュ信号（番号）が送信されます。

緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上での通報	118

お知らせ

- ・本端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。位置情報を通知した場合には、画面に通報した緊急通報受理機関の名称が表示されます。なお、「1184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定にかかわらず、機関側がGPSを利用した位置測位による正確な位置情報と電話番号を取得することがあります。また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。

- 本端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。
- また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信できる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。
- 日本国内ではドコモnanoUIMカードを取り付けていない場合や、PINコードの入力画面、PINコードロック・PUKロック中には緊急通報110番、119番、118番に発信できません。
- 着信拒否設定をONにした状態で緊急通報110番、119番、118番に発信すると、着信拒否設定の項目がOFFに設定されます。
- 一部のネットワークでは、緊急通報が利用できない場合があります。
- ビデオコールでは緊急通報は利用できません。

国際電話を利用する (WORLD CALL)

WORLD CALLは国内でドコモの端末からご利用いただける国際電話サービスです。

- WORLD CALLの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 「海外利用」→P214

一般電話へかける場合

- 1 ホーム画面で「電話」→ 
- 2 「010」→国番号→地域番号（市外局番）
→相手先電話番号の順に入力して 
- 3 通話が終了したら 

携帯電話へかける場合

- 1 ホーム画面で「電話」→ 
- 2 「010」→国番号→相手先携帯電話番号の順に入力して 
- 3 通話が終了したら 

お知らせ

- 相手先の携帯電話番号、地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には、先頭の「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。
- 「010」のかわりに「+」（「+」は「0」をロングタッチします）や従来どおりの「009130010」でもかけられます。
-  で電話番号を入力→  →「国際電話発信」→国を選択→「WORLD CALL」をタップすると「009130010」+ 国番号が追加されます。

電話を受ける

音声着信の場合

- アプリを起動中やディスプレイ表示中に着信があった場合→P91

1 電話がかかってくる

着信中画面（全画面）が表示されます。

- 着信音、バイブの動作をとめる：電源キーまたは音量キー（上）／音量キー（下）を押す



2 を上にスワイプして応答

- 着信拒否： を下にスワイプして拒否
- 応答拒否SMS送信： を上にスワイプして、送信したいメッセージをタップする
- 伝言メモ録音： を上にスワイプして、応答メッセージ再生

3 通話が終了したら

ビデオコール着信の場合

- アプリを起動中やディスプレイ表示中に着信があった場合→P91

1 電話がかかってくる

着信中画面（全画面）が表示されます。

- 着信音、パイプの動作をとめる：電源キーまたは音量キー（上）／音量キー（下）を押す



2 を上にスワイプして応答

- ・ 着信拒否：  を下にスワイプして拒否
- ・ 音声で応答：  を上にスワイプして応答
- ・ 伝言メモ録音：  を上にスワイプして、応答メッセージ再生

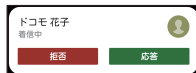
3 通話が終了したら

アプリ起動中に着信があった場合

アプリを起動中やディスプレイ表示中（ロック画面を除く）に着信があると、画面上部にポップアップ着信画面が表示され、「応答」／「ビデオ応答」をタップすると、通話を開始できます。

- ・ ポップアップ着信画面をタップすると、着信中画面（全画面）を表示することができます。

■ 音声着信の場合



■ ビデオコール着信の場合



不在着信の相手に電話をかける／ メッセージを送信する

不在時に着信があった場合は、ステータスバーから不在着信の通知を確認できます。

1 ステータスバーに が表示されている状態でステータスバーを下にドラッグまたはスワイプする

- 通知パネルに不在着信の通知が表示されます。

2 ✓→「発信」／「メッセージ」

- 「発信」：相手に電話をかけます。
- 「メッセージ」：メッセージ入力画面が表示されます。メッセージを入力して、 をタップすると、メッセージが送信されます。
- 不在着信の通知をタップすると、通話履歴が表示されます。

通話中の操作

通話中画面では次の操作ができます。

- 通話中に音量キー（上）／音量キー（下）を押すと、通話音量を調節することができます。

音声通話の場合



① 名前または電話番号

② 通話時間

③ メニューアイコン

タップしてそれぞれの操作を行います。

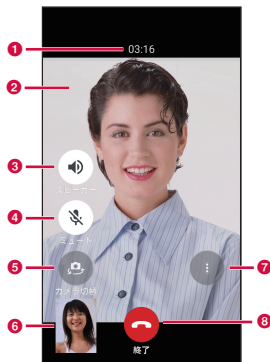
- ・ミュート：自分の声が相手に聞こえないようにします。
- ・ダイヤルキー：ダイヤルパッドを表示してプッシュ信号（DTMF トーン）を送信します。
- ・スピーカー：相手の声をスピーカーから流して、ハンズフリーで通話します。
- ・通話を追加：キャッチホン*を利用して別の相手との通話を追加の操作ができます。
- ・ビデオ切替：ビデオコールに切り替えます。
- ・保留：通話を一時保留にします。

④ 終了

通話を終了します。

※ キャッチホンのご契約が必要です。

ビデオコール通話の場合



① 通話時間

② 相手の画像

③ スピーカー

相手の声をスピーカーから流して、ハンズフリーで通話します。

④ ミュート

自分の声が相手に聞こえないようにします。

5 カメラ切替

相手に送信する映像のカメラをフロントカメラ／メインカメラに切り替えます。

6 自分の画像

7 メニュー

通話中画面のメニューを表示します。

- ・「音声切替」をタップすると、音声通話に切り替えます。
- ・「映像エリア切替」をタップすると、「自分の画像」と「相手の画像」の表示エリアが入れ替わります。

8 終了

通話を終了します。

お知らせ

- ・ビデオコール通話中に、映像部分をタップすると、操作ボタンなどの表示／非表示を切り替えることができます。
- ・ビデオコール通話中に他のアプリを起動した場合、相手に映像が送信されなくなります。
- ・音声通話中に、相手がビデオコールに切り替えた場合は、ビデオコールへの切り替えを確認するメッセージが表示されます。📺 を上にスワイプすると、ビデオコール通話中の画面になります。

通話履歴

通話履歴画面では、発信履歴、着信履歴、不在着信履歴を一覧で確認できます。

- ・通話履歴画面に表示できる件数については、「主な仕様」(P243) をご参照ください。

1 ホーム画面で「電話」→「通話履歴」タブ



- ① **検索**
連絡先を検索します。
- ② **名前、電話番号**
 - ・ タップすると、「ビデオコール」「新規連絡先として登録」「連絡先登録／更新」「メッセージを送信」「着信拒否番号設定」「通話の詳細」のメニューが表示されます。
 - ・ ロングタッチすると、「番号をコピー」「発信前に番号を編集」「着信拒否番号設定」「通話履歴から削除」のメニューが表示されます。
- ③ **履歴の内容**
 - ・ 発信の内容（発信／着信／不在着信／ビデオコール）や件数、どれくらい前の履歴か、などが表示されます。
- ④ **切替タブ**
お気に入りに、通話履歴、連絡先の表示を切り替えます。
- ⑤ **メニュー**
メニューを表示します。
- ⑥ **音声電話発信**
音声電話で発信します。
- ⑦ **ビデオコール発信**
ビデオコールで発信します。
- ⑧ **ダイヤル**
ダイヤル画面が表示されます（P85）。

履歴を削除する

- 1 ホーム画面で「電話」→「通話履歴」タブ
- 2 削除したい履歴をロングタッチ→「通話履歴から削除」→「OK」
 - ・ 履歴が削除されます。

お知らせ

- ・ すべての通話履歴を削除するには、ホーム画面で「電話」→ ⋮ →「通話履歴」→ ⓘ →「通話履歴を消去」→「OK」をタップします。

伝言メモ

電話に応答できないときに、応答メッセージを流して伝言を録音する伝言メモを設定できます。

1 ホーム画面で「電話」→ ⋮ →「設定」

2 「通話」→「伝言メモ」

3 「伝言メモ」にチェックマークを付ける

- ・「応答時間」：0～120秒まで設定できます。
- ・「応答メッセージ」：着信時の応答メッセージを設定します。
- ・「伝言メモを再生する」：保存した伝言メモを再生します。

お知らせ

- ・1件あたりの最大録音秒数や保存件数については、「主な仕様」(P243)をご参照ください。
- ・ビデオコールを伝言メモで応答すると、自動的に音声通話に切り替わり録音されます。
- ・録音された伝言メモを確認するには、ステータスバーに  が表示されている状態でステータスバーを下にドラッグまたはフリック→「新しい伝言メモ」をタップするか、ホーム画面で「電話」→ ⋮ →「設定」→「通話」→「伝言メモ」→「伝言メモを再生する」をタップします。確認したい伝言メモをタップすると再生され、再度タップすると停止します。
- ・録音された伝言メモを削除するには、ホーム画面で「電話」→ ⋮ →「設定」→「通話」→「伝言メモ」→「伝言メモを再生する」→  →「削除」→「全選択」または削除する伝言メモにチェックマークを付ける→「削除」→「削除」をタップします。

通話設定

各種通話に関する設定を行います。

1 ホーム画面で「電話」→「：」→「設定」→「通話」

ネット ワーク サービス	留守番電話サービス ^{※1}	サービスの開始／停止などを行います。
	転送でんわサービス ^{※1}	サービスの開始／停止、転送先変更などを行います。
	キャッチホン ^{※1}	サービスの開始／停止、設定確認を行います。
	発信者番号通知	発信者番号通知の有無を設定します。
	迷惑電話ストップサービス	着信番号拒否の登録、削除、登録件数の確認などを行います。
	番号通知 お願い サービス	番号非通知でかけてきた相手の方に、番号通知を依頼するガイダンスを流して自動的に通話を終了するよう設定します。

ネット ワーク サービス	着信通知	電源OFFや圏外時、通話中に着信できなかった場合に、SMSで着信をお知らせします。
	英語ガイダンス	発着信時の音声ガイダンスや各種ネットワークサービス設定時のガイダンスを英語に設定できます。
	遠隔操作設定	ドコモの携帯電話、一般電話、NTT公衆電話などから遠隔操作を行えるよう設定します。
	公共モード (電源OFF) 設定	電源を切っている場合や、機内モード設定中の場合の着信時に、電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、自動的に通話を終了します。
海外設定		(P220)
伝言メモ		(P96)

着信拒否設定	登録外着信拒否、非通知着信拒否、公衆電話着信拒否、通知不可能着信拒否をそれぞれONにするか設定します。また、設定した電話番号からの着信とSMSを拒否します。
応答拒否SMS	電話の着信を拒否して相手に送信するSMSの編集を行います。
プレフィックス設定	プレフィックスの編集、追加、削除をします。国際電話番号や市外局番などを登録して、発信時に付加できます。
スグ電設定	(P99)
ドコモへのお問合せ ^{※2}	総合お問い合わせ先など、ドコモのお問い合わせ先へ電話をかけます。
オープンソースライセンス	オープンソースライセンスを表示します。

オフィスリンク設定 ^{※3}	オフィスリンクの保留転送、プレフィックスに関する設定を行います。
-------------------------	----------------------------------

- ※1 ビデオコールではご利用いただけません。
- ※2 ドコモ nanoUIM カードを取り付けていない場合は表示されません。
- ※3 オフィスリンクは法人のお客様向け内線サービスです。

スグ電設定をする

モーションおよび音声キーワードだけで電話の操作ができる「スグ電」の設定を行います。

1 ホーム画面で「電話」→ **:** →「設定」→「通話」

2 「スグ電設定」

3 各項目を設定する

応答	端末を耳に当てることで応答できます。	
ミュート（保留）	通話中にミュート（保留）キーワードを含んだ言葉を発した後に端末を耳から離すことで端末のマイクをOFF（ミュート）にできます。	
切断	モーション	通話中に画面を下向きにして端末を水平に置く、または端末を2回振ることで切断できます。
	音声	通話中に切断キーワードを発した後に端末を耳から離すことで切断できます。

発信	ホーム画面で端末を1回振ってから耳に当てることで、あらかじめ登録した相手、または発信履歴に登録された相手に発信できます。
消音・拒否	着信中に画面を下向きにして端末を水平に置く、または端末を2回振ることで消音・拒否できます。「消音」「拒否」「拒否してSMS送信」から選択して設定できます。
発信ランキング	発信回数の多い相手の確認ができます。
着信時名前非表示	着信時に端末を動かすまで相手の名前を非表示にできます。
利用者情報の送信	利用者情報の送信について設定できます。
ローミング時スグ電無効	海外渡航時にスグ電機能を自動的にOFFにできます。

お知らせ

- ・ スグ電は以下の場合には正しく動作しません。
 - スピーカーホン利用時
 - イヤホン、ヘッドセット利用時
 - 通話機能を持つBluetooth® 機器と接続中の場合（ミュート（保留）、切断（音声）、発信（モーション））
 - 通話中にさらに発信／着信を行う場合
 - 寝ている体勢の場合
 - 走る、階段の上り下りをするなどの激しい運動をしている場合
 - ブックタイプのスマートフォンケースなどでディスプレイを覆っている場合
- ・ 着信中に画面ONのままかばんやポケットに入れると、まれにモーションが実行されたとみなされ、応答または切断される場合があります。
- ・ 近接センサーは黒いものに反応しにくい特性があります。
（応答をする際）髪の毛の上から受話口をあてている場合、近接センサーが正常に動作しにくい
ため、電話に応答できない場合があります。その場合は耳に直接受話口をあててください。
（切断（モーション）／消音・拒否をする際）黒い机などの上で本端末を裏返すと反応しない（切断（モーション）／消音・拒否されない）場合があります。その場合は直接置かず、机などから1cm程度浮かせるように本端末を裏返すと反応（切断（モーション）／消音・拒否）します。

- ・ スグ電はビデオコールには非対応ですが、着信時名前非表示のみビデオコールに対応しています。
- ・ スグ電の機能が利用可能な状態であるときに、お知らせアイコンを表示しています。ステータスパネル内から通知詳細情報を確認することができます。
- ・ スグ電の機能やご利用時の注意事項など、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご覧ください。
<https://www.nttdocomo.co.jp/service/suguden/>

●切断（モーション）

- ・ モーションが実行されると、以下においては切断が有効となり、通話が切断されます。
 - 相手が保留中の場合
 - 伝言メモ起動中の場合（応答メッセージ再生中／伝言メモ録音中）
- ・ 切断する際に、端末を下向きに置く動作が速いと反応しない（切断できない）場合があります。その場合は、動作をゆっくり行うと反応（切断）します。
- ・ 端末を強く振ると、モーションが実行されたとみなされ、切断される場合があります。

●切断（音声）

- ・ 切断キーワードを発すると、以下においては切断が有効となり、通話が切断されます。
 - 相手が保留中の場合
 - 相手が伝言メモ起動中の場合（応答メッセージ再生中／伝言メモ録音中）

●ミュート（保留）、切断（音声）

- ・ミュート（保留）、切断（音声）をONにしている状態で通話している時は、他のマイクを利用するアプリや通話中の音声を利用するアプリ（例：通話録音アプリ）は使用できないことがございます。通話中にご利用になりたい場合は、終話後にミュート（保留）、切断（音声）の両機能をOFFにすることで利用可能になります。
- ・伝言メモの起動中（応答メッセージの再生中／伝言メモの録音中）は、ミュート（保留）、音声での切断ができません。伝言メモの録音中に電話に出た場合には、ミュート（保留）、音声での切断が可能になります。
- ・「はなして翻訳」を利用した通話の場合は、音声での切断はできません。
- ・スグ電音声機能の提供には音声認識技術や言語処理技術を用いておりますが、当社はそれらの技術の精度などについて何らの保証をするものではありません。
- ・通話時に声量が小さすぎたり、騒音下で通話したり、または発話の仕方によっては、音声認識ができない場合がございます。

●発信

- ・ホーム画面またはロック画面（解除方法がタッチまたはスワイプに設定している場合のみ）表示中に発信が可能です。

●消音・拒否

- ・端末を強く振ると、モーションが実行されたことみなされ、消音・拒否で設定している機能が実行される場合があります。

●ローミング時スグ電無効

- ・スグ電機能は海外では自動で無効になります。海外でご利用の場合はスグ電設定より、ローミング時スグ電無効をOFFにしてからお使いください。

電話帳

ドコモが提供する「ドコモ電話帳」アプリを利用して、名前や電話番号、メールアドレスなどさまざまな情報の連絡先を管理できます。

- 電話帳でクラウドサービスをご利用になる際は、ドコモ電話帳アプリが必要です。
- ドコモの電話帳アプリを初めて起動する場合（アプリの初期化後を含む）、「クラウドの利用について」という画面が表示され、クラウドの利用を設定できます。

電話帳に登録する

新たに連絡先を登録できます。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「ドコモ電話帳」

2 



1 画像欄

 をタップすると、画像を登録できます。
写真を撮影する場合は「写真を撮影」、保存済みの画像を選択するには「写真を選択」をタップします。

2 アカウント

保存先のアカウントが表示されます。
・  をタップするとアカウントを選択できます。

3 姓、名

4 入力欄

電話番号を入力できます。

5 ラベルキー

入力内容のラベル（種類）を選択できます。
「カスタム」をタップすると新しいラベル名が作成できます。

6 メール

メールアドレスを入力できます。

7 その他項目を追加ボタン

住所やニックネーム、メモなどを入力できます。

3 「保存」

- 連絡先が表示されない場合は連絡先一覧画面で  → 表示するアカウントをタップして表示の設定を変更します。

連絡先を確認／利用する

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「ドコモ電話帳」

- 連絡先一覧画面が表示されます。



① メニュー

メニューを表示します。

② 電話帳に登録された写真

③ 電話帳に登録された名前

④ 検索

連絡先を検索します。

⑤ 登録 (P102)

連絡先を新規登録します。

2 確認／利用する連絡先をタップする

- ・プロフィール画面が表示されます。
- ・ をタップすると、連絡先を編集できます。
- ・電話欄の  をタップすると、電話をかけることができます。また、 をタップすると、ビデオコールを発信したり、 をタップすると、メッセージを作成したりすることが出来ます。
- ・メールアドレスをタップすると、アプリを選択してメールを作成できます。

連絡先をお気に入りに追加する

1 連絡先詳細画面で をタップして、 にする。

- ・連絡先一覧画面のインデックスの  に表示されます。

連絡先を削除する

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「ドコモ電話帳」

2 削除したい連絡先をタップする

3 →「削除」→「削除」

ラベル（グループ）を追加／編集する

- 1 連絡先一覧画面で  → 「ラベルを作成」
- 2 アカウントを選択→ラベル名を入力
- 3 「OK」

ラベル（グループ）に連絡先を追加する

- 1 連絡先一覧画面で  → 追加したいラベル（グループ）をタップ
- 2  → 追加したい連絡先をタップ

ラベル（グループ）から連絡先を削除する

- 1 連絡先一覧画面で  → 削除したい連絡先を含むラベル（グループ）をタップ →  → 「連絡先を削除」 → 削除したい連絡先の  をタップ

お知らせ

- ・ラベル（グループ）に追加できる連絡先は、保存先が同じアカウントの連絡先のみです。

連絡先をインポート／エクスポートする

ドコモ nanoUIM カードと本端末の間で連絡先をインポートしたり、連絡先データ（vCard）として送信したりできます。

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「ドコモ電話帳」
- 2  → 「設定」
- 3 「インポート」／「エクスポート」
 - ・画面の指示に従って操作します。

ドコモ電話帳を設定する

- 1 連絡先一覧画面で  → 「設定」
- 2 項目を選択
 - ・画面の指示に従って操作します。

メール／ウェブブラウザ

ドコモメール

ドコモのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。

送受信したメールはドコモのメールサーバに保存されるので、機種変更時のデータ移行や、端末紛失時のデータ復旧が簡単に行えます。またdアカウントを利用すれば、タブレットやPCブラウザなど複数のデバイスから同一のメールアドレスを使ってメールの送受信や閲覧が行えます。

ドコモメールの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

https://www.nttdocomo.co.jp/service/docomo_mail/

1 ホーム画面で「ドコモメール」

- ・以降は画面の指示に従って操作してください。

+メッセージ

携帯電話番号を宛先にして、テキストメッセージだけでなく、画像、動画、スタンプ等をチャット形式で送受信できます。また、1対1でのメッセージのやりとりだけではなく、複数人でのグループメッセージのやりとりもできます。

+メッセージを利用していない相手とは、+メッセージアプリでショートメッセージサービス（SMS）での送受信をすることができます。

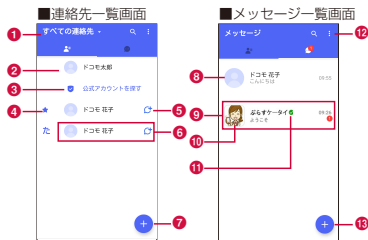
また、公式アカウントを利用することで企業とのメッセージのやりとりを行うことができます。

+メッセージの詳細については、ホーム画面で「+メッセージ」→→「マイページ」→「ヘルプ」→「使い方ガイド」を参照するか、ドコモのホームページをご覧ください。

https://www.nttdocomo.co.jp/service/plus_message/

1 ホーム画面で「+メッセージ」

- ・ をタップすると連絡先一覧画面が、 をタップするとメッセージ一覧画面が表示されます。



- 1 切替タブ: タップすることで、全ての連絡先を表示するか、+メッセージの利用者（ のアイコンが表示されている連絡先）のみを表示するか、切り替えることができます。
- 2 マイプロフィール: お客様の連絡先が表示されています。タップすることでマイプロフィールを表示・編集できます。
- 3 公式アカウントを探す: タップすると公式アカウントストアが表示されます。
- 4 お気に入りの連絡先: お気に入りに設定した連絡先が連絡先一覧の上段、「公式アカウントを探す」の下に表示されます。

- 5 : +メッセージを利用している連絡先を表すアイコンです。このアイコンが表示されている連絡先とグループメッセージのやりとりができたり、写真、スタンプ等をやとりしたりすることができます。
- 6 連絡先: タップすることで、連絡先の詳細を確認することができます。
- 7 : タップすることで連絡先を追加できます。
- 8 プロフィール画像: 相手のプロフィール画像が表示されます。連絡先に登録されたプロフィール画像より、相手が登録したプロフィールの画像が優先して表示されます。
- 9 メッセージ: タップするとメッセージ画面を表示することができます。
- 10 公式アカウント: 企業が運営しているアカウントです。アイコンが丸囲いの四角（）で表示されます。
- 11 : ドコモの審査を通過したことを示す認証済みマークです。
- 12 : サブメニューを表示します。
 - ・ すべて既読: 未読メッセージをすべて既読にします。
 - ・ メッセージの並べ替え: メッセージの並べ替えを行います。
 - ・ マイページ: マイページを表示します。マイページではプロフィールの編集、設定、スタンプストアなどが利用できます。
- 13 : 新しいメッセージと新しいグループメッセージを作成できます。

メッセージを送信する

1 ホーム画面で「+メッセージ」

2 ① → ② → 「新しいメッセージ／新しいグループメッセージ」

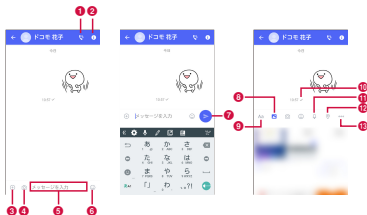
- グループメッセージとは、+メッセージサービス利用者（連絡先に ④ マークがついている人）複数人でメッセージのやりとりができる機能です。

3 宛先を選択

- 連絡先に登録されていない宛先に送信する場合は、「名前や電話番号を入力」をタップし、電話番号を直接入力してください。
- グループメッセージの場合は、宛先を複数選択後、「OK」をタップしてください。

4 メッセージ入力欄をタップして文字を入力 → ⑦

- 宛先が+メッセージ利用者であれば、写真や動画、スタンプを送信できます。



- ① ④：電話アプリが起動し、発信できます。
- ② ①：サブメニューを表示します。
 - ・通知設定の変更などができます。
- ③ ②：写真やスタンプ、位置情報などを送信するためのシェアトレイを表示します。
 - ・シェアトレイを表示すると、画像送信や音声録音などの機能が使用できます。
- ④ ③：タップするとカメラが起動します。ロングタッチすると、写真が撮影されそのまま送信することができます。
- ⑤ メッセージ入力欄：メッセージを入力することができます。
- ⑥ ⑤：スタンプ選択画面への切り替え
- ⑦ ⑥：入力したメッセージを送信します。
- ⑧ ④：画像選択画面への切り替え
- ⑨ Aa：テキスト入力画面への切り替え

10 メッセージの配信状態を表示します。

✓：相手がメッセージを閲覧済み

・ 送受信者両方の「メッセージの既読機能」設定がオン
の場合のみ、お互いの既読状態を確認できます。

✓：相手が端末にメッセージを受信済み

[(アイコン表示なし)]：サーバにメッセージを送信済み

✕：メッセージ送信に失敗

11 ：音声録音画面への切り替え

12 ：地図画面への切り替え

13 ：連絡先／スケッチ／ファイル共有が選択できます。

お知らせ

ショートメッセージサービス (SMS) についてのお知らせ

- ・ 海外通信事業者をご利用のお客様との間でも送受信できます。ご利用可能な国・海外通信事業者については、ドコモのホームページをご覧ください。
- ・ 宛先が海外通信事業者の場合、「+」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。携帯電話番号が「0」で始まる場合は、先頭の「0」を除いた電話番号を入力します。また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます。
- ・ 宛先に“#”または“*”がある場合、SMSを送信できません。
- ・ 宛先の電話番号に184 / 186を付与した場合はSMSを送信できません。

+メッセージについてのお知らせ

- ・ 海外ローミングにより+メッセージアプリをご利用いただくには、+メッセージアプリにて海外ローミング時の+メッセージ利用設定を「オン」に設定していただく必要があります（初期設定は「オフ」に設定されています）。また、端末のデータローミングの設定を「オン」にしてください。
- ・ 機種変更前、またはMNPによる転入前端末で+メッセージを利用されていた場合であっても、メッセージの受信を行うには+メッセージアプリを起動し、+メッセージ利用規約等に同意いただく必要があります。

メッセージを読む

送受信したメッセージは、宛先／送信者ごとにスレッドにまとめて表示されます。

- 1 ホーム画面で「+メッセージ」
- 2  → 読みたいメッセージのスレッドを選択

- ・メッセージを返信する際に使用する各機能については、「メッセージを送信する」(P108)をご参照ください。

メッセージを転送する

- 1 ホーム画面で「+メッセージ」
- 2  → スレッドを選択
- 3 転送するメッセージをロングタッチ → 
- 4 宛先を選択し、メッセージを入力 → 

メッセージを削除する

- 1 ホーム画面で「+メッセージ」
- 2  → スレッドを選択
- 3 削除するメッセージをロングタッチ →  → 「削除」

- ・本端末上のメッセージのみ削除され、相手側のメッセージは削除されません。なお、削除したメッセージは元に戻すことができません。
- ・画像選択時等、ごみ箱アイコンが表示されない場合があります。その場合は、1 → 「削除」 → 「削除」の順に操作ください。

スレッドを削除する

- 1 ホーム画面で「+メッセージ」
- 2  → 削除するスレッドをロングタッチ
- 3  → 「削除」
 - ・グループメッセージのスレッドを削除すると、グループから退出されます。

+メッセージの設定を変更する

- 1 ホーム画面で「+メッセージ」
- 2  → 「マイページ」 → 「設定」
- 3 項目を選択

メッセージ	メッセージに関する設定や、バックアップ・復元などができます。
公式アカウント	公式アカウントの通知音設定ができます。

写真や動画	送受信時の写真や動画などの添付ファイルなどに関する設定ができます。
テーマカラー・背景	テーマカラーやメッセージ画面の背景が設定できます。
通知	通知に関する設定ができます。
プライバシー	パスコードやブロックなどが設定できます。
その他	ユーザー情報引継ぎの設定や+メッセージサービスの初期化などができます。

公式アカウント機能を利用する

- 1 ホーム画面で「+メッセージ」
- 2  → 「公式アカウントを探す」
- 3 「公式アカウントストア」画面にて利用したいアカウントをタップ
- 4 「利用規約に同意し、この公式アカウントを利用します」のチェックボックスをタップ
- 5 「利用する」

Gmail

Googleのメールサービスや一般のプロバイダが提供するEメールを利用できます。

- Gmailを利用するには、メールアドレスの設定が必要です。メールアドレスの設定画面が表示された場合、画面の指示に従って設定を行ってから操作してください。
- Gmailの詳細については、Gmailの画面で ≡ → 「ヘルプとフィードバック」をタップしてください。

Gmailを開く

- 1 ホーム画面で「Google」→「Gmail」
 - Gmailの新機能に関する画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- 2 読みたいメールをタップする
 - 選択したメールの内容が表示されます。

Gmailを作成して送信する

- 1 ホーム画面で「Google」→「Gmail」
- 2 
- 3 「To」ボックスに送信相手のメールアドレスを入力する
 - Cc/Bcc を追加する場合は、▼ をタップします。
- 4 「件名」ボックスに件名を入力する
- 5 「メールを作成」ボックスにメッセージを入力する
 - ファイルを添付する場合は、📎 をタップしてファイルを選択します。
- 6 ➡

緊急速報「エリアメール」

エリアメールは、気象庁が配信する緊急地震速報、津波警報、気象等に関する特別警報、国・地方公共団体が配信する災害・避難情報を、回線混雑の影響を受けずに受信できるサービスです。

- エリアメールはお申し込みが不要の無料サービスです。
- 次の場合はエリアメールを受信できません。
 - 電源オフ時
 - 国際ローミング中
 - 機内モード中
 - ソフトウェアアップデート中
 - PINコード入力画面表示中
 - 他社のSIMカードをご利用時
 - 音声通話中（VoLTE音声通話中を除く）
- 本端末のメモリの空き容量が少ないとき、テザリング設定中およびパケット通信を利用している場合は、エリアメールを受信できないことがあります。
- 受信できなかったエリアメール（緊急地震速報）を再度受信することはできません。エリアメール（津波警報、気象等に関する特別警報、災害・避難情報）は再送され、受信できなかった場合は再度受信が可能になります。

緊急速報「エリアメール」を受信する

エリアメールを受信すると、内容通知画面が表示され、専用ブザー音または専用着信音とバイブレーションでお知らせします。

・専用ブザー音および専用着信音は変更できません。

- 1 エリアメールを自動的に受信する
- 2 受信すると専用ブザー音または専用着信音が鳴り、ステータスバーにアイコンが表示され、エリアメールの本文が表示される

受信したエリアメールをあとで確認する

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「災害用キット」→「緊急速報「エリアメール」」
- 2 エリアメール一覧から、任意のエリアメールを選択

エリアメールを削除する

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「災害用キット」→「緊急速報「エリアメール」」
- 2 エリアメール一覧から、任意のエリアメールを選択
- 3 「削除」→「削除」

緊急速報「エリアメール」を設定する

エリアメールを受信するかどうかや、受信時の動作などを設定します。

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「災害用キット」→「緊急速報「エリアメール」」
- 2 ⋮ →「設定」
- 3 項目を設定

エリアメールの許可	エリアメールを受信するかどうかを設定します。
エリアメールの履歴	受信したエリアメールの一覧を表示します。
バイブレーション	エリアメール受信時のバイブレーションを設定します。

メッセージ受信を再通知する	受信したエリアメールを再通知させるかどうかを設定します。再通知は専用音とバイブレーションでお知らせします。 1回を設定した場合、エリアメールを受信した2分後に1回だけ再通知されます。 2分毎を設定した場合、エリアメールを受信した2分後から2分おきに最大3回再通知されます。 15分毎を設定した場合、エリアメールを受信した15分後から15分おきに最大3回再通知されます。
最大音量を使用する	エリアメール受信時の音量を設定します。 ONにした場合、マナーモード設定時においても最大音量で鳴動します。 OFFにした場合、アラーム音量に従って鳴動します。
受信画面および着信音確認	緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報／気象等特別警報のエリアメールを受信したときの受信画面とブザー音・着信音を確認します。

やさしい日本語表示	緊急地震速報・津波警報をわかりやすい日本語で表示するかどうかを設定します。
翻訳・アプリ連携設定	受信内容を翻訳したり、他のアプリとの連携機能を利用するかどうかを設定します。

ウェブブラウザ

ブラウザアプリを利用して、パソコンと同じようにウェブページが閲覧できます。

本端末では、パケット通信またはWi-Fi®による接続でブラウザを利用できます。

ウェブブラウザを開く

1 ホーム画面で「Chrome」

- ウェブページが表示されます。



1 検索ボックス

タップすると検索ボックスが表示されます。検索する文字やURLを入力すると、ウェブページの候補や検索候補がリスト表示されます。

リストのいずれかをタップすると、ウェブページが表示されます。

2 ホーム

ホームページに設定しているウェブページが表示されます。

3 タブ切り替え

- ＋ をタップすると新規タブが開きます。
- ⋮ をタップするとメニューを表示します。
- ✕ をタップするとタブを閉じます。

4 メニュー

メニューを表示します (P116)。

お知らせ

- 画面の上にある検索ボックスやアイコンなどが表示されていない場合、ブラウザ画面を下にスクロールすると表示されます。
- ウェブページをピンチアウト／ピンチインすると表示を拡大／縮小することができます。
- パソコン用に作成されたウェブページを表示する場合でも、表示を拡大／縮小したり、スクロールできます。詳しくは「タッチスクリーンの操作」(P48) をご参照ください。
- ウェブページの操作は、ウェブサイトの形式や内容によって異なる場合があります。
- ウェブページのテキストをロングタッチすると、テキストを選択できます。テキストを選択すると、以下のメニューが表示される場合があります。
 - 「コピー」：テキストをコピーします。
 - 「共有」：アプリやサービスを利用してテキストを送信します。
 - 「すべて選択」：ウェブページ内のすべてのテキストを選択します。
 - 「ウェブ検索」：テキストをウェブ検索します。

シークレットタブを開く

ブラウザの履歴や検索履歴を残さずに、ウェブページの閲覧ができます。

- 1 ホーム画面で「Chrome」→ ⋮ → 「新しいシークレット タブ」
 - 新しいタブが開き、シークレットモードの説明が表示されます。
- 2 検索ボックスに検索する文字やURLを入力してウェブページを表示する

お知らせ

- ステータスバーには  が表示されます。
- シークレットタブを閉じるには、 →  をタップします。
- シークレットタブで開いたウェブページは履歴に残りません。タブを閉じるとCookieなどの記録も消去されます。ダウンロードしたファイルやブックマークしたウェブページはシークレットタブでも保存されます。

ウェブブラウザのメニューを利用する

- 1 ホーム画面で「Chrome」→ ⋮
 - 利用状況によって表示される項目が異なる場合があります。

新しいタブ	新しいタブが開き、よくアクセスするサイトが表示されます。
新しいシークレットタブ	新しいシークレットタブを開きます (P116)。
ブックマーク	ブックマーク画面が表示されます。
最近使ったタブ	最近使ったタブが表示されます。
履歴	履歴画面が表示されます。
ダウンロード	ダウンロードしたアイテムが表示されます。
共有...	ウェブページをアプリやサービスを利用して共有したり、印刷できます。
ページ内検索	キーワードを入力してウェブページ内の文字列を検索します。

ホーム画面に追加	表示しているウェブページのショートカットをホーム画面に追加します。
PC版サイト	チェックマークを付けるとPC版サイトを表示します。
設定	ブラウザの基本設定や詳細設定などを表示します (P118)。
ヘルプとフィードバック	Chromeのヘルプなどを表示します。

ブックマークや履歴を活用する

ウェブページをブックマークに登録することで、そのウェブページにすばやくアクセスできます。
また、過去に閲覧したウェブページの履歴を表示し、そのウェブページを再び表示できます。

ブックマークを追加する

- 1 ホーム画面で「Chrome」→ブックマークに追加するウェブページを表示する
- 2 $\vdots \rightarrow \star$

ブックマークに登録したウェブページを表示する

- 1 ホーム画面で「Chrome」→ $\vdots \rightarrow$ 「ブックマーク」
- 2 表示するブックマークをタップする

履歴からウェブページを表示する

- 1 ホーム画面で「Chrome」→ $\vdots \rightarrow$ 「履歴」
- 2 表示する履歴をタップする

ウェブブラウザを設定する

- 1 ホーム画面で「Chrome」→：
- 2 「設定」

Chromeにログイン	GoogleアカウントでChromeにログインします。
同期とGoogle サービス	Googleアカウントでログインしているときにデバイス間で同期を行うか、Googleサービスを有効にするかどうかを設定します。
検索エンジン	デフォルトの検索エンジンを選択します。
パスワード	パスワードを保存するかどうかなどを設定します。
お支払い方法	お支払い方法を設定します。
住所やその他の情報	住所などを設定します。
通知	Chromeの通知設定を行います。
トップページ	デフォルトのホームページについて設定します。

テーマ	ダークテーマで表示するかどうかを設定します。
プライバシー	プライバシーについて設定します。
ユーザー補助機能	テキストの拡大・縮小などについて設定します。
サイトの設定	Cookieの許可などについて設定します。
言語	言語の設定、追加をします。
ライトモード	ライトモードをオンにするかどうかを設定します。
ダウンロード	ダウンロードファイルの保存場所などを確認できます。
Chromeについて	Chromeのバージョンなどを確認できます。

カメラ

カメラ

本端末には、カメラが内蔵されており、静止画（写真）や動画が撮影できます。

撮影の前に

本端末で撮影した静止画または動画は、すべて内部ストレージまたはmicroSDカードに保存されます。

著作権・肖像権について

本端末を利用して撮影または録音したものを著作権者に無断で複製、改変、編集などすることは、個人で楽しむなどの目的を除き、著作権法上禁止されていますのでお控えください。また、他人の肖像を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますのでお控えください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影または録音が禁止されている場合がありますのでご注意ください。お客様が本端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例（迷惑防止条例など）に従い処罰されることがあります。カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

撮影するときの注意点

- カメラは非常に精密度の高い技術で作られています。常時明るく見えたり暗く見えたりする点や線がある場合があります。また、特に光量が少ない場所での撮影では、白い線などのノイズが増えますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- 撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いておいてください。レンズに指紋や油脂などがつく、ピントが合わなくなったり不鮮明な画像になったりすることがあります。
- 本端末を暖かい場所や直射日光が当たる場所に長時間放置したりすると、撮影する画像や映像が劣化することがあります。
- 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で点滅している照明下で撮影すると、画面がちらついたり縞模様が現れたりするフリッカー現象が起きる場合があります。撮影のタイミングによっては静止画や動画の色合いが異なることがあります。
- レンズ部分に直射日光を長時間当てたり、太陽や明かりの強いランプなどを直接撮影したりしないでください。撮影した画像の色が変色したり、故障の原因となったりします。

- ・ 暗い場所かつ近距離での撮影を行う場合、画面の一部が紫色になる場合があります。
- ・ 撮影時は、レンズやフラッシュに指や髪などがつかないようにしてください。
- ・ 速く動いている被写体を撮影すると、撮影したときに画面に表示されていた位置とは若干ずれた位置で撮影されたり、画像がぶれたりする場合があります。
- ・ 電池残量が少ないときは、撮影した静止画や動画を保存できない場合があります。電池残量を確認してから撮影してください。
- ・ 撮影した静止画や動画は、実際の被写体と明るさや色合いが異なる場合があります。
- ・ カメラの保存先（ストレージ）をSDカードにして動画を撮影する場合、microSDカードの書き込み性能によっては正常に保存できない場合があります。その場合は動画サイズをHDにして撮影してください。

撮影画面の見かた

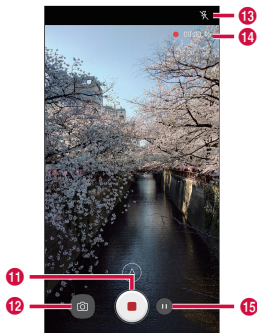
カメラは、縦向きと横向きのどちらでも撮影できます。カメラの撮影画面に表示されるマーク（アイコンなど）の意味は次のとおりです。

- ・ 撮影モードによっては、設定できない項目や表示されない項目があります。
- ・ フロントカメラ／メインカメラで表示される項目は異なります。

1 ホーム画面で「カメラ」



（静止画撮影画面）



(動画撮影中画面)

- 1 **設定**
設定メニューが表示されます (P124)。
- 2 **フィルター**
撮影時に使用するフィルター効果を切り替えます。
- 3 **直前に撮影したデータ**
- 4 **シャッター／動画撮影ボタン (動画撮影画面)**
- 5 **タイマー**
セルフタイマーを設定します。

- 6 **フラッシュの切り替え**
フラッシュの切り替えを設定します。
- 7 **レンズモード**
 - ・標準レンズモード () / 広角レンズモード () を切り替えます。
- 8 **Qレンズ**
フォト検索、QRコードリーダーを使用することができます。
- 9 **共有**
画像や動画をGmailやBluetooth®などを利用して共有します。
- 10 **カメラの切り替え**
フロントカメラとメインカメラを切り替えます。
 - ・撮影画面で上下左右にスワイプ（フリック）して切り替えることもできます。
- 11 **停止ボタン**
動画の撮影を停止します。
- 12 **静止画撮影ボタン**
タップするとその瞬間に表示されている画面の静止画を撮影します。
- 13 **ライトのON / OFF**
- 14 **動画撮影経過時間**
- 15 **一時停止ボタン**
動画の撮影を一時停止します。

お知らせ

- 静止画撮影画面をタップすると、撮影画面の明るさを変更できます。また、 をタップすると、手動でフォーカスを調整できます。
- 動画撮影中に画面をタップすると、撮影画面の明るさの変更やタップしたところにフォーカスを合わせることができます。 をタップするとフォーカスを解除できます。

静止画を撮影する

1 ホーム画面で「カメラ」

2 カメラを被写体に向ける

- 撮影画面表示中にタッチスクリーンをピンチアウト／ピンチインすると、拡大／縮小ができます。

3

- シャッター音が鳴り、静止画が撮影されます。
- 音量キー（上）／音量キー（下）を押しても、静止画を撮影することができます。
- 撮影画面をタップし、 をタップしても、静止画を撮影することができます。
- 撮影したデータは「ギャラリー」の「カメラ」で見ることができます。

お知らせ

- 静止画撮影画面で  をロングタッチ、または音量キー（上）／音量キー（下）を1秒以上押し続けると、静止画を連続撮影することができます。
- フィルター効果を使用している撮影中は、連続撮影機能を使用できません。
- フロントカメラで以下の機能が利用できます。
 - 「ジェスチャーショット」：フロントカメラに手のひらを向け、枠が表示された後に手を握ったり開いたりジェスチャーをすると静止画を撮影できます。

- 「オートショット」：フロントカメラに顔を向けると撮影できます。
- 「左右反転して保存」：左右を反転して保存ができます。
- 「4枚撮影」：フロントカメラに手のひらを向けて、枠が表示された後にすばやく手を握ったり開いたりを2回繰り返すジェスチャーをすると一定間隔で4枚撮影されます。
-  をロングタッチ、または音量キー（上）／音量キー（下）を1秒以上押し続けると、連続撮影することができます。
- 人物の肌を美肌に撮影する  や「ポートレート」をタップするとインジケーターが表示されます。インジケーターをドラッグすると、強弱を調節できます。
-  をタップすると、自分撮り用ライトを使用できます。

動画を撮影する

1 ホーム画面で「カメラ」

2 「動画」

3 カメラを被写体に向ける



- 撮影開始音が鳴り、撮影が始まります。
- 撮影が開始されると、撮影画面に撮影経過時間が表示されます。
- 撮影中に  をタップすると、その瞬間に表示されている画面の静止画を撮影します。
- 撮影中にタッチスクリーンをピンチアウト／ピンチインすると、拡大／縮小ができます。
- 撮影中に  をタップすると、撮影が一時停止します。 をタップすると、撮影が再開します。



- 撮影停止音が鳴り、撮影が停止します。
- 撮影したデータは「ギャラリー」の「カメラ」で見ることができます。

お知らせ

- 動画撮影中は標準レンズモード／広角レンズモードを切り替えることはできません。

カメラの設定

1 ホーム画面で「カメラ」

2

- ・ フロントカメラ／メインカメラで表示される項目は異なります。

自分撮り	自分撮りの方法を選択します。
左右反転して保存	左右反転して保存するかどうかを設定します。
ビジョン検索	カメラを使用して、被写体に関する情報を検索します。
HDR ^{※1}	HDRの設定をします。
手ブレ補正 ^{※2}	手ブレ補正を軽減するかどうかを設定します。
ボイスシャッター ^{※3}	音声入力で撮影するかどうかを設定します。
位置情報の記録	位置情報を記録するかどうかを設定します。
グリッド	撮影画面にグリッドを表示させるかどうかを設定します。
署名を追加	写真に署名を追加できます。
ストレージ ^{※4}	保存先を設定します。

ヘルプ	カメラのヘルプを確認できます。
フルビジョン ^{※5}	フルビジョンで撮影できます。
写真サイズ	写真サイズを選択します。
動画サイズ	動画サイズを選択します。

※1 静止画撮影時のみ有効になります。

※2 動画撮影時のみ有効になります。

※3 「チーズ」「スマイル」「トリマス」と話すことで静止画を撮影する機能です。

※4 microSDカードを取り付けている場合のみ表示されます。

※5 フルビジョンをONにすると、画像比率が18:9になります。

撮影モードの設定

1 ホーム画面で「カメラ」→「その他」

食べ物	食べ物の撮影に適したモードで、色補正ができます。
パノラマ	パノラマ撮影ができます。
フラッシュ ジャンプカット	写真を3秒ごとに撮影し、GIFファイルで保存できます。
YouTube Live	YouTube用に撮影できます。

ギャラリー

カメラで撮影したり、ウェブサイトからダウンロードしたりして保存した静止画／動画を表示／再生します。

静止画や動画を見る

1 ホーム画面で「ギャラリー」

- ・アルバム一覧画面が表示されます。

2 アルバムをタップする

- ・静止画や動画がサムネイルで表示されます。
- ・本端末のカメラで撮影した静止画や動画を見る場合は、「カメラ」をタップします。
- ・アルバム一覧画面で  → 「カメラ」をタップすると、カメラが起動し、静止画や動画を撮影できます。

3 いずれかのサムネイルをタップする

- ・静止画や動画が表示／再生されます。
- ・静止画の場合、タッチスクリーンをダブルタップするか、ピンチアウト／ピンチインすると画像を拡大／縮小することができます。

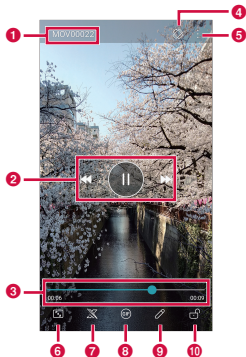
お知らせ

- ・静止画／動画表示画面では以下の操作ができます。
 - : 枠で囲んだ対象の情報を検索します。(静止画のみ)
 - : お気に入り設定できます。
 - : カメラが起動します。
 - : メニューが表示されます。
 - : メモが追加できます。(静止画のみ)
 - : 編集ができます。
 - : 共有／送信します。
 - : 表示している静止画や動画を削除します。削除した静止画や動画はゴミ箱に移動されます。削除操作を取り消すためには「元に戻す」をタップしてください。ロックした静止画や動画はゴミ箱へ移動されず、本端末から削除されます。
- ※ ファイルによっては、上記以外の項目が表示される場合があります。
- ・静止画／動画表示画面では、 をタップして以下の操作ができます。
 - 「移動」: 他のアルバムに移動します。
 - 「コピー」: 他のアルバムにコピーします。
 - 「回転」: 静止画を回転します。
 - 「トリミング」: 静止画をトリミングします。
 - 「スライドショー」: 保存されている静止画がスライドショーとして順に表示されます。
 - 「画像を設定」: 静止画を壁紙や電話帳の写真などに設定します。

- 「署名を追加」: 静止画に署名を追加します。
- 「ライブ壁紙に設定」: 動画をライブ壁紙に設定します。
- 「ロック」: 静止画／動画をロックします。
- 「位置情報を追加」／「位置情報」: 静止画に位置情報を追加したり、削除したりします。また、位置情報が静止画についている場合は地図アプリで位置を確認することもできます。
- 「印刷」: 静止画をプリンターで印刷します。
- 「他のデバイスで再生」: 他のデバイスで再生します。
- 「コラージュ作成」: 静止画のコラージュを作成します。
- 「リネーム」: 名前を編集します。
- 「詳細」: ファイルの情報を表示します。
- ・静止画／動画一覧画面で静止画／動画をロングタッチすると、「削除」／「共有」／「リネーム」／「詳細」の操作ができます。

動画を再生する

- 1 ホーム画面で「ギャラリー」
 - アルバム一覧画面が表示されます。
- 2 アルバムをタップする
 - 動画がサムネイルで表示されます。
- 3 再生する動画をタップする→ 
 - アプリの選択画面が表示される場合があります。ここでは「動画」を選択したときの説明となります。
 - 動画再生画面が表示され、動画が再生されます。



- 1 動画情報
タイトルが表示されます。
- 2 再生の操作
 /  : 一時停止 / 再生
 /  : 前の動画戻り / 次の動画送り
• ロングタッチすると早戻し / 早送りできます。
- 3 再生プログレスバー
 を左右にドラッグすると再生位置を変更できます。

④ 画面の回転

⑤ メニュー

メニューを表示します。

⑥ 画面サイズ変更

⑦ DTS:X 3D Surroundを使用

⑧ GIF動画作成

⑨ 動画編集

⑩ 画面ロック

動画再生中に画面のタッチなどの操作をできなくします。  をタップすると、画面ロックを解除できます。

お知らせ

- 動画再生画面で画面をタップすると、ボタンなどの表示／非表示を切り替えられます。
- 動画再生画面で画面右端を上下にスワイプすると、音量を変更できます。
- 動画再生画面で画面左端を上下にスワイプすると、画面の明るさを変更できます。

アプリ

dメニュー

dメニューでは、ドコモのおすすめるサイトや便利なアプリに簡単にアクセスすることができます。

1 ホーム画面で「dメニュー」

- ブラウザが起動し、dメニューが表示されます。

お知らせ

- dメニューをご利用になる場合は、ネットワークに接続されていることをご確認ください (P62)。
- dメニューへの接続およびdメニューで紹介しているアプリのダウンロードには、別途パケット通信料がかかります。なお、ダウンロードしたアプリによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。
- dメニューで紹介しているアプリには、一部有料のアプリが含まれます。

dマーケット

音楽、動画、書籍などのデジタルコンテンツの販売や、ショッピングサイトや旅行予約サイトなどさまざまなサービスを提供しています。

1 ホーム画面で「dマーケット」

- dマーケットの詳細については、以下のホームページをご覧ください。
<https://d.dmkt-sp.jp/common/about/index.html>

Playストア

Playストアを利用すると、Google Playから便利なアプリや楽しいゲームを本端末にインストールすることができます。

- Google Playのご利用には、Google アカウントの設定が必要です (P190)。

アプリをインストールする

- 1 ホーム画面で「Playストア」
- 2 アプリを検索→インストールしたいアプリをタップする
- 3 「インストール」(無料アプリの場合) または金額欄 (有料アプリの場合) をタップする
 - アプリによって表示される内容は異なります。
 - アプリが本端末のデータや機能にアクセスする必要がある場合、そのアプリがどの機能を利用するのか表示されます。
 - 有料アプリの場合で購入代金の支払い方法をアカウントに登録していない場合は、支払い方法の追加画面が表示されます。タップして画面の指示に従って操作してください。

- お客様がアプリをインストール／購入することにより、本端末でのこのアプリの使用に関する責任を負うことになります。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリには特にご注意ください。
- インストールが正常に終了すると、ステータスバーに通知アイコンが表示されます。通知パネルを表示させて、アプリ名をタップしてください。インストールされたアプリが開きます。

アプリを購入する場合

- アプリに対する支払いは一度だけです。一度ダウンロードした後、アンインストールして再びダウンロードする場合、その都度料金を支払う必要はありません。
- 同じGoogleアカウントを使用しているAndroidデバイスが他にある場合、購入したアプリは他のデバイスでもすべて無料でインストールできます。
- アプリの購入後、規定の時間以内であれば返金を要求することができます。アプリは削除され、料金は請求されません。なお、返金要求は、各アプリに対して最初の一回のみ有効です。過去に一度購入したアプリに対して返金要求をし、同じアプリを再度購入した場合には、返金要求はできません。
- アプリ購入時の支払い方法や返金要求の規定などについて、詳しくはPlayストア画面で ≡ → 「ヘルプとフィードバック」をご覧ください。

お知らせ

- アプリのインストールに同意すると、アプリの使用に関する責任を負うことになります。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリには特にご注意ください。
- アプリのインストールは安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染や各種データの破壊などが発生する可能性があります。
- お客様がインストールしたGoogle LLCが提供するアプリを含む第三者提供アプリなどにより、各種動作不良や自己または第三者などへ不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- お客様がPlayストアからインストールしたGoogle LLCが提供するアプリを含む第三者提供アプリにつきましては、各提供元にお問い合わせください。
- アプリによっては、自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信は、切断するかタイムアウトにならない限り、接続されたままになります。
- Google Playの詳細については、Playストア画面で ≡→「ヘルプとフィードバック」をご覧ください。

アプリをアンインストールする

- 1 ホーム画面で「Playストア」
- 2 ≡ →「マイアプリ&ゲーム」→「インストール済み」→アンインストールしたいアプリをタップする
- 3 「アンインストール」
- 4 「OK」
 - 有料アプリで「払い戻し」が表示されない場合、試用期間が終了しています。

おサイフケータイ

お店などの読み取り機に本端末をかざすだけで、お支払いやポイントカードなどとして使える「おサイフケータイ対応サービス」がご利用いただける機能です。

電子マネーやポイントなどを本端末のICカード内、ドコモnanoUIMカード内に保存し、画面上で残高やポイントの確認などができます。また、おサイフケータイの機能をロックすることにより、盗難、紛失時に無断で使用されることを防ぐこともできます。

おサイフケータイの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

- ・ おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、サイトまたはアプリでの設定が必要です。
- ・ 本端末の故障により、ICカード内データ^{*1} およびドコモnanoUIMカード内データ^{*2}が消失・変化してしまう場合があります（修理時など、本端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので、原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては、必ずバックアップサービスのあるおサイフケータイ対応サービスをご利用ください。

- ・ 機種変更前のドコモ nanoUIM カードを引き続き使う場合でも、ドコモ nanoUIM カード内データを利用するおサイフケータイ対応サービスの利用には、おサイフケータイ対応サービス提供者のアプリのインストールおよび設定が必要です。
 - ・ 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内データおよびドコモ nanoUIM カード内データが消失・変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
 - ・ 本端末の盗難、紛失時は利用停止などの対応方法について、速やかに当社およびご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者へお問い合わせください。
- ※1 おサイフケータイ対応端末に搭載されたICカードに保存されたデータ
- ※2 ドコモ nanoUIM カードに保存されたデータ

「おサイフケータイ対応サービス」 を利用する

おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、おサイフケータイ アプリよりサービスを設定してください。

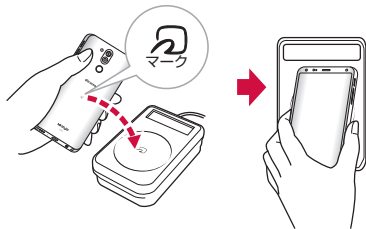
- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「おサイフケータイ」
 - ・ サービス情報を取得してサービス一覧を更新します。
 - ・ 初期設定画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- 2 利用したいサービスをタップする
- 3 サービスに関する設定を行う
- 4 本端末の  マークを読み取り機にかざす
 - ・ 読み取り機と通信できます。

お知らせ

- ・ おサイフケータイ対応アプリを起動せずに、読み取り機にかざして利用することができます。
- ・ 本端末の電源を切っていても利用できますが、電源を長時間入れなかったり、電池残量が少ない場合や電源を入れてから一定時間は、利用できなくなることがあります。
- ・ 本端末のバッテリーセーブやデータセーバーの設定にかかわらず、おサイフケータイ対応のアプリはおサイフケータイ対応サービスの提供に必要な通信をバックグラウンドで行うため、パケット通信料がかかる場合があります（「データセーバー」→P167、「バッテリーセーブ」→P188）。
- ・ 本端末の電源を入れた後、再起動後およびソフトウェアアップデート後は、画面ロックを解除してから読み取り機にかざしておサイフケータイ対応サービスをご利用ください。
- ・ spモードをご契約されていない場合は、おサイフケータイ対応サービスの一部機能がご利用できなくなることがございますので、あらかじめご了承ください。

対向機にかざす際の注意事項

読み取り機やNFCモジュールが内蔵された機器など、対向機にかざすときは、次のことにご注意ください。



- ・マークを対向機にかざす際には、強くぶつけたりせず、ゆっくりと近づけてください。
- ・マークを対向機の中心へ平行になるようにかざしてください。中心にかざしても読み取れない場合は、本端末を少し浮かしたり、前後左右にずらしてかざしてください。
- ・マークと対向機の間には金属物があると読み取れないことがあります。また、ケースやカバーに入れたことにより、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますので読み取れない場合はケースやカバーから取り外してください。

おサイフケータイの機能をロックする

「NFC／おサイフケータイ ロック」を利用すると、おサイフケータイの機能やサービスの利用を制限できます。NFC／おサイフケータイのロックは、本端末の画面ロック、UIMカードロックとは異なります。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「おサイフケータイ」

2  →パスワードを入力→「OK」

- ・初回起動時はパスワードの設定が必要です。画面の指示に従って、パスワードを設定してください。

■ ロックを解除する場合

 →パスワードを入力→「OK」をタップします。

■ パスワードを変更する場合

ホーム画面で「設定」→「接続」→「NFC／おサイフケータイ 設定」→「ロックパスワード 変更」→現在のロックパスワードを入力→「OK」→新しいロックパスワードを入力→「OK」→再度新しいロックパスワードを入力→「OK」をタップします。

お知らせ

- ・「NFC／おサイフケータイ ロック」設定中は、ステータスバーに  または  が表示されます。
- ・電源を切ってもロックは解除されません。
- ・「NFC／おサイフケータイ ロック」設定中に電池が切れると、「NFC／おサイフケータイ ロック」を解除できなくなります。電池残量にご注意ください。電源が切れた場合は、充電後に「NFC／おサイフケータイ ロック」を解除してください。
- ・「NFC／おサイフケータイ ロック」設定中におサイフケータイのメニューをご利用になるには、ロックの解除が必要になります。
- ・「NFC／おサイフケータイ ロック」のパスワードは、本端末を初期化しても削除されません。
- ・「NFC／おサイフケータイ ロック」のパスワードは、ロックの設定／解除およびパスワードを変更する場合に必要ですので、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。

iDアプリ

「iD」とは、ドコモが提供する電子マネーです。「iD」を設定したおサイフケータイをお店の読み取り機にかざして簡単・便利にショッピングができます。カード情報は複数枚登録できるので、特典などに応じて使い分けることもできます。

- ・おサイフケータイでiDをご利用の場合、iDアプリで設定を行う必要があります。
- ・iDサービスのご利用にかかる費用（年会費など）は、カード発行会社により異なります。
- ・海外でiDアプリの設定・確認を行う場合は国内でのパケット通信料と異なります。
- ・iDに関する情報については、iDのホームページ（<https://id-credit.com/>）をご覧ください。

テレビ（ワンセグ）

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声と共にデータ放送を受信することができます。また、モバイル機器の通信機能を使った双方向サービス、通信経由の詳細な情報もご利用いただけます。

「ワンセグ」サービスの詳細については、以下のホームページでご確認ください。

一般社団法人 放送サービス高度化推進協会

<https://www.apab.or.jp/>

ワンセグのご利用にあたって

ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。映像、音声の受信には通信料がかかりません。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。

データ放送領域に表示される情報は「データ放送」「データ放送サイト」の2種類があります。

「データ放送」は映像・音声とともに放送波で表示され、「データ放送サイト」はデータ放送の情報から、テレビ放送事業者（放送局）などが用意したサイトに接続し表示します。

「データ放送サイト」などを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。

サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要な場合があります。

放送波について

ワンセグは、放送サービスの1つであり、LTEサービスおよびFOMAサービスとは異なる電波（放送波）を受信しています。そのため、LTEサービスおよびFOMAサービスの圏外／圏内にかかわらず、放送波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。

また、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内であっても、以下のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。

- ・ 放送波が送信される電波塔から離れている場所
- ・ 山間部やビルの陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
- ・ トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所

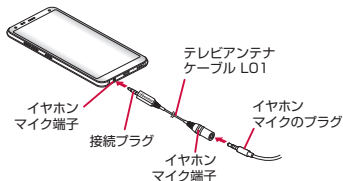
付属のテレビアンテナケーブル L01 の向きを変えたり、場所を移動したりすることで受信状態が良くなることがあります。

テレビアンテナケーブル L01 について

テレビ（ワンセグ）を視聴するときは、付属のテレビアンテナケーブル L01 を本端末に接続してください。

1 テレビアンテナケーブルの接続プラグを、本端末のイヤホンマイク端子に差し込む

- ・ プラグは奥まで確実に差し込んでください。半差しなど途中で止まっていると、放送波の受信自体に影響が出る場合があります。
- ・ 使用しないときは、本端末からテレビアンテナケーブルを抜いてください。



お知らせ

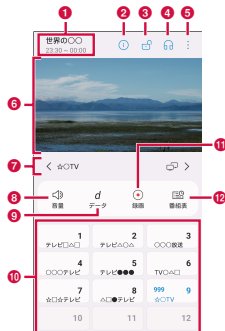
- 市販のイヤホンマイクを接続する際は、テレビアンテナケーブルのイヤホンマイク端子に、直径3.5mmのイヤホンマイクのプラグを差し込んでから、テレビアンテナケーブルを本端末に接続してください。
- テレビアンテナケーブルL01を本端末に接続後、市販のイヤホンマイクをゆっくり差し込んだり、取り外し／差し込みをすばやく繰り返す場合は、イヤホン接続中に表示されるステータスアイコンの認識エラーが発生することがあります。エラーが発生した場合はイヤホンマイクを取り外した後、再度差し込むと正常に認識されます。
- SCMS-T方式に対応していないBluetooth®機器ではワンセグの音声は出力されません。
- イヤホンマイクとBluetooth®機器の両方を本端末に接続した場合、後に接続した機器から音声が出力されます。
- ワンセグは著作権保護のため、以下の機能はサポートしていません。
 - Miracastによる動画出力
 - スクリーンショット
 - Qメモ+
 - Qスライドアプリ

テレビ（ワンセグ）を見る

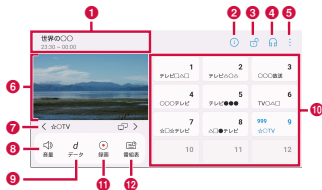
1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「テレビ」

- 視聴画面が表示されます。
- 初めて起動したときは、視聴エリアを選択する必要があります。

視聴画面の見かた



視聴画面(縦)の例



視聴画面(横)の例



視聴画面(横全画面)の例

① 番組のタイトルと放送時間

② 番組詳細

タップすると、番組のタイトルやチャンネル、放送時間、概要などが表示されます。

③ 画面ロックボタン

テレビ視聴画面を全画面表示でロックします。ロックした後、 をタップすると、ロックを解除します。

④ 音声出力切替

イヤホンマイク接続時に本端末とイヤホンマイクのどちらから音声出力するのかを切り替えます。

⑤ メニュー

メニューを表示します (P144)。

⑥ テレビ放送エリア

- 右端で上下にスワイプすると、音量を変更できます。
- 左端で上下にスワイプすると、画面の明るさを変更できます。
- 左右にスワイプすると、チャンネルを切り替えられます。
- 視聴画面(横)の場合、タップすると視聴画面(横全画面)が表示されます。
- 視聴画面(横全画面)の場合、タップすると視聴画面(横)が表示されます。

⑦ チャンネルエリア

- マルチサービス対応のチャンネルを視聴中に をタップするとサービスの選択ができます。
- く / > をタップすると、チャンネルを切り替えられます。
- く / > をロングタッチすると、受信できるチャンネルを検索します。

⑧ 音量ボタン

⑨ データ放送ボタン

- タップすると、データ放送エリアが表示されます。
- データ放送は縦画面でのみ視聴できます。

10 チャンネル一覧／番組表一覧エリア

チャンネル一覧／番組表一覧の切り替えボタンをタップすると、チャンネル一覧／番組表一覧が表示されます。

■ チャンネル一覧の場合

- チャンネルをタップすると、チャンネルが切り替わります。
- チャンネルをロングタッチすると、選択したチャンネルのサービスの選択ができます。

■ 番組表一覧の場合

- 現在時刻には、**ON AIR** が表示されます。
- 番組をタップすると、番組の詳細が表示され、録画予約／視聴予約ができます（P142）。

11 録画／停止ボタン

タップすると、録画を開始／停止します。

- 録画を開始してから5秒間は、停止ボタンをタップすることができません。

12 チャンネル一覧／番組表一覧の切り替えボタン

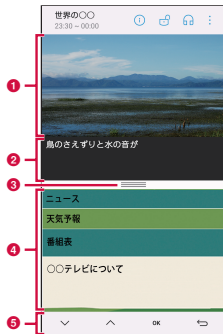
「番組表を利用する」→P141

13 字幕

字幕放送番組では視聴中に字幕が表示されます。

データ放送画面の見かた

テレビ視聴中に、データ放送ボタンをタップするとデータ放送画面が表示されます。



データ放送画面の例

1 テレビ放送エリア

タップすると、チャンネル一覧／番組表一覧エリアが表示されます。

2 字幕

字幕放送番組では視聴中に字幕が表示されます。

3 スクロールバー

上方向にドラッグまたはスワイプすると、データ放送の内容が全画面表示されます。

4 データ放送エリア

データ放送の内容を直接タップすると、操作できる場合があります。

5 データ放送操作ボタン

- へ / ▼ で項目にカーソルを合わせ、「OK」をタップして項目を選択します。リンク先のデータ放送が表示されます。
- ◀ をタップすると、リンク元に戻ります。

番組表を利用する

地上波テレビの番組表を閲覧したり、録画予約／視聴予約することもできます。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「テレビ」

2 「番組表」

- 番組表一覧が表示されます。
- 視聴中、検索済みのチャンネルのみ、番組編成表が表示されます。

3 番組をタップする

- 番組の詳細が表示されます。
- 「予約」→「録画」／「視聴」をタップすると、録画予約／視聴予約することができます。

録画した番組を視聴する

録画ファイルリストを利用して、録画した番組を視聴したり、削除したりすることができます。

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「テレビ」
- 2  → 「録画ファイルリスト」
- 3 視聴する番組を選択する

録画した番組を削除する

- 1 録画ファイルリスト画面で 
- 2 削除する番組にチェックマークを付ける
- 3 「削除」 → 「削除」

お知らせ

- ・ 録画ファイルリスト画面で  → 「すべて選択」にチェックマークを付ける → 「削除」 → 「削除」をタップすると、すべての録画した番組を削除できます。
- ・ 録画ファイルリスト画面で  → 「タイトル」／「日付」／「サイズ」をタップすると録画した番組を並び替えることができます。
- ・ 録画ファイルリスト画面で  をタップすると内部ストレージの使用済み容量と空き容量、および録画可能時間の目安を確認することができます。

録画予約／視聴予約をする

チャンネルや開始／終了時刻などを指定して、番組を録画予約／視聴予約することができます。

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「テレビ」
- 2  → 「予約一覧」
 - ・ 予約一覧画面が表示されます。
- 3  → 必要に応じて各種設定を行う
- 4 「保存」

お知らせ

- ・ 予約した時刻に本端末に電源が入っていない場合は、録画や視聴を開始したり、番組の開始をお知らせしたりすることができません。
- ・ 通話、オーディオレコーダーなどで録音、カメラで動画撮影している場合は、録画や視聴を開始したり、番組の開始をお知らせしたりすることができません。
- ・ テレビ録画は内部ストレージにのみ保存が可能です。録画した映像は本端末でのみ視聴できます。
- ・ 重複予約はできませんので、ご注意ください。

予約内容を確認／編集する

- 1 予約一覧画面で録画予約／視聴予約をタップする
 - ・編集する場合は、予約内容を編集して「保存」をタップします。

予約内容を削除する

- 1 予約一覧画面で 
- 2 「すべて選択」または削除する録画予約／視聴予約にチェックマークを付ける
- 3 「削除」→「削除」

テレビリンクを利用する

データ放送によっては、関連サイトへのリンク情報（テレビリンク）が表示される場合があります。テレビリンクを登録しておくと、あとで関連サイトに接続できます。

- ・テレビリンクを登録するには、データ放送エリアに表示されたテレビリンクに登録可能な項目をタップしてください。

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「テレビ」
- 2  → 「テレビリンク」
 - ・テレビリンク一覧画面が表示されます。
- 3 テレビリンクをタップする
 - ・登録されたサイトに接続します。

お知らせ

- ・テレビリンク一覧画面でテレビリンクをロングタッチ→「削除」→「はい」をタップすると削除できます。
- ・テレビリンク一覧画面で  → 「すべて選択」にチェックマークを付ける→「削除」→「はい」をタップすると、すべてのテレビリンクを削除できます。

視聴エリアを切り替える

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「テレビ」
- 2 ∴ →「視聴エリア切り替え」
 - ・新規エリアを追加する場合は + をタップします。
- 3 地域を選択する
 - ・視聴エリアが切り替わります。

テレビ（ワンセグ）のメニューを利用する

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「テレビ」
- 2 ∴

スキャン	チャンネルをスキャンして再受信します。
Gガイド	Gガイド番組表画面を表示します。
録画ファイルリスト	録画した番組の視聴や管理ができます。
予約一覧	チャンネルや時刻を指定して番組を録画予約／視聴予約することができます。
テレビリンク	登録したテレビリンクのサイトが一覧表示されます。
視聴エリア切り替え	視聴エリアの追加や切り替えをします。
オートオフ	テレビを自動で終了する時間を設定します。

字幕		字幕のON / OFFを設定します。 ・視聴画面（横全画面）やデータ放送画面でのみ字幕表示が可能です。
多重音声		音声を切り替えます。
設定	画面サイズ	画面のサイズを設定します。
	放送用メモリ初期化	データ放送で登録した情報やテレビリンクなどを消去します。

音楽

内部ストレージや microSD カードに保存された音楽ファイルを再生できます。

- 再生可能なファイル形式については、「主な仕様」（P240）をご覧ください。

お知らせ

- ホーム画面で「アプリフォルダ」→「音楽」→ をタップすると、各種設定やヘルプなどを確認できます。
- ファイルによっては、対応するファイル形式であっても再生できない場合や、音楽のファイル一覧に表示されない場合があります。
- ファイルによっては、著作権により再生できないものがあります。

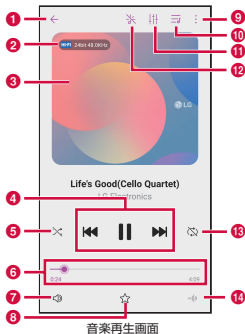
音楽を再生する

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「音楽」

- ・ ミュージックライブラリ画面が表示されます。

2 「曲」タブ→再生する曲をタップする

- ・ 画面下部に音楽再生バーが表示され、曲が再生されます。音楽再生バーをタップすると音楽再生画面が表示されます。



1 一覧画面の表示

2 ビットレート、サンプリング周波数

Hi-Fiサウンドの場合に表示されます。

Hi-Fiサウンドの場合は音楽再生画面とミュージックライブラリ画面で  が表示されます。

3 アルバムアートワーク

4 再生の操作

 /  : 一時停止／再生

 /  : 前のファイル／次のファイルを再生

ロングタッチすると早戻し／早送りできます。

- ・  をタップすると再生時間によっては曲の先頭から再生できます。

5 シャッフルのオン／オフ

6 再生位置

- ・  を左右にドラッグすると再生位置を変更できます。

7 音量調整

- ・  を左右にドラッグすると音量を調節できます。

8 お気に入り

9 メニュー

10 再生中プレイリスト表示

11 音質とサウンドエフェクトを表示

12 フラッシュライト

再生される音楽に合わせてフラッシュライトが点滅します。

イヤホン、スピーカーなどに接続中は、使用できません。

13 リピート（音楽再生画面のみ）

- タップするたびに、リピートオフ（) → 全曲リピート（) → 1曲リピート（) を切り替えます。

14 音程と再生速度

お知らせ

- 音楽を削除するには、ミュージックライブラリ画面で音楽をロングタッチ→「削除」→「削除」をタップします。
- 曲の再生中は、ステータスバーに  が表示されます。
- 曲の再生中に通知パネル（P64）を表示すると、曲の再生や一時停止などの操作を行うことができます。

GPS / ナビ

本端末のGPS機能と対応するアプリを使用して、現在地の確認や目的地までのルート検索などを行うことができます。

GPSのご利用にあたって

- GPSシステムの不具合などにより損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 航空機、車両、人などの航法装置や、高精度の測量用GPSとしての使用はできません。これらの目的で使ったり、これらの目的以外でも、本端末の故障や誤動作、停電などの外部要因（電池切れを含む）によって測位結果の確認や通信などの機会を逸したりしたために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- GPSは米国防総省により運営されているため、米国の国防上の都合によりGPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化や電波の停止など）される場合があります。また、同じ場所・環境で測位した場合でも、人工衛星の位置によって電波の状況が異なるため、同じ結果が得られないことがあります。
- ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害するおそれがあり、信号受信が不安定になることがあります。

- 各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。
- GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の環境下では電波を受信できない、または受信しにくいため位置情報の誤差が300m以上になる場合がありますのでご注意ください。
 - 密集した樹木の中や下、ビル街、住宅密集地
 - 建物の中や直下
 - 地下やトンネル、地中、水中
 - 高圧線の近く
 - 自動車や電車などの室内
 - 大雨や雪などの悪天候
 - かばんや箱の中
 - 本端末の周囲に障害物（人や物）がある

位置情報を有効にする

位置情報へのアクセスの許可を要求したアプリが、GPS機能、Wi-Fi[®]機能、モバイルネットワークで取得した位置情報の利用を許可するかどうかを設定します。

- 1 ホーム画面で「設定」→「位置情報」
- 2 「位置情報」をONにする
- 3 「同意する」

お知らせ

- GPS 機能を初めて使用するときは、現在地の測位に最大で数分程度要することがあります。
- 本端末には、衛星信号を使用して現在地を算出するGPS受信機が搭載されています。いくつかのGPSサービス機能は、インターネットを使用します。GPSサービス機能によるデータの送信には、パケット通信料が発生する場合があります。
- 現在地の測位にGPS受信機を必要とする機能を使用するときは、空を広く見渡せることをご確認ください。数分経っても現在地が測位できない場合は、場所を移動する必要があります。
- 測位しやすくするために、動かす、GPSアンテナ部（P37）を覆わないようにしてください。
- 「位置情報の同意」で「同意する」をタップすると、GPSの使用中に匿名データが収集されます。データの転送には、パケット通信料が発生する場合がありますので、ご注意ください。
- 「Google 位置情報の精度」の「位置情報の精度を改善」をONにすると、Googleの位置情報サービスに匿名化された位置データの収集を許可することになります。データの収集はアプリが起動していなくても行われることがあります。

マップを利用する

Google マップを利用して、現在地の表示、別の場所の検索、および経路の検索ができます。

- 現在地を取得する前に「位置情報を有効にする」を行ってください（P148）。
- Google マップを利用するには、4G / 3G / GSM ネットワークまたはWi-Fi®で接続して、データ通信可能な状態にする必要があります。
- Google マップは、すべての国や地域を対象としているわけではありません。

マップを開く

- 1 ホーム画面で「Google」→「マップ」
 - 画面の指示に従って操作してください。
- 2 検索ボックスに地名などを入力する

時計

アラーム、世界時計、タイマー、ストップウォッチを利用できます。

- 1 ホーム画面で「時計」
- 2 画面下部のタブをタップする
 - ・各機能の画面に切り替わります。

アラームを設定する

- 1 ホーム画面で「時計」→「アラーム」タブ
- 2 
- 3 必要に応じて設定を変更する
 - ・時刻や繰り返し、スヌーズ間隔などの設定ができます。
- 4 「保存」
 - ・アラーム一覧画面が表示され、設定されたアラームがリストに追加されます。
 - ・ /  をタップしてアラームのON / OFFを設定できます。
 - ・リストをタップすると、アラーム設定画面が表示され、内容の変更ができます。「保存」をタップすると、変更が上書きされ、アラーム一覧画面に戻ります。

お知らせ

- ・アラームの設定時刻になると、アラームが動作します。「停止」をタップすると、アラームが停止します。また、「スヌーズ」をタップすると、ステータスバーに  が表示され、アラーム設定の「スヌーズ間隔」で設定した間隔で再び動作します。
- ・アラーム一覧画面で  →「削除」→「すべて選択」または削除したいアラームにチェックマークを付ける→「削除」→「削除」をタップすると、アラームを削除することができます。アラームを1つしか設定していない場合、 →「削除」→「削除」をタップします。

世界時計を設定する

登録した都市の日付と時刻が一覧で確認できます。

1 ホーム画面で「時計」→「世界時計」タブ

2 

3 検索ボックスに都市名を入力→都市名をタップする

- ・ 選択した都市の名前、現在時刻、日付が世界時計一覧画面に追加されます。

お知らせ

- ・ サマータイム設定中の都市には  が表示されます。
- ・ 世界時計一覧画面で  →「削除」→「すべて選択」または削除したい都市にチェックマークを付ける→「削除」→「削除」をタップすると、都市を削除することができます。
世界時計を1つしか設定していない場合、 →「削除」→「削除」をタップします。

タイマーを設定する

1 ホーム画面で「時計」→「タイマー」タブ

2 時／分／秒を設定する

3 「開始」

- ・ タイマーが開始されます。

お知らせ

- ・ タイマーの設定時間になると、アラームが動作します。「停止」をタップすると、アラームが停止します。
- ・ タイマーの動作中に「一時停止」をタップすると、タイマーが一時停止します。一時停止中に「再開」をタップすると、タイマーが再開します。
- ・  をタップすると、タイマー設定がリセットされます。

ストップウォッチを利用する

- 1 ホーム画面で「時計」→「ストップウォッチ」タブ
- 2 「開始」
 - 測定が開始されます。ラップタイムを計測するには「ラップ」をタップします。
 - 測定を止めるには「一時停止」をタップします。「再開」をタップすると測定を再開、「リセット」をタップすると測定をやり直します。

カレンダー

スケジュールを管理するためのアプリです。Googleアカウントをお持ちの場合には、Googleカレンダーのデータと同期できます。

カレンダーを開く

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「カレンダー」



- 1 **本日**
本日の日付にカーソルを移動します（アイコンの日付は変動します）。
- 2 **検索**
予定を検索します。
- 3 **メニュー**
メニューを表示します。
- 4 **カレンダー表示切り替え**
カレンダーの表示形式を日／週／月／年／予定リストに切り替えたり、タスクを表示したりできます。
- 5 **表示切り替え**
日表示／週表示／月表示／年表示では < / > をタップすると、前後の日、週、月、年が表示されます。
- 6 **本日の日付**
- 7 **選択している日付**
- 8 **新規作成**
予定を作成します。

予定を作成する

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「カレンダー」
- 2 日付をタップ→  →各項目を設定→「保存」

お知らせ

- 予定の作成には、カレンダー画面で  →「カレンダー表示」→同期するアカウントをONにして、アカウントを有効にしてください。
- 予定作成画面の「通知」欄で設定した時刻になると、ステータスバーに  が表示されます。ステータスバーを下にドラッグまたはスワイプして通知パネルを開き、カレンダーの通知をタップすると、予定の詳細画面が表示されます。「解除」をタップすると通知が消去されます。スヌーズ間隔を設定して「スヌーズ」をタップすると設定した時刻が経過した後に再度通知します。

予定を変更／削除する

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「カレンダー」
- 2 ≡ →「予定リスト」
- 3 変更／削除したい予定をタップ→ （編集）→「保存」／ （削除）→「削除」
 - ・ カレンダー画面で ⋮ →「削除」→「すべて選択」または削除したい予定にチェックマークを付ける→「削除」→「削除」をタップしても、予定を削除することができます。

カレンダーの設定を変更する

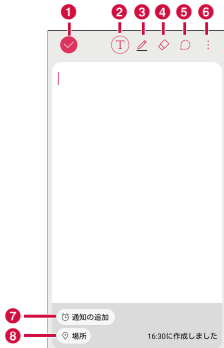
- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「カレンダー」
- 2 ⋮ →「設定」
- 3 必要に応じて設定を変更する
 - ・ カレンダーの表示設定や予定の通知設定をしたり、アカウントの設定をすることができます。

Qメモ+

直接文字やイラストを書き込むことができます。

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「Qメモ+」
メモ一覧画面が表示されます。

- 2 +
- 3 メモを作成する



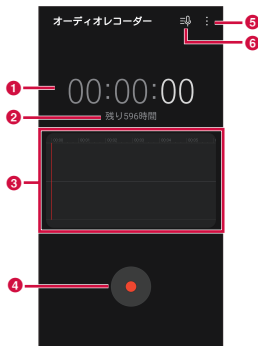
- 1 作成したメモを保存します。
- 2 文字の編集や色を選択できます。
- 3 ペンの種類やカラーなどを選択できます。
- 4 消しゴムを利用できます。
- 5 選択した部分のサイズ変更や移動、削除できます。
- 6 メニューを表示します。
- 7 タップするとメモを通知する日時や場所を設定できます。
 - 通知を削除する場合は「×」をタップしてください。
- 8 タップすると位置情報を取得して追加します。

オーディオレコーダー

音声を録音することができます。

録音する

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「オーディオレコーダー」
録音画面が表示されます。



- 1 現在の録音時間
- 2 残り録音可能時間

3 インジケーター
録音中の音量レベルを表示します。

4 録音開始ボタン
録音を開始します。

5 メニューアイコン
・ タイマーやタグの追加、設定を確認できます。

6 録音ファイル一覧表示

2 
録音が開始されます。
・  をタップすると一時停止できます。
・  をタップすると、ブックマークを追加できます。

3 
・ 録音が停止します。録音したファイルは自動的に保存されます。
・ 録音ファイル一覧画面に遷移します。

お知らせ

- ・ 録音中に着信があり通話を開始すると、録音が停止してデータが保存されます。
- ・ 録音中に  をタップしてホーム画面を表示するなど、他の画面に切り替えても録音は停止しません。

電卓

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「電卓」
- ・ 右端の青色部分をドラッグするか、横画面表示にすると関数電卓が表示されます。
 - ・  → 「ヘルプ」をタップすると電卓のヘルプを確認できます。

ドコモデータコピー

「ドコモデータコピー」は、本端末に保存されているデータを他の端末へコピーしたり、バックアップ／復元をしたりするためのアプリです。

機種変更時のデータ移行や、大切なデータの定期的なバックアップにご利用ください。

- OSやファイルの種類によっては、正しくコピー、バックアップ、復元できない場合があります。

データ移行

インターネットを使用しない1対1のダイレクト通信を利用して、電話帳、画像などのデータを移行先の端末へ直接コピーすることができます。

コピー元端末とコピー先端末の両方で「データコピー」を起動し、2台並べた状態で利用してください。

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「データコピー」→「データ移行」

- 画面の指示に従って操作してください。
- コピー元端末とコピー先端末の両方に本アプリが必要です。インストールされていない場合、ドコモのホームページよりダウンロードできます。
- 対応機種や詳しい使い方は、ドコモのホームページをご覧ください。

バックアップ・復元

microSDカードを利用して、電話帳、画像などのデータの移行やバックアップ・復元ができます。

- バックアップまたは復元中にmicroSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。データが破損する場合があります。
- 他の端末の電話帳項目名（電話番号など）が本端末と異なる場合、項目名が変更されたり削除されたりすることがあります。また、電話帳に登録可能な文字は端末ごとに異なるため、復元先で削除されることがあります。
- バックアップ対象の電話帳は、docomoのアカウントとして登録されている電話帳です。
- 名前が登録されていない電話帳はバックアップできません。
- 本端末やmicroSDカードの空き容量が不足していると、バックアップまたは復元が実行できない場合があります。その場合は、本端末やmicroSDカードから不要なファイルを削除して容量を確保してください。
- 電池残量が不足しているとバックアップまたは復元が実行できない場合があります。その場合は、本端末を充電後に再度バックアップまたは復元を行ってください。
- 本アプリでは静止画・動画などのデータのうち本端末に保存されているもののみバックアップされます。microSDカードに保存されているデータはバックアップされません。

- 画面ロック中や省電力設定の作動中などは、設定した時刻どおりには定期バックアップが実行されず、次回起動可能となったときに実行されます。

バックアップする

電話帳、メディアファイルなどのデータのバックアップを行います。

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「データコピー」→「バックアップ&復元」
- 2 「バックアップ」→バックアップするデータにチェックマークを付ける→「バックアップ開始」→「開始する」
 - 選択したデータがmicroSDカードに保存されます。
- 3 「トップに戻る」

復元する

microSDカードにバックアップした電話帳、メディアファイルなどのデータを本端末に復元します。

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「データコピー」→「バックアップ&復元」
- 2 「復元」→復元するデータ種別を「選択」→復元するデータにチェックマークを付ける→「選択」
- 3 復元方法を選択→「復元開始」→「開始する」
 - データ種別によっては、復元方法の選択は不要です。
 - 選択したデータが本端末に復元されます。
- 4 「トップに戻る」
 - 定期バックアップスケジュールが未設定の場合は、「定期バックアップをONにする」と表示されますので、画面の指示に従って操作してください。

電話帳を docomo のアカウントにコピーする

Google アカウントの連絡先を docomo のアカウントにコピーします。

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「データコピー」→「バックアップ&復元」
- 2 「電話帳アカウントコピー」→コピーする電話帳の「選択」→「上書き」／「追加」
 - ・ コピーした連絡先が docomo のアカウントに保存されます。
- 3 「OK」

本体設定

設定メニュー

本端末では、ホーム画面で「設定」をタップすると、さまざまな設定を行う「設定」画面が表示されます。

ネットワークとインターネット	(P161)
接続	(P173)
サウンド	(P174)
表示	(P175)
ロック画面とセキュリティ	(P176)
プライバシー	(P181)
位置情報	(P182)
便利な機能	(P182)
Digital Wellbeingと保護者による使用制限	(P183)
アプリと通知	(P184)
バッテリー	(P187)
ストレージ	(P188)

ドコモのサービス／クラウド	(P189)
アカウント	(P190)
Google	(P191)
システム	(P192)
ユーザー補助	(P196)

お知らせ

- ・ 本端末の利用状況によっては、設定メニューの一番上に提案として設定を促す項目が表示される場合があります。

ネットワークとインターネット

各種ネットワークの有効／無効を設定したり、ネットワーク接続に必要な設定を行います。

Wi-Fi	(P161)
データ使用量	(P166)
通話設定	(P97)
テザリング	(P167)
機内モード	電波を発する機能のON / OFFを切り替えます。
モバイルネットワーク	データ通信を有効にするかどうか、データローミングを許可するかどうか、通話モード設定、優先ネットワークタイプ、アクセスポイント名、通信事業者などの設定を行います。
VPN	(P171)
プライベートDNS	プライベートDNSの設定を行います。

Wi-Fi®

本端末は、Wi-Fi® ネットワークや公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続してインターネットなどを利用できます。接続するには、アクセスポイントの接続情報を設定する必要があります。

■ Bluetooth® 機能との電波干渉について

無線LAN (IEEE802.11 b/g/n) と Bluetooth® デバイスは同一周波数帯 (2.4GHz) を使用しているため、Bluetooth® デバイスの近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、以下の対策を行ってください。

- ・ 本端末や接続相手の無線LAN対応機器を Bluetooth® デバイスから約10m以上離してください。
- ・ 約10m以内で使用する場合は、Bluetooth® デバイスの電源を切ってください。

お知らせ

- ・ Wi-Fi® 機能がONのときもパケット通信を利用できます。ただし、Wi-Fi® ネットワークに接続中は、Wi-Fi® ネットワークが優先されます。Wi-Fi® ネットワークが切断された場合には、自動的に4G / 3G / GSM ネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったまままでご利用される場合は、パケット通信料が発生する場合がありますのでご注意ください。
- ・ Wi-Fi® を使用しないときはOFFにすることで、電池の消費を抑制できます。

Wi-Fi® ネットワークに接続する

- 1 ホーム画面で「設定」→「ネットワークとインターネット」→「Wi-Fi」
- 2 「Wi-Fi」をONにする
- 3 接続するWi-Fi® ネットワーク名をタップする
 - セキュリティで保護されたWi-Fi® ネットワークに接続を試みると、そのWi-Fi® ネットワークのセキュリティキーの入力が求められます。「パスワード」入力欄にネットワークのパスワードを入力して「接続」をタップしてください。
 - 「パスワード表示」(P181)をONにしていると、パスワード入力時は入力直後の文字だけが表示され、それ以前に入力した文字は文字数分だけ「・」が表示されます。「パスワードの表示」にチェックマークを付けると、入力した文字をすべて表示させることができます。

お知らせ

- 接続可能なネットワークは、オープンネットワークとセキュリティで保護されたネットワークの2種類があります。これは、Wi-Fi® ネットワーク名の左に  (オープンネットワーク) /  (セキュリティで保護されたネットワーク) のように異なったアイコンで表示されます。また、アイコンの塗り色の濃さにより電波の強度が表されます。
- Wi-Fi® ネットワークを再度検索する場合は、「Wi-Fi」画面で  をタップします。
- 接続可能なネットワークであっても、アクセスポイント側の設定によってはWi-Fi® ネットワーク名が表示されません。こうした場合でも、ネットワークに接続することは可能です。「Wi-Fi® ネットワークを追加する」(P163)をご参照ください。
- Wi-Fi® 接続する場合、接続に必要な情報は、基本的にDHCPサーバーから自動的に取得されます。また、これらを個別に設定することもできますが、設定情報を間違えるとネットワークが利用できなくなる可能性があります。
- 「モバイルデータ切り替え」をONにしている場合、ステータスバーにモバイルネットワークのアイコンが表示されると、モバイルネットワークを使用していることを示し、パケット通信料が発生しますのでご注意ください。

- ・インターネット接続されていないアクセスポイントに接続すると、が表示され、Wi-Fi®ではなくモバイルネットワークで通信が行われる場合があります。
- ・ドコモサービスをWi-Fi®経由で利用する場合は「dアカウント」の設定が必要です。ホーム画面で「設定」→「ドコモのサービス／クラウド」→「dアカウント設定」をタップして設定します。

Wi-Fi®ネットワークを追加する

- 1 ホーム画面で「設定」→「ネットワークとインターネット」→「Wi-Fi」
- 2 「Wi-Fi」をONにする
- 3  → 「Wi-Fi追加」
- 4 「Wi-Fiアクセスポイント名 (SSID)」にネットワークSSIDを入力する
- 5 「セキュリティ」をタップする
 - ・「なし」「WEP」「WPA/WPA2 PSK」「802.1x EAP」の4種類から適切なものを選択します。
 - ・セキュリティの設定ごとに、設定方法は異なります。
- 6 「接続」

Wi-Fi®ネットワークから切断する

- 1 ホーム画面で「設定」→「ネットワークとインターネット」→「Wi-Fi」
- 2 切断するWi-Fi®ネットワーク名をタップする
- 3 「切断」

モバイルデータ切り替えを設定する

接続したWi-Fi®ネットワークがインターネット接続できるかを確認し、接続できない場合は自動的にモバイルネットワークに切り替えるかどうかを設定します。

- 1 ホーム画面で「設定」→「ネットワークとインターネット」→「Wi-Fi」
- 2 「Wi-Fi」をONにする
- 3 「モバイルデータ切り替え」をONにする

お知らせ

- ・「モバイルデータ切り替え」をONにしている状態で、無線LAN内蔵メモリカードなどのインターネットに接続しないアクセスポイントとのWi-Fi®接続が切断される場合は、「モバイルデータ切り替え」をOFFにしてください。

静的IPアドレスを使用する

静的IPアドレスを使用してWi-Fi®ネットワークに接続するように本端末を設定できます。

- 1 ホーム画面で「設定」→「ネットワークとインターネット」→「Wi-Fi」
- 2 「Wi-Fi」をONにする
- 3 接続するWi-Fi®ネットワークをタップ→「詳細オプション」にチェックマークを付ける
- 4 「IP設定」をタップ→「静的」
- 5 必要な項目を設定
 - ・ 静的IPアドレスを使用するには、以下の項目を入力する必要があります。
 - IPアドレス
 - ゲートウェイ
 - ネットワークプレフィックス長
 - DNS 1
 - DNS 2
- 6 パスワードを入力して「接続」

保存されたWi-Fi®ネットワークを確認／削除する

- 1 ホーム画面で「設定」→「ネットワークとインターネット」→「Wi-Fi」
- 2 「Wi-Fi」をONにする
- 3 ⋮ →「保存されたWi-Fi」
 - ・ 接続情報が保存されているWi-Fi®ネットワーク一覧が表示されます。
- 4 Wi-Fi®ネットワーク名をタップする
 - ・ ネットワークのセキュリティ情報が表示されます。
- 5 「削除」

お知らせ

- ・ 「Wi-Fi」画面で削除するWi-Fi®ネットワーク名をタップ→「削除」をタップしても保存されたWi-Fi®ネットワーク一覧から削除することができます。

Wi-Fi Direct®を使用する

アクセスポイントなどを経由せずに、Wi-Fi Direct®対応機器同士で接続ができます。

■ 他のWi-Fi Direct®対応機器に接続要求する

1 ホーム画面で「設定」→「ネットワークとインターネット」→「Wi-Fi」

2 「Wi-Fi」をONにする

3 ⋮ → 「Wi-Fiの詳細設定」 → 「Wi-Fi Direct」

- ・ 接続するWi-Fi Direct®対応機器が表示されないときは、 をタップします。

4 検出されたWi-Fi Direct®対応機器をタップする

- ・ 相手のWi-Fi Direct®対応機器に接続要求が送信されます。

■ 他のWi-Fi Direct®対応機器との接続を解除する

1 接続中のWi-Fi Direct®対応機器をタップ → 「OK」

■ 他のWi-Fi Direct®対応機器から接続要求を受ける

1 「接続への招待」画面で「同意する」

Wi-Fi®の詳細設定を行う

1 ホーム画面で「設定」→「ネットワークとインターネット」→「Wi-Fi」

2 「Wi-Fi」をONにする

3 ⋮ → 「Wi-Fiの詳細設定」

4 必要に応じて設定を変更する

Wi-Fi通知 ^{※1}	セキュリティで保護されていないWi-Fi®のオープンネットワークを検出したら自動的に通知します。
Passpoint	Wi-Fi®がONの場合、利用可能なPasspoint対応のアクセスポイントに自動で接続するかどうかを設定します。
Wi-Fi Direct ^{※1}	(P165)
証明書のインストール	内部ストレージからネットワーク証明書のインストールを行います。
MACアドレス	MACアドレスを表示します。
IPアドレス ^{※2}	IPアドレスを表示します。

※1 あらかじめ、「Wi-Fi」をONにする必要があります。

※2 あらかじめ、Wi-Fi®ネットワークと接続する必要があります。

データ使用量

モバイルデータ通信を利用するかどうか、モバイルデータ通信の制限設定、データ使用期間のグラフと使用されたサービスの内訳を表示します。

データ使用量画面を表示する

期間ごとやアプリごとのモバイルデータ通信使用量（目安）が表示されます。

- 1 ホーム画面で「設定」→「ネットワークとインターネット」→「データ使用量」

お知らせ

- ・「データ使用量」をONに設定するとモバイルネットワーク経由のインターネットアクセスを有効にできます。
- ・グラフ上でモバイルデータ通信使用量の制限や警告を行う使用量の設定ができます。使用量の制限は「モバイルデータ通信の制限設定」をONにしているときのみ設定できます。
- ・表示されるモバイルデータ通信使用量は目安であり、実際の通信使用量とは異なる場合があります。ご利用のモバイルデータ通信使用量はMy docomoからご確認いただけます。
- ・モバイルデータ通信使用量が指定の上限に達した場合は、モバイルデータ通信が一時停止されます。ご注意ください。
モバイルデータ通信を再開するには、「データ使用量」のポップアップ画面で、「OK」をタップするか、データ使用量の上限の制限値を変更してください。

モバイルデータの各種設定を行う

- 1 ホーム画面で「設定」→「ネットワークとインターネット」→「データ使用量」→ ⋮

データセーバー	アプリのデータアクセス制限をするかどうかを設定します。
Wi-Fiの使用状況を表示	Wi-Fi®の使用状況を表示するかどうかを設定します。
ネットワーク制限	バックグラウンドのアプリが、特定のWi-Fi®ネットワークを利用できないように設定できます。
モバイルネットワーク	(P161)

テザリング

テザリングとは一般に、スマートフォンなどのモバイル機器をモデムとして使い、無線LAN対応機器、USB対応機器、Bluetooth®対応機器をインターネットに接続させる機能です。

テザリングのご利用には、パケットバック／パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。

USBテザリングを有効にする

USBケーブルA to C 02（別売）で本端末とパソコンを接続し、モデムとして利用することでインターネットに接続させることができます。

- 1 本端末とパソコンをUSBケーブルA to C 02で接続する（P209）
- 2 ホーム画面で「設定」→「ネットワークとインターネット」→「テザリング」
- 3 「USBテザリング」をONにする

お知らせ

- USBテザリングを行う際、必要なパソコン側の動作環境は次のとおりです。
 - OS*: Windows 10/Windows 8.1/Windows 7、Mac OS X10.6以降
- ※ OSのアップグレードや追加・変更した環境での動作は保証いたしかねます。
- USBテザリングを行うには、LG Mobile USBドライバーが必要です。詳細については、下記のホームページをご参照ください。
<https://www.lg.com/jp/support/software-firmware>
- USBテザリングに必要な専用のドライバは、本端末とパソコンを接続する時に表示されるプログラムのインストール画面からもインストールできます。
- USBテザリングは、Wi-Fi®テザリング、Bluetooth®テザリングと同時に利用できます。

Wi-Fi®テザリングを有効にする

本端末をWi-Fi®アクセスポイントとして利用し、無線LAN対応機器をインターネットに10台まで同時接続させることができます。

1 ホーム画面で「設定」→「ネットワークとインターネット」→「テザリング」→「Wi-Fiテザリング」

2 「Wi-Fiテザリング」をONにする

お知らせ

- Wi-Fi®テザリングは、USBテザリング、Bluetooth®テザリングと同時に利用できます。

Wi-Fi® テザリングを設定する

■ Wi-Fi® アクセスポイントを設定する

- 1 ホーム画面で「設定」→「ネットワークとインターネット」→「テザリング」
- 2 「Wi-Fi テザリング」→「Wi-Fi アクセスポイントを設定」
- 3 「Wi-Fi アクセスポイント名 (SSID)」に、ネットワーク SSID を入力する
- 4 「セキュリティ」をタップする
 - ・「Open」、「WPA2 PSK」から適切なものを選択します。
 - ・セキュリティを「Open」に設定した場合は、パスワードの入力は不要です。
- 5 「保存」

お知らせ

- ・ 初期状態では、ネットワーク SSID は「LG style2_xxxx」、セキュリティは「WPA2 PSK」に設定されています。
- ・ 「タイムアウト」をタップすると、接続されたデバイスがない場合に Wi-Fi テザリングを自動で OFF にする時間を設定できます。

Bluetooth® テザリングを有効にする

本端末をモデムとして利用することでインターネットに4台まで同時接続させることができます。

- 1 ホーム画面で「設定」→「ネットワークとインターネット」→「テザリング」
- 2 「Bluetooth テザリング」を ON にする

お知らせ

- ・ Bluetooth® テザリングを利用するには、本端末とのペアリングが必要です。
詳しくは「Bluetooth® デバイスとペアリング／接続する」(P204) をご参照ください。
- ・ Bluetooth® テザリングは、USB テザリング、Wi-Fi® テザリングと同時に利用できます。

アクセスポイントを設定する

インターネットに接続するためのアクセスポイント（spモード）は、あらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。

spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

<https://www.nttdocomo.co.jp/service/spmode/mopera> U、ビジネスmoperaインターネットをご利用になる際は、手動でアクセスポイントを追加する必要があります。

mopera Uの詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。

<https://www.mopera.net/>

利用中のアクセスポイントを確認する

- 1 ホーム画面で「設定」→「ネットワークとインターネット」→「モバイルネットワーク」→「詳細設定」→「アクセスポイント名」

アクセスポイントを追加で設定する<新しいAPN>

- 1 ホーム画面で「設定」→「ネットワークとインターネット」→「モバイルネットワーク」→「詳細設定」→「アクセスポイント名」
- 2 ∴ →「APNの追加」
- 3 「名前」→作成するネットワークプロファイルの名前を入力→「OK」
- 4 「APN」→アクセスポイント名を入力→「OK」
- 5 その他、通信事業者によって要求されている項目を入力する
- 6 ∴ →「保存」

お知らせ

- MCCを440、MNCを10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。
- MCC、MNCの設定を変更して画面上に表示されなくなった場合は、初期設定にリセットするか、手動でアクセスポイントの設定を行ってください。

アクセスポイントを初期化する

アクセスポイントを初期化すると、初期状態に戻ります。

- 1 ホーム画面で「設定」→「ネットワークとインターネット」→「モバイルネットワーク」→「詳細設定」→「アクセスポイント名」
- 2 ∴ →「初期設定に戻す」

VPN（仮想プライベートネットワーク）に接続する

仮想プライベートネットワーク（VPN：Virtual Private Network）は、保護されたローカルネットワーク内の情報に、別のネットワークから接続する技術です。VPNは一般に、企業や学校、その他の施設に備えられており、ユーザーは構内にいなくてもローカルネットワーク内の情報にアクセスできます。

本端末からVPNアクセスを設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を得る必要があります。

VPNを追加する

- 1 ホーム画面で「設定」→「ネットワークとインターネット」→「VPN」
- 2 +
- 3 ネットワーク管理者の指示に従って各項目を設定→「保存」

VPNに接続する

- 1 ホーム画面で「設定」→「ネットワークとインターネット」→「VPN」
- 2 接続するVPN名をタップする
- 3 必要な認証情報を入力→「接続」

VPNを編集する

- 1 ホーム画面で「設定」→「ネットワークとインターネット」→「VPN」
- 2 編集するVPNの 
- 3 情報の追加、削除、修正を行う→「保存」

VPNを削除する

- 1 ホーム画面で「設定」→「ネットワークとインターネット」→「VPN」
- 2 削除するVPNの 
- 3 「削除」

VPNを常に使用する

- 1 ホーム画面で「設定」→「ネットワークとインターネット」→「VPN」
- 2 使用するVPN名をタップする
- 3 「VPN常時接続」にチェックマークを付ける→「接続」

接続

ネットワークの各種設定を行います。

Bluetooth	(P202)
画面共有	Wi-Fi Direct®を利用してMiracastに対応する映像機器で、画面の表示内容と音を共有するための設定を行います。利用可能なデバイスが見つからない場合は「検索」をタップします。
NFC / おサイフケータイ設定	(P173)
共有パネル	周辺デバイスとよく使用する連絡先を共有パネルに表示できるようにします。
ファイル共有	(P211)
メディアサーバー	DLNAを使用して周辺デバイスとメディアコンテンツを共有します。
印刷	ワイヤレスプリンターの設定を行います。

NFC / おサイフケータイを設定する

NFC / おサイフケータイに関する設定と管理を行います。

1 ホーム画面で「設定」→「接続」→「NFC / おサイフケータイ 設定」

NFC / おサイフケータイ ロック	おサイフケータイの機能やサービスの利用を制限できます。
Reader/Writer, P2P	NFCのReader/Writer, P2P機能のON / OFFを切り替えます。
Androidビーム	「Reader/Writer, P2P」をONにした場合、アプリコンテンツを別のNFC対応の端末にビームするかどうかを設定します。
ロックパスワード変更	NFC / おサイフケータイのロックパスワードを変更します。
タップ&ペイ	おサイフケータイ対応サービスなど、読み取り機にかざして利用できるサービスの有効/無効の設定ができます。利用するには対応するアプリをインストールする必要があります。

サウンド

着信音の種類や音量、バイブなどの設定を行います。

マナーモード	「サウンドとバイブ」、「バイブのみ」、「サイレント」のいずれかを選択します。
音量	「着信音」、「通知音」、「タッチフィードバックとシステム」、「音楽、ビデオ、ゲームとそのほかのメディア」の音量を設定します。
着信音	着信音として使用する音を設定します。
通知音	通知音として使用する音を設定します。
着信時のバイブ	着信を振動で知らせるかどうかを設定します。
着信音の自動作成	選択した電話番号からの着信時に、自動で作成した着信音が鳴るようにするかどうかを設定します。
通知の鳴動設定	通知の鳴動条件や時間帯などを設定します。

音質とサウンドエフェクト

音量の自動補正、「DTS:X 3D Surround」の有効／無効、「Hi-Fi Quad DAC」でオーディオデバイスの音質の最適化などを設定します。

バイブの強さ

バイブの強さを設定します。

振動タイプ

バイブの振動パターンを選択します。

タップ時のバイブ

画面上の特定のアイテムをタップしたときに振動します。

ダイヤルキーパッド音

「ダイヤルキーパッド音」、「タッチ音」、「画面ロック時の音」を鳴動させるかどうかを設定します。

タッチ音

画面ロック時の音

お知らせ

- 本端末では、マナーモード（バイブのみ、サイレント）設定中でも、着信音や各種通知音を除く音（動画再生、音楽の再生、シャッター音など）は消音されません。

表示

フォントや画面の明るさなど表示に関する設定を行います。

ホーム画面	ホーム画面に関する設定を行います。 ホームアプリを切り替えできます。 「docomo LIVE UX」、「ホーム」、「ホーム／アプリ一覧」、「easy ホーム」があります (P67)。
壁紙とテーマ	壁紙とテーマ、アイコンを設定します。
フォント	画面表示のフォントを設定します。
ナビゲーションバー	ナビゲーションバーのスタイル (ジェスチャー／ジェスチャーおよびボタン／基本) やボタンの配列を設定します。
コンフォートビュー	ブルーライトの光量を減らして、目の疲れを軽減させます。
ナイトモード	夜間でも快適に画面を見られるように、目の負担を軽減する暗いテーマを適用します。
表示サイズ	画面に表示されるアイコンなどのサイズを変更します。

画面の明るさ	画面の明るさを設定します。 「自動」をONにすると、周囲の明るさに応じて、画面の明るさが自動的に変更されます。
画面消灯時間	操作しないときに、自動的に画面が消灯するまでの時間を設定します。
縦横表示の自動回転	本端末の向きに合わせて、自動的に縦画面表示または横画面表示に切り替わるように設定します。
スクリーンセーバー	スクリーンセーバーの設定を行います。 ・「スクリーンセーバーの起動」をタップするとスクリーンセーバーが起動します。 ・  をタップすると、スクリーンセーバーごとに詳細を設定できます。
ミニビュー	片手で操作できるように画面を縮小できます。 ※ 本機能は、ナビゲーションバーのスタイルが「基本」の場合のみ設定できます。

ロック画面とセキュリティ

画面ロックやセキュリティについて設定を行います。

Google Play プロテクト	Google Play プロテクトを利用するかどうかを設定します。
デバイスを探す ^{※1}	リモートで本端末を探したり、本端末のロックまたはデータの消去を行うかどうかを設定します。
セキュリティアップデート	セキュリティの更新状態を確認したり、更新があるかをチェックしたりできます。
Google Play システムアップデート ^{※2}	Google Play のアップデートを行います。
画面ロックを選択	(P177)
ロック画面の表示情報	ロック画面に表示させる壁紙、時計などについて設定します。
セキュリティロックを設定	(P178)
指紋認証	(P179)
コンテンツロック	ギャラリーやQメモ+のロックについて設定します。

暗号化と証明書	SDカードの暗号化、端末のロック設定、証明書の設定を行います。 ・ microSD カードを暗号化した状態で「データの初期化」を行った場合、microSD カード内のデータを利用できなくなりますのでご注意ください。「データの初期化」を行う前に、暗号化解除を行ってください。
UIMカードのロック設定	(P60)
デバイス管理機能の選択	本端末で有効にするデバイス管理機能を選択します。
信頼できるエージェント ^{※3}	信頼できるエージェントを有効にするかどうかを設定します。
画面の固定	本端末の画面に特定のアプリを固定できるようにするかどうかを設定します。
使用履歴へのアクセス	アプリの使用履歴へのアクセスの設定を行います。

※1 使用状況によっては表示が異なる場合があります。

※2 Google アカウントが設定されている場合のみ表示されます。

※3 画面ロックが「パターン」、「PIN」、「パスワード」、「指紋認証」のいずれかに設定した場合に表示されます。

お知らせ

＜画面ロックの解除について＞

- パターン入力、PIN入力、パスワード入力をそれぞれ5回間違えると、30秒後に再度入力するようメッセージが表示されます。
- パターン／PIN／パスワードを忘れた場合は、ドコモショップにお問い合わせください。

＜ロック画面通知について＞

- 画面ロックを「パターン」、「PIN」、「パスワード」のいずれかに設定した場合、ロック画面に表示させる通知を選択する画面が表示されます。「プライベートな通知内容を非表示」／「すべての通知を非表示」を選択した場合、通知アイコン、通話相手の名前や電話番号、不在着信／留守番電話の件数などがロック画面に表示されなくなる可能性がありますので、ご注意ください。

＜端末のロックについて＞

- 電源を入れるたびに設定した画面ロックの解除方法の入力を必要とするかどうかを設定できます。
- 一定回数入力を誤ると本端末が初期化されます。設定した画面ロックの解除方法を忘れないようにご注意ください。

画面のロック方法を設定する

画面のロック方法について設定します。

1 ホーム画面で「設定」→「ロック画面とセキュリティ」→「画面ロックを選択」

なし	画面ロック解除のセキュリティを無効にします。
タッチ	タップしてロックを解除します。
スワイプ	スワイプしてロックを解除します。
パターン	パターンの描画でロックを解除します。好きなパターンを設定します。
PIN	PIN入力でロックを解除します。画面の指示に従って、4～16桁の数字を入力します。
パスワード	パスワード入力でロックを解除します。画面の指示に従って、アルファベットを含む4～16文字のパスワードを入力します。
指紋認証	(P179)

セキュリティロックを設定する

セキュリティのロックの詳細を設定します。電源キーですぐにロックさせるかなどを設定できます。

- 画面ロックの解除に「タッチ」、「スワイプ」、「パターン」、「PIN」、「パスワード」、「指紋認証」のいずれかを設定することによって、表示・設定できる項目は異なります。

1 ホーム画面で「設定」→「ロック画面とセキュリティ」→「セキュリティロックを設定」

入力中のパターンを表示する	パターンを線で表示するかどうかを設定します。
ロックタイマー	画面OFF後、画面ロックするまでの時間を設定します。
電源ボタンですぐにロック	電源キーを押したとき、すぐに画面ロックするかどうかを設定します。
ロックダウンを表示	電源キーを2秒以上押し続けると表示される画面に「ロックダウン」を表示するかどうかを設定します。「ロックダウン」をタップすると、ロック画面の通知や生体認証などが無効になります。

Smart Lock

設定した信頼できる端末や場所などで画面ロックを解除するかどうかを設定します。

指紋認証

指紋認証を設定する

指紋認証機能は、指紋センサーを使用した認証操作です。指紋センサーに登録した指で触れることで、画面ロックを指紋認証で解除できます。

■ 指紋認証利用時のご注意

- 指紋の特徴情報を利用して認証を行うため、特徴情報が少ないお客様の場合は、指紋認証を利用できないことがあります。
- 指紋性能（指で指紋センサーに正しく触れた際に指紋が認証される性能）は、お客様の使用状況により異なります。指の状態が次のような場合は、指紋の登録が困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。なお、手を拭く、手を洗う、認証する指を変える、指の登録範囲を広くするなどで、認証性能が改善されることがあります。
 - お風呂上がりなどで指がふやけていたり、濡れていたり、汗をかいたりしている
 - 指が乾燥している
 - 指に汗や脂が多く、指紋の溝が埋まっている
 - 指が泥や油で汚れている
 - 手荒れや、指に損傷（切傷やただれなど）がある
 - 指の表面が磨耗して指紋が薄い
 - 登録時に比べ、認証時の指の表面状態が極端に異なる

- 指紋認証技術は完全な本人認証・照合を保証するものではありません。当社では第三者に本端末を使用されたこと、または使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関して、一切責任を負いかねますのでご了承ください。

■ 指紋センサー利用時のご注意

- 強く押す、たたくなど故意に強い衝撃を与えないでください。また、表面に爪や鋭利な物、硬い物などを強く押し付けないでください。故障および破損の原因となることがあります。
- 指紋センサーにシールを貼ったり、インクなどで塗りつぶしたりしないでください。
- 指紋センサーが汚れると、指紋の読み取りが困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。指紋センサー表面は時々清掃してください。

指紋を登録する

1 ホーム画面で「設定」→「ロック画面とセキュリティ」→「指紋認証」

- 指紋を登録済みの場合は画面ロックの解除方法を入力する画面が表示され、解除方法を入力すると指紋設定画面が表示されます。

2 「次へ」

- 以降は画面の指示に従って登録してください。登録が完了すると指紋が追加されたことをお知らせする画面が表示され、「追加登録」をタップすると他の指紋を登録できます。

- ・「画面のロック」画面が表示された場合は、画面ロックの解除方法（「パターン」／「PIN」／「パスワード」）を設定してください。設定した解除方法は、指紋認証を利用できないときに使用します。
- ・画面ロックの解除方法を入力する画面が表示された場合は設定した解除方法を入力し、画面の指示に従って操作してください。

お知らせ

- ・指紋設定画面で登録した指紋の  をタップすると、指紋を削除できます。
- ・指紋設定画面で登録した指紋名称をタップすると指紋の名前を変更できます。

指紋認証を行う

1 指を指紋センサーに置く

- ・登録した指で指紋センサーに触れます。
- ・ロック画面で画面を上下左右にスワイプ（フリック）すると、設定した画面ロックの解除方法で画面ロックの解除ができます。
- ・認証されない場合は、一度指を離して指紋センサーに指を置き直してください。

お知らせ

- ・指紋認証が5回連続して失敗すると指紋認証ができなくなります。しばらくしてから再度指紋認証を行うか、画面を上下左右にスワイプ（フリック）して、設定した画面ロックの解除方法で画面ロックを解除します。

プライバシー

アプリの権限の設定やGoogleサービスとの連携などプライバシーに関する設定を行います。

1 ホーム画面で「設定」→「プライバシー」

権限マネージャー	アプリの権限を設定します。
ロック画面	ロック画面に通知を表示するかどうかを設定します。
パスワード表示	パスワード入力中に最後の文字を表示するかどうかを設定します。
Googleの自動入力サービス	Google アカウントに保存されているパスワード、住所、クレジットカードなどの情報を確認、管理します。
Google ロケーション履歴	本端末を持って訪れた場所を保存するかどうか設定します。 データを保存すると、Google サービス全体でさらにカスタマイズされた機能を利用できます。
アクティビティ管理	ウェブとアプリのアクティビティを保存するかどうか設定します。 データを保存すると、Google サービス全体でさらにカスタマイズされた機能を利用できます。

広告	Google 広告のカスタマイズ設定を管理します。
使用状況と診断情報	使用状況と診断情報を Google に自動的に送信するかどうかを設定します。

位置情報

GPSの設定などを行います。

- 1 ホーム画面で「設定」→「位置情報」
- 2 「位置情報」をONにする→「同意する」

便利な機能

スマートドクター	本端末の状態を診断し、最適化できます。
ゲーム	ゲームツールに関する設定を行います。
画面録画	通知パネルから画面記録を選択して、録画ができるように設定します。
デュアルアプリ	他のアカウントとして使用するデュアルアプリを追加でインストールします。
ショートカット	指紋センサーを上下にスワイプしたり、電源キーを2回押すなど主にキーを使って各種の機能をショートカットで行うことができます。

Digital Wellbeingと保護者による使用制限

本端末の日常の使用履歴を確認できます。端末の利用時間、アプリや機能を利用した回数などが確認できます。各アプリの使用時間を制限したり、通知設定を変更することもできます。

1 ホーム画面で「設定」→「Digital Wellbeingと保護者による使用制限」

2 項目を選択して設定を行う

利用時間	画面点灯時間をアプリごとに確認できます。
ロック解除数	起動回数が表示されます。
通知数	受信通知件数が表示されます。
ダッシュボード	各アプリの ⓘ をタップすると、アプリの使用時間を制限できます。制限時間に達すると、アプリは使用できなくなります。
おやすみモード	画面をグレースケールに変更したり、アプリの通知をOFFにできます。また、本機能を有効にする時刻の設定などができます。

フォーカスモード	集中の妨げになるアプリを一時停止します。
通知を管理	各アプリの通知について設定できます。
サイレントモード	通知の鳴動に関して設定します。
アプリの一覧にアイコンを表示	Digital Wellbeing用のアプリのアイコンを、アプリ一覧に表示するかどうかを設定します。
保護者による使用制限を設定する	コンテンツの制限などの使用制限を追加することができます。

アプリと通知

インストールされたアプリの管理や削除（アンインストール）などができます。

アプリと通知の設定をする

アプリのアンインストールやキャッシュのクリア、強制終了などを行います。また、アンインストールできない一部のアプリやサービスを無効化することもできます。

また、アプリの通知や権限についても設定できます。

- ・ アプリを無効化した場合、無効化されたアプリと連携している他のアプリが正しく動作しないことがあります。再度有効化することで正しく動作します。

1 ホーム画面で「設定」→「アプリと通知」

2 以下の項目をタップ

アプリ情報	アプリのアンインストールやキャッシュのクリア、強制終了などを行います。また、アンインストールできない一部のアプリやサービスを無効化します。
通知	アプリの通知に関する設定を行います。

権限マネージャー	SMS やお客様の位置情報などを使用できるアプリを設定します。
利用時間	すべてのアプリの利用時間が確認できます。
既定のアプリ	既定で使用するアプリを確認したり、選択することができます。
特殊なアクセス	アプリに特殊なアクセスを許可するかどうかを設定します。

アプリを確認する

1 ホーム画面で「設定」→「アプリと通知」→「アプリ情報」→確認したいアプリをタップする

- アプリによって表示される項目が異なる場合があります。

開く	アプリを起動します。
無効／有効にする／アンインストール	アプリを無効化／有効化またはアンインストールします。
強制終了	実行中のアプリを強制終了します。
アプリ通知	アプリの通知を設定します。
許可	アクセス権限の設定を変更します。
アプリの使用時間	アプリの使用時間をグラフで見ることができます。
ストレージ	ストレージの使用量を表示したり、アプリのデータの削除やキャッシュをクリアしたりします。

データ使用	アプリのデータ使用量を表示します。
バッテリー	前回の充電完了からの電池の使用状況を表示します。
既定で開く	リンクの開き方や既定で起動するアプリの設定確認と設定の初期化ができます。

お知らせ

- ホーム画面で「設定」→「アプリと通知」→「アプリ情報」→→「システムを表示」をタップすると、システムアプリを含むすべてのアプリを表示できます。

アプリをアンインストールする

- ・プリインストールされているアプリはアンインストールできない場合があります。アンインストールできない一部のアプリは無効化（P186）することができます。
- ・Playストアから入手したアプリはGoogle Playの画面からアンインストール（P131）することをおすすめします。

- 1 ホーム画面で「設定」→「アプリと通知」→「アプリ情報」
- 2 アンインストールしたいアプリをタップする
- 3 「アンインストール」→「OK」

アプリを無効化にする

アプリの無効化を設定したアプリは、動作が停止し、ホーム画面に表示されなくなります。

- ・アンインストールはされません。
- ・アンインストールできない一部のアプリやサービスについて使用可能です。

- 1 ホーム画面で「設定」→「アプリと通知」→「アプリ情報」
- 2 無効にしたいアプリをタップする
- 3 「無効」→「はい」

お知らせ

- ・アプリを無効化した場合、無効化されたアプリと連携している他のアプリが正しく動作しない場合があります。再度有効にすることで正しく動作します。
- ・アプリを再度有効にするには、ホーム画面で「設定」→「アプリと通知」→「アプリ情報」→「すべてのアプリ」→「無効化したアプリ」→有効にするアプリをタップ→「有効にする」をタップします。
- ・ホーム画面で「設定」→「アプリと通知」→「アプリ情報」→→「アプリ設定の初期化」→「リセット」をタップすると、アプリの無効化や既定アプリの設定、バックグラウンドデータの制限などをリセットできます。

バッテリー

電池残量を確認したり、電池残量が少なくなったときに、各種機能の使用を抑えるよう設定できます。またアプリごとの電池使用量を確認できます。

電池残量のアイコン	電池残量がパーセントで表示されます。また、充電しているか、充電完了までの予想時間／推定残り時間も表示されます。
バッテリー消費量	バッテリー消費状況の詳細が確認できます。
ステータスバーに表示	ステータスバーに電池残量をパーセントで表示するかどうかを設定します。
バッテリー自動節約	頻繁に使用しないアプリのバックグラウンドでの実行を制限し、バッテリーを節約できます。
アプリ節電	アプリごとにバックグラウンド実行を制限して、バッテリーを節約できます。
バッテリーセーブ	(P188)

バッテリーセーブ機能の除外アプリ

バッテリーセーブ機能の除外アプリを選択します。

アプリ使用量

使用しているアプリのバッテリー消費量が表示されます。

お知らせ

- アプリごとの電池消費を抑えるために、端末を使用していないときやアプリが数日間使用されていないときにアプリを無効にします。
バッテリーセーブの設定を変更するには、「バッテリーセーブ機能の除外アプリ」→設定を変更するアプリをONにします。
- アプリごとのバッテリー消費量がリセットされるタイミングは下記の通りです。
 - バッテリーを90%以上充電した後ケーブルをはずしたとき

バッテリーセーブをONにする

バッテリーセーブをONにして、画面の明るさを抑えるなどして電池の消費を抑制するバッテリーセーブに関する設定ができます。

1 ホーム画面で「設定」→「バッテリー」→「バッテリーセーブ」

バッテリーセーブ画面が表示されます。

2 「基本設定」／「最大設定」

お知らせ

- ・バッテリーセーブ画面で「基本設定」／「最大設定」を選択しているときに編集モードをタップすると、より詳細なバッテリーセーブ設定ができます。

ストレージ

内部ストレージの空き容量表示、microSDカードの空き容量表示などを行います。

XX.XXGB 合計 64.00 GB	内部ストレージの使用量や総使用量を表示します。
内部ストレージ	内部ストレージの使用量や、詳細な使用状況を表示します。
SDカード	microSDカードのファイルを表示できます。

お知らせ

- ・microSDカードのマウントを解除するには、△をタップしてください。再度マウントする場合は「SDカード」→「マウント」をタップします。

ドコモのサービス／クラウド

ドコモのサービス／クラウドなどについて設定します。

dアカウント設定	ドコモアプリで利用するdアカウントを設定します。また、端末に登録されている生体情報（指紋）を利用したdアカウント認証の設定もできます。
ドコモクラウド	ドコモクラウドに対応した各種サービスのクラウド設定を行います。
ドコモアプリデータバックアップ	ドコモのアプリのバックアップの設定をします。
ドコモアプリ管理	定期アップデート確認などを設定します。
おすすめアプリ	おすすめアプリの設定やこれまでに受信した通知の確認ができます。
おすすめ使い方ヒント	操作や利用状況にあわせて本端末の使いかたをご紹介します、おすすめ使い方ヒントを表示するかどうかを設定します。

オートGPS	オートGPS機能の設定や、測位した場所の履歴の閲覧、低電力時動作の設定などができます。
ドコモ位置情報	イマドコサーチ／イマドコかんたんサーチ／ケータイお探しサービスの位置情報サービス機能の設定を行います。
端末アプリ情報送信	アプリ情報をドコモが管理するサーバへ送信するための設定を行います。
会員情報／プロフィール情報設定	ドコモの各種サービスで利用するお客様の会員情報／プロフィール情報を、確認・変更できます。
ドコモサービス初期設定	本端末を利用するためのサービス設定などを一括して行います。
USBデバッグ切替	ドコモショップなどの専用端末を利用するための設定を行います。
オープンソースライセンス	オープンソースライセンスを表示します。

お知らせ

- ドコモのサービス／クラウドで表示されるアプリの中には無効化設定できるものがあり、無効化設定されたアプリは、ドコモのサービス／クラウドの一覧には表示されなくなる場合があります。
- 新たにドコモ提供のアプリをダウンロード追加することで、ドコモのサービス／クラウドの一覧に項目が追加表示される場合があります。

アカウント

Google アカウントなど本端末で使用するアカウントの追加／削除や、同期の設定を行います。

アカウントを設定する

- 1 ホーム画面で「設定」→「アカウント」
- 2 「アカウントを追加」
- 3 追加したいアカウントの種類をタップする
- 4 画面の指示に従って設定する

お知らせ

- 「アカウントの自動同期」をONにすると、アプリが自動的にデータの同期を行います。これらの動作に伴い、パケット通信料がかかる場合があります。また、OFFの場合と比較すると電池が消費します。
- 手動で同期させる場合は、ホーム画面で「設定」→「アカウント」→同期するアカウントをタップ→「同期」→⋮→「今すぐ同期」をタップします。

アカウントを削除する

- 1 ホーム画面で「設定」→「アカウント」
- 2 削除するアカウントをタップする
- 3 「アカウントを削除」→「削除」

お知らせ

- docomoのアカウントは削除できません。

Google

Googleのアカウントおよびサービスに関する、情報や設定の確認／変更／削除などができます。

- 1 ホーム画面で「設定」→「Google」
- 2 各項目を設定

システム

言語と入力、日付と時刻、メモリ、バックアップ、再起動と初期化、端末情報、規制と安全に関する情報を設定、確認できます。

言語と入力	(P192)
日付と時刻	(P193)
メモリ	メモリの使用量を確認できます。
バックアップ	(P193)
再起動と初期化	(P193)
端末情報	(P194)
規制と安全に関する情報	機器名称や認証情報などを表示します。

言語と入力

本端末の使用言語やキーボードの設定を行います。また、音声の入出力に関する設定を行います。

1 ホーム画面で「設定」→「システム」→「言語と入力」

言語	本端末で使用する言語を選択します。
キーボードの管理	使用するキーボードを設定します。
物理キーボード	物理キーボード接続時の設定を行います。
自動入力サービス	Google 自動入力について設定します。
音声出力	テキストの読み上げに関する設定を行います。優先エンジンの設定、読み上げ速度の調整や音声の高さを変更、デモを聞くことができます。
ポインター速度	本端末とマウスやトラックパッドを接続したときの、ポインター速度の設定を行います。
マウスボタンの変更	接続したマウスの左右のボタン機能を切り替えます。

日付と時刻

日付や時刻に関する設定を行います。

- 1 ホーム画面で「設定」→「システム」→「日付と時刻」

自動設定	ネットワークを介して日付と時刻の情報を取得し、自動的に設定します。
日付の設定	手動で日付の設定を行います。 ・「自動設定」をOFFにしてから設定を行います。
時刻の設定	手動で時刻の設定を行います。 ・「自動設定」をOFFにしてから設定を行います。
タイムゾーンの選択	手動でタイムゾーンの設定を行います。 ・「自動設定」をOFFにしてから設定を行います。
24時間表示	24時間表示とするか、12時間表示とするかを設定します。

バックアップ

バックアップを行います。

- 1 ホーム画面で「設定」→「システム」→「バックアップ」

Google バックアップ	Google ドライブにバックアップをするかどうかを設定します。
---------------	----------------------------------

再起動と初期化

自動再起動や初期化の操作を行います。

- 1 ホーム画面で「設定」→「システム」→「再起動と初期化」

自動再起動	設定時間に本端末を再起動し、最適化します。
ネットワーク設定リセット	Wi-Fi®とBluetooth®を含むネットワークの設定をリセットします。
アプリ設定をリセット	アプリの設定をリセットします。アプリのデータは消去されません。
データの初期化	本端末内のすべてのデータを消去します。

本端末を初期化する

- 1 ホーム画面で「設定」→「システム」→「再起動と初期化」
- 2 「データの初期化」→「携帯電話のリセット」→「すべて削除」→「リセット」
 - ・ microSD カードに保存されているデータを削除する場合、「SD カードのデータを消去」にチェックマークを付けます。

お知らせ

- ・ 本端末を初期化するにはバッテリー残量が30%以上ある必要があります。
- ・ 画像や動画、音楽などのお客様データは、パソコンでのバックアップを行ってください。接続方法について、詳しくは「ファイル操作」(P200)、および「パソコンとの接続」(P208)をご参照ください。

端末情報

本端末に関する各種情報を表示します。

- 1 ホーム画面で「設定」→「システム」→「端末情報」

デバイス名	Bluetooth®やWi-Fi Direct®などで利用される本端末の名称を設定できます。
更新センター	LG エレクトロニクスから提供されるアプリやソフトウェアのアップデート情報をチェックします。
ネットワーク	ネットワーク、モバイルネットワークの種類、サービスの状態、ローミング状態、モバイルネットワークの状態、IP アドレスを表示します。
ステータス	電話番号、IMEI を表示します。
バッテリー	バッテリーの状態や充電能力を表示します。 ・ 「バッテリー性能」→「バッテリーアラーム設定」をONにすると、バッテリーの状態が良好ではない際にメッセージが表示されます。

ハードウェア情報	モデル番号（機種名）、ハードウェアバージョン、稼働時間、S/N、Wi-Fi® MACアドレス、Bluetooth®アドレスを表示します。
ソフトウェア情報	本端末で稼働中のAndroidバージョン、Androidセキュリティパッチレベル、ベースバンドバージョン、カーネルバージョン、ビルド番号、ソフトウェアバージョンを表示します。
使用条件	LGソフトウェアの利用条件、オープンソースライセンス、Google利用規約、Google Playシステムアップデートライセンスを表示します。
アクティビティログ	LGに本端末の情報を送信することに同意するかどうかを設定します。

自分の電話番号を確認する

1 ホーム画面で「設定」→「システム」→「端末情報」→「ステータス」

- 「電話番号」に自分の電話番号が表示されます。

ユーザー補助

ユーザー補助に関する設定などを行います。

見る	TalkBack	ユーザーの操作に音や振動で反応したり、テキストを読み上げたりするユーザー補助サービスを有効にします。また、読み上げやその他のフィードバック、タッチガイドなどを設定します。
	フォント	フォントのサイズを選択したり、太字表示やフォントの追加もできます。 ・「大きいフォント」をONにすると、さらに大きなフォントサイズを選択できます。
	表示サイズ	画面に表示されるアイコンなどのサイズを変更します。
	タッチズーム	画面を3回タップすることで画面をズームイン/ズームアウトするかどうかを設定します。

見る	ウィンドウズーム	画面上に別ウィンドウを表示させて、画面の一部を拡大して見ることができたり、ウィンドウ内でズームイン/ズームアウト、色反転ができます。
	マウスポインタ拡大	マウスポインタを拡大します。
	ハイコントラスト画面	背景を黒くして画面のコントラストを強調します。
	色の反転	画面およびコンテンツの色を反転します。
	色調調整	画面とコンテンツの表示色を調整します。
	モノクローム	画面の色をモノクロームにします。
	電源キーで終話	通話中に電源キーで通話を終了できるようにするかどうかを設定します。 ・「電源キーで終話」がONの状態、通話中にスリープモードになった場合は、電源キーを押してスリープモードを解除してから電源キーを押すと通話を終了できます。

聞く	キャプション	耳の不自由な方のために字幕設定をカスタマイズします。
	LED通知	着信時および通知時にLEDライトが点灯するよう設定します。
	フラッシュお知らせ	着信時および通知時などにカメラのフラッシュを点滅するように設定します。
	オーディオチャンネル	オーディオチャンネルを「モノラル」、「ステレオ」から選択します。
	音声バランス	スライドすることで、左右の音量のバランスを調節します。
動作と認識	Touch assistant	ハードキー機能やジェスチャーにすばやくアクセスするために、タッチボードを表示させます。
	タッチ入力	ロングタッチを感知するまでの時間などを設定します。
	物理キーボード	キーボードの設定をカスタマイズします。

動作と認識	自動クリック	カーソルを停止した位置で自動的にクリック動作を行います。
	画面消灯時間	操作しないときに、自動的に画面が消灯するまでの時間を設定します。
	タッチ操作エリア	タッチ操作を許可しない画面領域を設定します。
ユーザー補助機能のショートカット		ホームキーを3回タップすることで、ユーザー補助機能を起動できるようにするかどうかを設定します。起動できる機能は「TalkBack」／「ウィンドウズーム」／「色の反転」／「色調調整」／「モノクローム」／「Touch assistant」／「スイッチアクセス」／「ユーザー補助の設定」から選択します。
縦横表示の自動回転		本端末の向きを変えた場合、画面表示の縦横を自動的に切り替えるかどうかを設定します。
選択して読み上げ		画面上でタップした項目を音声で聞けます。

スイッチアクセス	戻るキーやホームキーなどを押した時の操作を、音量キーに置き換えて制御するかどうかなどを設定します。
おすすめ使い方ヒント	操作や利用状況にあわせて本端末の使いかたをご紹介します、おすすめ使い方ヒントを表示するかどうかを設定します。

お知らせ

- Google Playから、ユーザー補助サービスに対応するアプリをダウンロードして設定することもできます。
- TalkBackの使用を許可すると、クレジットカード番号などの個人情報、ユーザーインターフェイスでのやりとりなども記録されますので、ご注意ください。万が一、登録されたデータや情報の漏洩が発生しましても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- TalkBackの使用を許可すると、タッチガイド機能も有効になります。タッチガイドとは、指の位置にあるアイテムの説明を読み上げたり表示したりできる機能です。タッチガイド機能を一度ONにしたあとは、項目を選択するときは一度タップして選択してからダブルタップ、スクロールするときは二本指での操作になります。タッチガイド機能だけを個別にOFFにする場合は、ホーム画面で「設定」→「ユーザー補助」→「見る」→「TalkBack」→「設定」→「デベロッパー向けの設定」→「タッチガイド」をOFFにしてください。
- ホーム画面が docomo LIVE UX のときに、TalkBack が正常に動作しないことがあります。

ファイル管理

ストレージ構成

本体（内部ストレージ）

本端末の初期状態では、本体（内部ストレージ）に作成される主なフォルダーは以下のとおりです。

- ・ 本端末の操作状況によっては、表示されるフォルダーが異なる場合があります。

Alarms	アラーム音として設定したい音楽データなどを保存します。
Android	システムや各種アプリの設定データや一時ファイルなどが保存されます。
DCIM	カメラで撮影した静止画、動画のデータが保存されます（保存先を本端末に設定している場合）。
Download	ブラウザなどでダウンロードしたデータやBluetooth®で受信したデータが保存されます。

Movies	動画データが保存されます。
Music	音楽データが保存されます。
Notifications	通知音として設定したい音楽データなどを保存します。
Pictures	静止画データが保存されます。
Podcasts	ポッドキャストデータが保存されます。
Preload	初期状態であらかじめ保存されているデータです。
Ringtones	着信音として設定したい音楽データなどを保存します。

microSD カード (外部ストレージ)

本端末は microSD カードを取り付けて使用することができます。

- 本端末で利用できる microSD カードの詳細については「microSD カード」(P41) をご参照ください。
- microSD カードの取り付け／取り外し方については「microSD カードを取り付ける」(P41) と「microSD カードを取り外す」(P42) をご参照ください。

ファイル操作

フォルダーやファイルの操作

「ファイルマネージャー」を利用して、本端末に保存されている静止画や動画、音楽や文書などさまざまなデータの表示や管理を行います。

- 名前の変更や削除など、一部操作ができないフォルダーやファイルがあります。

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「ファイルマネージャー」
- 2 フォルダー／ファイルをタップする
 - アプリの選択画面が表示された場合は、利用するアプリを選択して「1 回のみ」／「常時」をタップすると、ファイルが表示／再生されます。
 - 画面左上の  をタップすると表示するストレージの切り替えができます。

フォルダーを作成する

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「ファイルマネージャー」
- 2 必要に応じてフォルダーをタップする
- 3  →「新しいフォルダー」→フォルダー名を入力→「保存」

フォルダーやファイルの名前を変更する

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「ファイルマネージャー」
- 2 フォルダー／ファイルをロングタッチ→「リネーム」→名前を入力→「保存」

フォルダーやファイルを削除する

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「ファイルマネージャー」
- 2 フォルダー／ファイルをロングタッチ→「削除」→「削除」

フォルダーやファイルを移動／コピーする

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「ファイルマネージャー」
- 2 必要に応じてフォルダーをタップする
- 3 ⋮ →「移動」／「コピー」
- 4 移動／コピーするフォルダー／ファイルにチェックマークを付ける→「移動」／「コピー」
- 5 移動先／コピー先のフォルダーを選択→「OK」

データ検索

- 1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「ファイルマネージャー」
- 2 
- 3 ファイル名や拡張子などを入力
 - ・ 検索されたファイルが一覧表示されます。
 - ・ ファイルタイプからファイルを検索することもできます。

データ通信

Bluetooth® 通信

本端末とBluetooth®デバイスをワイヤレスで接続し、データをやりとりできます。

- Bluetooth®対応バージョンやプロファイルについては、「主な仕様」(P240)をご覧ください。
- Bluetooth®の設定や操作方法については、接続するBluetooth®デバイスの取扱説明書をご覧ください。
- 本端末とすべてのBluetooth®デバイスとのワイヤレス接続を保証するものではありません。

■ Bluetooth®機能使用時のご注意

- 本端末と他のBluetooth®デバイスとは、見通し距離約10m以内で接続してください。間に障害物がある場合や、周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては、接続可能距離が極端に短くなることがあります。特に鉄筋コンクリートの建物の場合、上下の階や左右の部屋など鉄筋の入った壁を挟んで設置したときは、接続できないことがあります。上記接続距離を保証するものではありませんので、ご了承ください。

- 他の機器（電気製品、AV機器、OA機器など）から約2m以上離れて接続してください。特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず約3m以上離れてください。近づいていると、他の機器の電源が入っているときに正常に接続できないことがあります。また、テレビやラジオに雑音が入ったり映像が乱れたりすることがあります。
- 放送局や無線機などが近くにあり正常に接続できないときは、接続相手のBluetooth®デバイスの使用場所を変えてください。周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
- Bluetooth®デバイスをかばんに入れたままでもワイヤレス接続できます。ただし、Bluetooth®デバイスと本端末の間に身体を挟むと、通信速度の低下や雑音の原因になることがあります。
- Bluetooth®デバイスが発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては、事故を発生させる原因になりますので、次の場所では本端末の電源および周囲のBluetooth®デバイスの電源を切ってください。
 - 電車内
 - 航空機内
 - 病院内
 - 自動ドアや火災報知機から近い場所
 - ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所

■ 無線LAN対応機器との電波干渉について

- 本端末のBluetooth®機能と無線LAN対応機器は同一周波数帯（2.4GHz）を使用しているため、無線LAN対応機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になる場合があります。この場合、以下の対策を行ってください。
 - 本端末や接続相手のBluetooth®デバイスを、無線LAN対応機器から約10m以上離してください。
 - 約10m以内で使用する場合は、無線LAN対応機器の電源を切ってください。

■ Bluetooth®機能のパスキー（PIN）について

- Bluetooth®機能のパスキー（PIN）は、接続するBluetooth®デバイス同士が初めて通信するとき、相手機器を確認して、お互いに接続を許可するための認証用コードです。送信側／受信側とも同一のパスキー（最大16文字の半角英数字）を入力する必要があります。
- 本端末ではパスキーを「PIN」と表示している場合があります。

Bluetooth®機能をONにして本端末を検出可能にする

- 1 ホーム画面で「設定」→「接続」→「Bluetooth」
- 2 「Bluetooth」をONにする

お知らせ

- Bluetooth®機能を使用しないときは、電池の減りを防ぐため、Bluetooth®機能をOFFにしてください。
- Bluetooth®機能のON / OFF設定は、電源を切っても変更されません。

デバイス名を変更する

Bluetooth®通信を行ったときに、相手の機器に表示される本端末の名称を変更できます。

- 1 ホーム画面で「設定」→「接続」→「Bluetooth」
- 2 「Bluetooth」をONにする
- 3 ⋮ → 「デバイス名の変更」
- 4 名前を入力→「保存」

Bluetooth® デバイスとペアリング／接続する

Bluetooth® 通信を行うには、あらかじめ他のデバイスとペアリング（ペア設定）を行い、本端末に登録後、接続を行います。

- Bluetooth® デバイスによって、ペアリングのみ行うデバイスと接続まで続けて行うデバイスがあります。

1 ホーム画面で「設定」→「接続」→「Bluetooth」

2 「Bluetooth」をONにする

- 検出されたBluetooth® デバイスの一覧画面が表示されます。
- Bluetooth® デバイスが表示されない場合は、🔄をタップして再度検索します。

3 接続したいデバイスをタップ→「ペアリング」

- 接続するBluetooth® デバイスによっては、パスキー（PIN）の入力が必要になる場合があります。

お知らせ

- ペアリング時にパスキー（PIN）が必要なデバイスの場合も一度ペアリングを行うと、ペアリングを解除しない限り、切断した状態で再度接続するときのパスキー（PIN）の入力は不要になります。
- プロファイル非対応の場合など、接続できないデバイスの場合、ペアリング設定は可能ですが、デバイスをタップしても接続できません。
- SCMS-T 非対応のデバイスでは、音楽データなど、オーディオ関連データの種別にかかわらず、再生することはできません。
- 他のBluetooth® デバイスから接続要求を受けた場合は、「ペアリング」をタップするか、パスキー（PIN）を入力して「OK」をタップしてください。

接続を解除する場合

1 「ペアリング済みデバイス」の一覧で、接続を解除したいデバイスをタップ→「切断」

ペアリングを解除する場合

1 「ペアリング済みデバイス」の一覧で、ペアリングを解除したいデバイスの ⚙️ をタップ→「ペアリングの解除」

Bluetooth® 機能でデータを送受信する

電話帳（vcf形式の名刺データ）や静止画、動画などのデータを送受信できます。

- あらかじめ本端末のBluetooth® 機能をONにし、検出可能にしてください。

Bluetooth® 機能でデータを送信する

- 送信は各アプリの「共有」／「送信」などのメニューから行ってください。

<例>ギャラリーから静止画を送信する

- 1 本端末と他のBluetooth® デバイスをペアリング／接続する（P204）
- 2 ホーム画面で「ギャラリー」→送信したい静止画を選択して表示する
- 3 「共有」→「Bluetooth」→Bluetooth® デバイスを選択する
- 4 以降、受信する相手機器側で画面の指示に従ってデータを受信する

Bluetooth® 機能でデータを受信する

- 1 本端末と他のBluetooth® デバイスをペアリング／接続する（P204）
- 2 他のBluetooth® デバイスからデータを送信する
- 3 本端末にファイル転送要求の画面が表示されたら、「承諾」をタップする
 - ステータスバーにが表示され、データの受信が開始されます。
 - 通知パネルで受信状態を確認できます。
 - 受信が完了したら、画面下部にメッセージが表示されます。

NFC 通信

NFCとはNear Field Communicationの略で、ISO（国際標準化機構）で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。非接触ICカード機能やReader/Writer機能、P2P機能などが本端末でご利用いただけます。

NFCの機能を利用して、他の対応機器とデータのやりとりができます。

- ・ 対向機にかざす際の注意事項については、「対向機にかざす際の注意事項」（P134）をご覧ください。

Android ビーム

Reader/Writer、P2P機能を搭載した端末との間でデータを送受信できます。

- ・ あらかじめReader/Writer、P2P機能を有効にし、「Androidビーム」をONにしておいてください。
- ・ NFC / おサイフケータイ ロックを設定している場合は、Androidビームを利用できません。
- ・ アプリによってはAndroidビームをご利用になれません。
- ・ すべてのReader/Writer、P2P機能を搭載した端末との通信を保証するものではありません。

データを送信する

ブラウザのウェブページや連絡先、静止画、動画などのファイルを、他のNFC対応端末に送信できます。

<例>ギャラリーから静止画を送信する

- 1 受信側端末のAndroidビーム機能を利用可能に設定する
- 2 本端末のReader/Writer、P2P機能を有効にし、「Androidビーム」をONにする（P173）
- 3 ホーム画面で「ギャラリー」→送信したい静止画を選択して表示する
- 4 本端末と受信側端末の  マーク部分を向かい合わせて近づける
 - ・ ビーム共有画面が表示されます。
- 5 ビーム共有画面をタップする
 - ・ 受信側端末でビームの受信が始まります。

データを受信する

- 1** 送信側端末のAndroidビーム機能を利用可能に設定する
- 2** 本端末のReader/Writer, P2P機能を有効にし、「Androidビーム」をONにする (P173)
- 3** 本端末と送信側端末の  マーク部分を向かい合わせて近づけ、送信側端末から送信操作を行う
 - ・ビームの受信が始まります。
 - ・ステータスバーに  が表示されます。
 - ・通知パネルで受信状態を確認できます。
 - ・受信が完了したら、画面下部にメッセージが表示されます。

外部機器接続

パソコンとの接続

本端末とパソコンをUSBケーブル A to C 02（別売）で接続して、パソコンの「Windows Media Player」と音楽などのデータを同期したり、ドラッグ&ドロップでパソコンと本端末でデータをやりとりしたりできます。

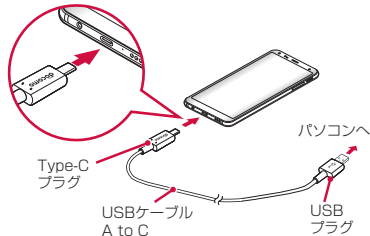
- ・ 本端末をパソコンに認識させるには、専用のドライバおよびWindows Media Player 12が必要です。
 - 専用ドライバのダウンロードや操作方法、その他詳細については、下記のホームページを参照してください。
<https://www.lg.com/jp/support/software-firmware>
 - 最新版のWindows Media Playerは、Microsoftのウェブサイトからダウンロードできます。
<https://support.microsoft.com/ja-jp/help/14209/get-windows-media-player>
- ・ 本端末とパソコンを接続中に、動画の撮影や再生など一部の機能が使用できない場合があります。
- ・ 一部の著作権で保護されたデータのやりとりは許可されない場合があります。

お知らせ

- ・ ファイル操作に必要なパソコン側の動作環境は次のとおりです。
 - OS* : Windows 10/Windows 8.1/Windows 7
 - Windows Media Player : Windows Media Player 12
- ※ OSのアップグレードや追加・変更した環境での動作は保証いたしかねます。
- ・ 本端末の内部ストレージとmicroSDカードに保存されているお客様データは、パソコンでのバックアップを行ってください。
- ・ パソコンなど他の機器から本端末の内部ストレージまたはmicroSDカードに保存したデータは、本端末で表示、再生できない場合があります。また、本端末からパソコンに保存したデータは、他の機器で表示、再生できない場合があります。

本端末とパソコンを接続する

- 1 本端末のUSB Type-C接続端子に、USBケーブルA to CのType-Cプラグを水平に差し込む
- 2 USBケーブルA to C 02のUSBプラグをパソコンのUSBポートに水平に差し込む



お知らせ

- データの読み込みや書き込み中に、本端末の電源を切らないでください。
- データの読み込みや書き込み中、USBケーブルA to Cを抜かないでください。データ消失などの原因となります。

本端末のデータをパソコンから操作する

本端末とパソコンをUSBケーブル A to C 02で接続すると、本端末のデータをパソコンから操作できます。

- 1 本端末とパソコンをUSBケーブル A to Cで接続する (P209)
- 2 USB接続方法を選択する

充電	充電のみ行います。
パワーサプライ	接続したデバイスを充電します。
ファイル転送	MTP対応のファイル管理用ソフトウェアで音楽や動画などを転送できます。
写真の転送	MTP非対応のパソコンなどに静止画や動画を転送できます。
テザリング	(P167)
MIDIデバイス	本端末をMIDI入力に使用します。

- 3 「1回のみ」 / 「常に使用」

お知らせ

- USB 接続方法を変更するには、通知パネルを開く→USB 接続の通知情報をタップし、USB 接続方法を選択します。

プリンターとの接続

Wi-Fi®対応プリンターでブラウザ画面や画像を印刷することができます。

- Wi-Fi®対応プリンターの操作方法は、Wi-Fi®対応プリンターの取扱説明書をご覧ください。
- 本端末とプリンターは、同一のWi-Fi®ネットワークに接続されているか、Wi-Fi Direct®で接続されている必要があります。

ワイヤレス印刷

<例>ギャラリーから静止画を印刷する

- 1 ホーム画面で「ギャラリー」
- 2 印刷したい静止画を選択して表示する
- 3  → 「印刷」
- 4 以降、画面の指示に従って操作する

DLNA 機器との接続

Wi-Fi® 機能を利用して、他のクライアント（DLNA：Digital Living Network Alliance）機器と本端末のメディアファイルを共有し再生できます。

- あらかじめ他のDLNA 機器と同一のWi-Fi® ネットワークに接続しておきます（P162）。

メディアサーバーを設定する

- 1 ホーム画面で「設定」→「接続」→「メディアサーバー」
- 2 「コンテンツ共有」の  をタップ→「許可」
 - ステータスバーに  が表示されます。
 - 「LG style」をタップすると、DLNA 機器上に表示される本端末（メディアサーバー）の名前を変更できます。
- 3 DLNA 機器のアプリで本端末へ接続
 - 本端末にメディアサーバーへのアクセス要求が通知されます。
 - 画面の指示に従って操作してください。

その他の機器との接続

SmartShare Beam を使用する

SmartShare Beam を使用して、コンテンツの送受信ができます。

- SmartShare Beam は Wi-Fi Direct® を利用しています。

SmartShare Beam の設定

本端末のコンテンツを他の機器に公開するための設定を行います。

- 1 ホーム画面で「設定」→「接続」→「ファイル共有」
- 2 「SmartShare Beam」を ON にする

SmartShare Beamでファイルを送信する

本端末のコンテンツを他の機器に送信します。

＜例＞ギャラリーから静止画を送信する

- 1 ホーム画面で「ギャラリー」
- 2 送信したい静止画を選択して表示する
- 3 「共有」→「SmartShare Beam」
- 4 送信するデバイスをタップする
 - あらかじめ受信する機器のSmartShare BeamをONにしてください。
 - デバイスが表示されない場合は、「検索」をタップしてデバイスをスキャンしてください。

SmartShare Beamでファイルを受信する

コンテンツを他の機器から受信します。

- 1 「受信ファイル」画面が表示されたら、「許可」をタップする
 - ステータスバーに  が表示され、データの受信が開始されます。
 - 通知パネルで受信状態を確認できます。
 - 受信が完了したら、画面下部にメッセージが表示されます。

Wi-Fi® 接続でWi-Fi® Miracast対応機器に表示する

本端末とWi-Fi® Miracast対応機器をWi-Fi® 接続して、テレビやディスプレイなどに動画、画像などを表示します。

• あらかじめ本端末のWi-Fi®をONにしてください。

- 1 ホーム画面で「設定」→「接続」→「画面共有」
- 2 「画面共有」をONにする
 - 接続するMiracast対応機器が表示されない場合は、「検索」をタップします。
- 3 検出されたWi-Fi® Miracast対応機器をタップする

Wi-Fi® Miracast対応機器を切断する

- 1 切断したいWi-Fi® Miracast対応機器をタップする→「切断」

お知らせ

- HDCP非対応の機器と接続した場合、映像・音声は正しく出力されません。また、コンテンツによっては、コンテンツプロバイダーから外部出力を禁止されていたり、性能上の問題から外部出力が抑止されていたりするものがあります。
- 接続中に電話着信があった場合、着信画面が接続した機器にも表示されます。
- 一部のアプリでは、接続した機器にコンテンツが表示され、本端末で再生などの操作ができません。

海外利用

国際ローミング (WORLD WING) の概要

国際ローミング (WORLD WING) とは、日本国内で使用している電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアでご利用になれるサービスです。電話、SMSは設定の変更なくご利用になります。

国際ローミング (WORLD WING) の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

<https://www.nttdocomo.co.jp/service/world/roaming/>

● 対応ネットワークについて

本端末はLTEネットワーク、3GネットワークおよびGSM / GPRSネットワークのサービスエリアでご利用になります。また、3G 850MHz / GSM 850MHzに対応した国・地域でもご利用になります。

お知らせ

- ・ 国番号・国際電話アクセス番号・ユニバーサルナンバー用国際識別番号・接続可能な国、地域および海外通信事業者は、ドコモのホームページをご確認ください。

海外で利用可能なサービス

主な通信サービス	LTE	3G	3G 850	GSM (GPRS)
電話	○	○	○	○
SMS	○	○	○	○
パケット通信*	○	○	○	○

※ ローミング時にパケット通信を利用するには、データローミング設定をONにしてください (P216)。

お知らせ

- ・ 接続する海外通信事業者やネットワークによりご利用にならないサービスがあります。
- ・ 接続している通信事業者名は、通知パネルで確認できます (P64)。

海外でご利用になる前に

出発前の確認

海外でご利用になる際は、日本国内で次の確認をしてください。

● ご契約について

- ・ WORLD WINGのお申込み状況をご確認ください。
詳細は裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

● 充電について

- ・ 充電についてはドコモのホームページをご確認ください。

● 料金について

- ・ 海外でのご利用料金（通話料、パケット通信料）は日本国内とは異なります。詳細はドコモのホームページをご確認ください。
- ・ ご利用のアプリによっては自動的に通信を行うものがありますので、パケット通信料が高額になる場合があります。各アプリの動作については、お客様ご自身でアプリ提供元にご確認ください。

事前設定

● ネットワークサービスの設定について

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、海外からも留守番電話サービス・転送でんわサービス・番号通知お願いサービスなどのネットワークサービスをご利用になれます。ただし、一部のネットワークサービスはご利用になれません。

- ・ 海外でネットワークサービスをご利用になるには、「遠隔操作設定」を開始する必要があります。渡航先で「遠隔操作設定」を行うこともできます。
 - 日本国内から（P97）
 - 海外から（P221）
- ・ 設定／解除などの操作が可能なネットワークサービスの場合でも、利用する海外通信事業者によっては利用できないことがあります。

滞在国での確認

海外に到着後、本端末の電源を入れると自動的に利用可能な通信事業者に接続されます。

● 接続について

「モバイルネットワーク」の「ネットワークを自動的に選択」をONに設定している場合は、最適なネットワークを自動的に選択します。

海外で利用するための設定

データローミングの設定

海外でパケット通信を行うためには、データローミングの設定をONにする必要があります。

- 1 ホーム画面で「設定」→「ネットワークとインターネット」→「モバイルネットワーク」
- 2 「データローミング」→注意画面の内容を確認して「OK」

通信事業者の設定

初期状態では、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。手動でネットワークを切り替える場合は、次の操作で設定してください。

- 1 ホーム画面で「設定」→「ネットワークとインターネット」→「モバイルネットワーク」→「詳細設定」→「ネットワークを自動的に選択」
 - ・利用可能なネットワークを検索して表示します。
 - ・ネットワーク検索でエラーが発生する場合は、「モバイルデータ」をオフにして再度実行してください (P161)。

2 通信事業者のネットワークを選択する

- ・自動でネットワークを切り替える場合は、ホーム画面で「設定」→「ネットワークとインターネット」→「モバイルネットワーク」→「詳細設定」→「ネットワークを自動的に選択」をONにしてください。

ネットワークタイプの設定

- 1 ホーム画面で「設定」→「ネットワークとインターネット」→「モバイルネットワーク」→「詳細設定」→「優先ネットワークタイプ」
- 2 「4G/3G/GSM (自動)」／「3G/GSM」／「GSM」

日付と時刻について

「日付と時刻」の「自動設定」をONにしている場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本端末の時刻や時差が補正されます。

- ・海外通信事業者のネットワークによっては、時刻・時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
- ・補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
- ・「日付と時刻」→P193

お問い合わせについて

- 本端末やドコモ nanoUIM カードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。My docomo から利用中断の手続きは可能です。なお、紛失・盗難されたあとに発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国内に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。

滞在先で電話をかける／受ける

滞在国外（日本含む）に電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、滞在国内から他の国へ電話をかけることができます。

- 先頭に「+」を付けてから相手の国番号と電話番号を入力すると、滞在先から日本、またはほかの国へ簡単に国際電話をかけることができます。
- 接続可能な国および通信事業者などの情報については、ドコモのホームページをご覧ください。

1 ホーム画面で「電話」→

2 +（「0」をロングタッチする）→国番号→地域番号（市外局番）→相手先電話番号の順に入力する

- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には、先頭の「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。
- 電話をかける相手が海外での「WORLD WING」利用者の場合は、国番号として「81」（日本）を入力してください。

3

- ビデオコールを発信する場合は、「ビデオコール」をタップします。

4 通話が終了したら

お知らせ

- ・ビデオコールについて詳しくは、「電話をかける／受ける」(P85) をご参照ください。

国際ダイヤルアシストを利用して電話をかける

滞在国から他の国へ電話をかける場合、国際ダイヤルアシストを利用すると、簡単な操作で国際電話をかけることができます。

- ・あらかじめ国際ダイヤルアシストの自動変換機能をONに設定する必要があります(P220)。
- ・地域番号の先頭の「0」があらかじめ設定した国番号に自動的に変換されます。

1 ホーム画面で「電話」→

2 地域番号（市外局番）、相手先電話番号の順に入力

3

- ・国際ダイヤルアシスト画面が表示された場合は「国際電話サービス番号に発信」をタップします。

4 通話が終了したら

滞在国内に電話をかける

日本国内での操作と同様の操作で、相手の一般電話や携帯電話に電話をかけることができます。

1 ホーム画面で「電話」→

2 相手の電話番号を入力する

- ・一般電話にかけける場合は、地域番号（市外局番）、相手先電話番号の順に入力します。

3

- ・国際ダイヤルアシスト画面が表示された場合は「入力番号に発信」をタップします。

4 通話が終了したら

海外にいる WORLD WING 利用者に電話をかける

相手が国際ローミング中の場合は、滞在国内に電話をかける場合でも、日本への国際電話として電話をかけてください。

- ・滞在先にかかわらず日本経由での通信となるため、日本への国際電話と同じように「+」と「81」（日本の国番号）を先頭に付け、先頭の「0」を除いた電話番号を入力して電話をかけてください。

滞在先で電話を受ける

海外でも日本にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

お知らせ

- 国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。

相手からの電話のかけかた

- **日本国内から滞在先に電話をかけてもらう場合**
日本国内の一般電話、携帯電話から滞在先の本端末に電話をかけてもらう場合は、日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルしてもらうだけで電話をかけることができます。
- **日本以外の国から滞在先に電話をかけてもらう場合**
滞在先にかかわらず日本経由で電話をかけるため、発信国の国際電話アクセス番号および「81」（日本の国番号）をダイヤルしてもらう必要があります。
発信国の国際電話アクセス番号-81-90（または80、70）-XXXX-XXXX

国際ローミングの設定

国際ローミングサービスを利用するときの設定を行います。

- ・ 海外通信事業者によっては設定できない場合があります。

1 ホーム画面で「電話」→「設定」→「通話」→「海外設定」

ローミング時着信規制	国際ローミング中に着信を規制することができます。
ローミング着信通知	国際ローミング中に圏外などで着信できなかった場合にSMSでお知らせします。
ローミングガイダンス	国際ローミング中に電話をかけてきた相手に、国際ローミング中であることをお知らせするガイダンスを流すことができます。
国際ダイヤルアシスト	(P220)
ネットワークサービス	(P221)

■ 国際ダイヤルアシストの設定

1 ホーム画面で「電話」→「設定」→「通話」→「海外設定」→「国際ダイヤルアシスト」

2 項目を選択

自動変換機能	国際プレフィックスまたは国番号を自動で追加します。
国番号	自動変換機能で使用する国番号を選択します。
国際プレフィックス	自動変換機能で使用する国際プレフィックスを選択します。

■ ネットワークサービス（海外）の設定

滞在国で利用する留守番電話サービスなどのネットワークサービスを設定します。

- あらかじめ、「遠隔操作設定」を開始にする必要があります（P97）。
- 海外から操作した場合は、滞在国から日本までの通話料がかかります。
- 海外通信事業者によっては設定できない場合があります。

1 ホーム画面で「電話」→ **:** →「設定」→「通話」→「海外設定」

2 「ネットワークサービス」→目的のサービスを選択

遠隔操作（有料）	遠隔操作を開始するかどうかを設定します。
番号通知お願いサービス（有料）	発信者番号が非通知の電話がかかってきた場合に発信者に番号通知を依頼するガイダンスを流します。
ローミング着信通知（有料）	(P220)
ローミングガイダンス（有料）	(P220)

留守番電話サービス（有料）

電波が届かないところにいたり、電源を切っている場合などに電話をかけてきた方の伝言メッセージをお預かりします。（お申込み必要）

転送でんわサービス（有料）

かかってきた電話を、あらかじめ登録した他の携帯電話などに転送することができます。（お申込み必要）

3 画面表示に従って操作

4 音声ガイダンスに従って操作

帰国後の確認

日本に帰国後は渡航前の設定に戻してください。

■ 海外でパケット通信を利用した場合

「データローミング」(P216)をOFFに設定してください。

■ 帰国後に自動的にドコモのネットワークに接続できない場合

- ・「優先ネットワークタイプ」を「4G/3G/GSM(自動)」に設定してください (P216)。
- ・「モバイルネットワーク」の設定で「ネットワークを自動的に選択」をONにしてください (P216)。

トラブルシューティング(FAQ)

故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったときに、お客様ご自身で診断することができます。詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。
- ソフトウェアをアップデートする必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアをアップデートしてください（ソフトウェアアップデート→P236）。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■ 電源

症状	チェック
本端末の電源が入らない	・ 電池切れになっていませんか。 →P43
画面が動かない ／電源が切れない	・ 画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に本端末の電源キーと音量キー（下）を同時に8秒以上押し続けると、強制的に再起動することができます。 ※強制的に再起動する操作のため、データおよび設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

■ 充電

症状	チェック
充電ができない	- アダプタの電源プラグがコンセントまたはアクセサリソケットに正しく差し込まれていますか。→P44 - アダプタと本端末が正しくセットされていますか。→P44 - ACアダプタ（別売）をご使用の場合、ACアダプタのType-Cプラグが本端末にしっかりと接続されていますか。 - USBケーブル A to C 02（別売）をご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか。 - 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、本端末の温度が上昇し、内蔵電池を保護するために充電できない場合があります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。

症状	チェック
充電ができない	内蔵電池が完全に放電された状態で充電すると画面に  が表示されます。そのまま充電を継続しても、充電が完了しない場合は、内蔵電池の交換が必要となります。内蔵電池の交換につきましては、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」またはドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。

■ 端末操作

症状	チェック
操作中・充電中に熱くなる	操作中や充電中、また、充電しながらアプリ、テレビ視聴などを長時間行った場合などには、本端末や内蔵電池、アダプタが温かくなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。

症状	チェック
電池の使用時間が短い	・ 圏外の状態が長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるような電波を探すため、より多くの電力を消費しています。 ・ 内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。 ・ 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電してもお買い上げ時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」またはドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。 ・ 複数のアプリを起動していませんか。使用していないアプリを終了してください。→P65 ・ Wi-Fi[®]機能やBluetooth[®]機能を使用していないときは、設定をOFFにしてください。→P162、P202

症状	チェック
タッチスクリーンをタップしたり、キーを押したりしても動作しない	・ 画面ロックを設定していませんか。→P177 ・ 電源が切れていませんか。→P45
タッチスクリーンをタップしたり、キーを押した時の画面の反応が遅い	・ 本端末に大量のデータが保存されているときや、本端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。
ドコモ nanoUIM カードが認識しない	・ ドコモ nanoUIM カードを正しい向きで挿入していますか。→P38
時計がずれる	・ 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。「自動設定」が設定されているかを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください。→P193

症状	チェック
端末動作が不安定	• お買い上げ後に端末へインストールしたアプリによる可能性があります。セーフモード（初期状態に近い状態で起動させる機能）で起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。 - セーフモードの起動方法 1. 電源 OFF の状態から電源キーを 1 秒以上押し続けます。 2. docomo ロゴのみが表示されたあと、ロック画面が表示されるまで、音量キー（下）を押し続けます。

症状	チェック
端末動作が不安定	※ 電源が入っている状態で電源キーを 2 秒以上押し続ける→「電源を切る」をロングタッチ→「ONにする」をタップしてもセーフモードを起動できます。 ※ セーフモードが起動すると画面左下に「セーフモード」と表示されます。 ※ セーフモードを終了するには、電源を入れ直してください。 - 必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。 - アプリやウィジェットが使用できない場合があります。 - セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常はセーフモードを終了しご利用ください。
アプリが正しく動作しない（起動できない、エラーが頻繁に起こるなど）	• 無効化されているアプリはありませんか。無効化されているアプリを有効にしてから再度お試しください。→P186

■ 通話

症状	チェック
 をタップしても発信できない	機内モードを設定していませんか。→P161
着信音が鳴らない	- 音量の「着信音」を最小にいませんか。→P174 - 機内モード、マナーモード（バイブのみ、サイレント）に設定していませんか。→P161、P174 - 着信拒否設定をONに設定していませんか。→P98 - 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」にいませんか。→P97 - 伝言メモの応答時間を「0秒」にいませんか。→P96

症状	チェック
通話ができない（場所を移動しても  の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）	- 電源を入れ直すか、ドコモ nanoUIMカードを入れ直してください。 - 電波の性質により、「圏外ではない」「電波状況は  を表示している」状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。 - 着信拒否設定をONに設定していませんか。→P98 - 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

■ 画面

症状	チェック
ディスプレイが暗い	- 画面消灯時間を設定していませんか。→P175 - 画面の明るさを変更していませんか。→P175 - 電池残量が少なくなっていますか。→P43 - バッテリーセーブを設定していませんか。→P188

■ 音声

症状	チェック
通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる	音量キーで通話音量を調節してください。→P92

■ カメラ

症状	チェック
カメラで撮影した静止画や動画がぼやける	カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。

■ テレビ (ワンセグ)

症状	チェック
テレビの視聴ができない	- 地上デジタルテレビ放送サービスのエリア外か放送電波の弱い場所にいませんか。 - 視聴エリアの設定をしていますか。→P144
画像は見られるが、音声がでない	SCMS-T 非対応機器では、テレビの音声を聞くことができません。
テレビでスクリーンショットが取得できない	テレビは著作権保護のため、スクリーンショットの機能を制限しています。異常な動作ではありません。

■ おサイフケータイ

症状	チェック
おサイフケータイが使えない	• おまかせロックを設定すると、NFC / おサイフケータイ ロックの設定にかかわらずおサイフケータイの機能が利用できなくなります。 • NFC / おサイフケータイ ロックを設定していませんか。→P134 • 本端末の  マークがある位置を読み取り機にかざしていますか。→P134

■ 海外利用

症状	チェック
海外で本端末が使えない	■ アンテナマークが表示されている場合 • WORLD WINGのお申込みをされていますか。WORLD WINGのお申込み状況をご確認ください。 ■ 圏外が表示されている場合 • 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか。利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、ドコモのホームページで確認してください。 • ネットワークの設定や海外通信事業者の設定を変更してみてください。 - 「優先ネットワークタイプ」を「4G/3G/GSM (自動)」に設定する→P216 - 「ネットワークを自動的に選択」をONにする→P216 • 本端末の電源をOFFにした後、再びONにすることで回復することがあります。→P45

症状	チェック
海外でデータ通信ができない	データローミング設定をONにしてください。→P216
海外で利用中に、突然本端末が使えなくなった	利用停止目安額を超えていませんか。「国際ローミングサービス(WORLD WING)」のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算してください。
相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない	相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、本端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。

■ データ管理

症状	チェック
データ転送が行われない	USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
microSDカードに保存したデータが表示されない	microSDカードを取り付け直してください。→P41
画像表示しようとするとき  が表示される または デモやプレビューで  が表示される	画像データが壊れている場合は  が表示される場合があります。

■ Bluetooth® 機能

症状	チェック
Bluetooth® 通信対応機器と接続ができない／サーチしても見つからない	Bluetooth® 通信対応機器（市販品）側を機器登録待ち受け状態にしてから、本端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度機器登録を行う場合には、Bluetooth® 通信対応機器（市販品）、本端末双方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。→P204
カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態で本端末から発信できない	相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、本端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。

■ 地図・GPS 機能

症状	チェック
オートGPS サービス情報が設定できない	- 電池残量が少なくなり、オートGPSが停止していませんか。「低電力時動作設定」により、オートGPSが停止している場合は、オートGPS サービス情報は設定できません。この場合、「低電力時動作設定」を「停止しない」に設定するか、または、充電をすることで設定できるようになります。→P189 - オートGPS動作設定がOFFになっていませんか。→P189

エラーメッセージ

エラーメッセージ	説明
UIMカードが挿入されていません	ドコモnanoUIMカードが正しく機能していません。ドコモnanoUIMカードを抜き差ししても改善しない場合は、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」にご連絡の上、ご相談ください。
通信サービスはありません。	サービスエリア外か、電波の届かない場所にいるため利用できません。電波の届く場所まで移動してください。
PIN1がロックされた PINロック解除コードを入力してください	PINロック解除コードを入力してください。→P60

エラーメッセージ	説明
空き容量低下 端末の空き容量が低下しています。 このまま使用になれ ると一部の機能やア プリケーションが動 作しない場合があります。 アプリやメディアコ ンテンツなどを削除 してストレージの空 き容量を確保して ください。	ファイルやアプリ、メディアコンテンツの保存、一部の機能やアプリの動作に必要な空き容量が不足しているときに表示されます。ファイルやメディアコンテンツを削除するか、アプリをアンインストールするなどしてストレージの空き容量を確保してください。 →P131、P201
現在地のモバイルネットワークでは一時的に提供されていません	回線の混雑などにより音声／データサービスが規制されたときに表示されます。規制が解除されてから再度操作してください。

あんしん遠隔サポート

お客様の端末上の画面をあんしん遠隔サポートセンターのオペレーターと共有することで、端末操作設定やアプリの使い方、パソコンなどの周辺機器との接続に関する操作サポートを受けることができます。

- ・ドコモ nanoUIM カード未挿入時、国際ローミング中、機内モードなどではご利用できません。
- ・あんしん遠隔サポートはお申込みが必要な有料サービスです。
- ・一部サポート対象外の操作・設定があります。
- ・あんしん遠隔サポートの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

■ オペレーターとの画面共有（電話でのお問い合わせ）

1 あんしん遠隔サポートセンターへ電話する

- ドコモの携帯電話からの場合
(局番なしの) 15710 (無料)

- 一般電話などからの場合
 0120-783-360

受付時間 午前9:00～午後8:00 (年中無休)

- ・本端末からあんしん遠隔サポートセンターへ電話する場合は、ホーム画面で「アプリフォルダ」→「遠隔サポート」→「電話で問い合わせる」→  をタップします。

2 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「遠隔サポート」

3 「接続画面に進む」→「同意する」

4 ドコモからご案内する接続番号を入力し、「開始」をタップする

5 接続後、遠隔サポートを開始する

あんしん遠隔サポートご契約者様専用のQ&Aサイトのご利用や、LINEでオペレーターにお問い合わせいただくこともできます。

※ LINEでのお問い合わせでは、画面共有はご利用いただけません。

■ Q&Aサイトで調べる

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「遠隔サポート」

2 「Q&Aサイト/アプリで調べる」

■ LINEでのお問い合わせ

1 ホーム画面で「アプリフォルダ」→「遠隔サポート」

2 「LINEで問い合わせる」

保証とアフターサービス

保証について

- ・保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- ・テレビアンテナケーブル L01、SIM取り出しツール（試供品）、クリーニングクロス（試供品）は無料修理保証の対象外となります。
- ・SIM取り出しツール、クリーニングクロスは、試供品となります。試供品のお問い合わせ先をご覧ください。
- ・本端末の仕様および外観は、付属品を含め、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- ・本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はご自身で控えをお取りくださるようお願いいたします。
 - ※ 本端末は、電話帳などのデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。
 - ※ 本端末はドコモクラウドをご利用いただくことにより、電話帳などのデータをバックアップしていただくことができます。

<無料修理規定>

- 1 保証期間内に取扱説明書などの注意にしたがった使用状態のもとで、故障が発生した場合は無料で修理いたします。（代替品と交換となる場合があります。）
- 2 保証期間内でも以下の場合は無料修理対象外となる場合がございます。
 - (1) 改造（ソフトウェアの改造も含む）による故障、損傷。
 - (2) 落下や、外部からの圧力などで本端末、ディスプレイ及び外部接続端子などが破損したことによる故障、損傷、または本端末内部の基板が破損、変形したことによる故障、損傷。
 - (3) 火災、公害、異常電圧、地震、雷、風水害その他天災地変などによる故障、損傷。
 - (4) 本端末に接続している当社指定以外の機器、消耗品による故障、損傷。
 - (5) 本端末内部への水の浸入による故障、損傷、本端末の水濡れシールが反応している場合、本端末に水没・水濡れなどの痕跡が発見された場合、または結露などによる腐食が発見された場合。
 - (6) ドコモ指定の故障取扱窓口以外で修理を行ったことがある場合。
- 3 本保証は日本国内においてのみ有効です。
- 4 本保証は明示した期間、条件においての無料修理をお約束するものでお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 5 お預かり品に故障箇所が複数あった場合、一部分の修理だけでは製品の品質が保証できないため、全て修理してご返却いたします。その際は無料修理対象外となる場合がございます。
- 6 修理実施の有無に関わらず、動作確認試験を実施したお預かり品は、最新のソフトウェアに更新してご返却いたします。

7 修理を実施した場合の修理箇所や修理実施日は、修理完了時にお渡しする修理結果票でご確認ください。

＜販売元＞

株式会社NTT ドコモ

東京都千代田区永田町2-11-1

アフターサービスについて

調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」をご覧ください。それでも調子が良くないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ 保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後4年を基本としております。

修理受付対応状況については、ドコモのホームページをご覧ください。

ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、詳細はドコモ指定の故障取扱窓口へお問い合わせください。

お願い

- ・ 本端末および付属品の改造はおやめください。
 - 火災・けが・故障の原因となります。
 - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上で受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
 - ・ ディスプレイ部やキー部にシールなどを貼る
 - ・ 接着剤などにより本端末に装飾を施す
 - ・ 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
 - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- ・ 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、その場合は再度設定を実施いただくようお願いいたします。その際、設定によってはパケット通信料が発生する場合があります。

- ・修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi®用のMACアドレスおよびBluetooth®アドレスが変更される場合があります。
- ・本端末にキャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
- ・本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って、お早めにドコモ指定の故障取扱窓口へご来店ください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

お客様が作成されたデータおよびダウンロード情報などについて

本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。データの再ダウンロードにより発生するパケット通信料は、当社では補償いたしかねますのであらかじめご了承ください。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェアアップデート

ソフトウェアアップデートについて

ソフトウェアアップデートとは、本端末をより安全で快適にご利用いただくためにソフトウェアの更新を行う機能です。以下の内容が含まれますので、必ず最新ソフトウェアへのアップデートをお願いいたします。

ソフトウェアアップデートの種類としては以下の4つがあります。

- ・Android OSバージョンアップ
Android OSおよびプリインストールされているアプリや端末機能のバージョンアップを行うことで、機能・操作性・品質等が向上し、本端末をより快適に安心してご利用いただけます。
- ・新機能追加
プリインストールされているアプリや端末機能を更新することで、機能・操作性が向上し、本端末をより快適に利用いただけます。
- ・品質改善
プリインストールされているアプリや端末機能を更新することで、品質が向上し、本端末をより快適にご利用いただけます。
- ・セキュリティパッチの更新
セキュリティパッチの更新を行うことで、脆弱性に対処するためのソフトウェアを適用することができ、適用することで本端末をより安心してご利用いただけます。

本端末に提供されている具体的なソフトウェアアップデートの内容および期間については、ドコモのホームページをご覧ください。

ご利用条件

- Xi / FOMAでのパケット通信をご利用の場合、モバイルネットワーク設定でアクセスポイントをspモードもしくはmoperaに設定してください。
- Xi / FOMAでのパケット通信をご利用の場合、ダウンロードによる通信料金は発生しません。
- 国外でソフトウェアアップデートを行う場合は、ドコモnanoUIMカード未挿入の状態ではWi-Fi®接続が必要です。
- ソフトウェアが改造されているときはアップデートができません。
- ソフトウェアアップデートは、本端末に保存されたデータを残したまま行うことができますが、お客様の端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータは事前にバックアップを取っていただくことをおすすめします。各アプリの持つデータについて、バックアップ可能な範囲はアプリにより異なります。各アプリでのバックアップ方法は、各アプリの提供元にご確認ください。

ソフトウェアアップデートを行う

更新の開始

更新を開始する方法としては以下のいずれかの操作を行います。

- 更新をお知らせする通知から
本端末のステータスバーから「ソフトウェアアップデート提供開始」、「ソフトウェアアップデート開始確認」の通知を選択し、更新を開始します。
- 定期的に表示される画面から
本端末が更新可能になると、全画面で「今すぐ実施」「後で」の確認画面が表示される場合があります。その確認画面にて動作を選択いただき、更新を進めてください。
- 「設定」の「更新センター」から
ホーム画面で「設定」→「システム」→「端末情報」→「更新センター」→「ソフトウェアアップデート」を選択し、更新を開始します。
※ ソフトウェアアップデートが不要な場合、「アップデートの必要はありません。このままご利用ください。」と表示されます。

更新の流れ

更新は以下の流れで行われます。

詳細な操作手順は本端末の表示内容に従ってください。

1 更新ファイルのダウンロードおよびインストール

- 更新の種類によっては、更新ファイルのダウンロードとインストールが自動的に行われます。
- 更新ファイルのダウンロードとインストールの前に「今すぐ実施」「後で」の確認画面が表示される場合があります。確認画面が表示された場合は、いずれかを選択してソフトウェアアップデートを進めてください。

- 「今すぐ実施」を選択する

すぐに更新ファイルのダウンロード、もしくはインストールを開始します。

- 「後で」を選択する

時間を指定して更新ファイルの予約ダウンロード、予約インストールを開始します。

予めおすすめの予約時間が指定されます。予約時刻を変更する場合は、「予約時刻変更」ボタンをタップ後に予約時刻を指定してください。

※ 後から予約時刻を変更する場合はホーム画面で「設定」→「システム」→「端末情報」→「更新センター」→「ソフトウェアアップデート」→「予約時刻変更」から予約時刻を設定してください。

2 再起動する

- 更新の準備が整い次第、本端末が自動で再起動します。
- 再起動の直前に確認画面が表示されます。再起動を中止したい場合は、一定時間内にキャンセルボタンをタップしてください。

3 更新完了が通知される

- 更新が無事に完了すると、本端末のステータスバーに「ソフトウェアアップデート完了」が表示されます。
- 更新の種類がAndroid OSバージョンアップの場合は、「ソフトウェアアップデート完了」を選択すると最新の機能を紹介するページが表示されます。
- 更新の種類がAndroid OSバージョンアップの場合は、更新完了後にお客様自身でインストールされたアプリのアップデートを確認してください。アップデートを行わないと動作が不安定になることや、機能が正常に動作しなくなることがあります。

注意事項

- ソフトウェアアップデート完了後は、以前のソフトウェアへ戻すことはできません。
- ソフトウェアアップデート中、本端末固有の情報（機種や製造番号など）が当社のサーバーに送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェアアップデート以外の目的には利用いたしません。

- ・ソフトウェアアップデート中は一時的に各種機能を利用できない場合があります。
- ・ソフトウェアアップデートを行うと、一部の設定が初期化されることがありますので、再度設定を行ってください。
- ・PINコードが設定されているときは、書換え処理後の再起動の途中で、PINコードを入力する画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- ・ソフトウェアアップデートに失敗し、一切の操作ができなくなった場合には、お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までご相談ください。
- ・以下の場合にはソフトウェアアップデートができません。事象を解消後に再度お試しください。
 - 通話中
 - 親機としてテザリングをしているとき
 - 日付・時刻を正しく設定していないとき
 - 必要な電池残量がないとき
 - 内部ストレージに必要な空き容量がないとき
 - 国際ローミング中
- ・ソフトウェアアップデート中は電源を切らないでください。
- ・更新ファイルのダウンロード中は電波状態の良い所で、移動せずに実行することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、アップデートを中断することがあります。

アプリの更新

LG Electronics Inc.が提供するアプリの更新やアップデートの設定などを行うことができます。

- ・アプリ更新の注意事項については、ソフトウェアアップデートの「注意事項」(P238)を参照してください。

ダウンロード

- 1 ホーム画面で「設定」→「システム」→「端末情報」→「更新センター」→「アプリの更新」

- ・「LGアプリの利用規約」画面が表示された場合は、「同意する」をタップしてください。

- 2 「更新」

アップデートの設定

- 1 ホーム画面で「設定」→「システム」→「端末情報」→「更新センター」→「アプリの更新」
- 2 ∴ →「設定」
- 3 必要に応じて設定を変更する

通知間隔	更新可能なアプリがあるか自動で確認して、通知する間隔を設定します。
アプリの自動更新	アップデート可能なアプリを自動で更新するかどうかを設定します。

主な仕様

ソフトウェアアップデートなどにより、変更が生じる場合があります。最新の情報は、ドコモのホームページをご覧ください。

本体

品名		L-01L
サイズ (H×W×D)		約158mm×約76mm× 約8.5mm (最厚部:約9.1mm)
質量		約182g
ディスプレイ	種類	TFT
	発色数	16,777,216色
	サイズ	約6.0インチ
	解像度	横1080ピクセル×縦2160 ピクセル (Full HD+)
内蔵メモリ		ROM 64GB ^{*1} RAM 4GB
内蔵電池	使用電池	リチウムイオン電池
	公称電圧	DC4.4V
	公称容量	3900mAh

連続待受時間 ※2	LTE	静止時（自動）：約420時間
	3G	静止時（自動）：約430時間
	GSM	静止時（自動）：約360時間
連続通話時間 ※3	LTE (VoLTE)	約1290分
	LTE (VoLTE (HD+))	約1210分
	LTE (VoLTE : ビデオコール)	約410分
	3G	約1140分
	GSM	約970分
充電時間		ACアダプタ07：約155分
無線LAN		IEEE802.11 a/b/g/n/ac準拠 (IEEE802.11n対応周波数帯：2.4GHz / 5GHz)

Blue tooth®	対応バージョン※4	Bluetooth®標準規格 Ver.5.0
	出力	Bluetooth®標準規格 Power Class 1
	見通し距離 ※5	約10m 以内
	対応プロファイル※6	HFP(1.7) (mSBC(16kHz) / CVSD)、HSP(1.2)、SPP(1.2)、HID(1.0)、OPP(1.2)、A2DP(1.3) (aptX / SBC / AAC)、AVRCP(1.5)、PBAP(1.2)、HDP(1.1)、MAP(1.2)、PAN(PAN-NAP)(1.0)、PAN(PANU)(1.0)、HOGP(1.0)
ヘッドホン接続端子	端子径	3.5mm
	極数	4極

撮像素子	種類	アウトカメラ：裏面照射型 CMOS インカメラ：裏面照射型 CMOS
	サイズ	アウトカメラ：1/3.0インチ、1/3.4インチ インカメラ：1/4.0インチ
カメラ有効画素数		アウトカメラ：約1620万画素+約1310万画素 インカメラ：約810万画素
カメラ記録画素数（最大時）		アウトカメラ：約1610万画素+約1300万画素 インカメラ：約800万画素
記録ファイル形式	動画	MP4
	静止画	JPEG
ズーム（デジタル）	動画	アウトカメラ：最大約4.0倍 インカメラ：－
	静止画	アウトカメラ：最大約4.0倍 インカメラ：－
動画撮影時間		1件あたり：最大約33分 ^{*7}

動画再生	対応ファイル形式／コーデック	H.263、H.264、H.265（HEVC）、MPEG-4、VP8、VP9、XviD、MJPEG、THEORA
音楽再生	対応ファイル形式／コーデック	AAC/AAC+/eAAC+、AMR-NB/WB、FLAC、MP3、MP2、VORBIS、PCM/WAVE、OPUS、WMA、ALAC、MIDI、DTS
ワンセグ連続視聴時間 ^{*8}		約650分
ワンセグ録画時間	1件あたりの最大録画時間	約381分
	1GBあたり録画時間	約434分
対応言語	表示言語	日本語／英語／ドイツ語／スペイン語／フランス語／ロシア語／ポルトガル語／アラビア語／韓国語／中国語
	入力言語（文字入力）	日本語／英語／韓国語

伝言 メモ	保存可能件数	最大20件 ^{*9}
	1件あたりの最大録音時間	最大60秒
通話履歴表示件数		最大500件

- ※1 メモリ容量は、撮影した動画や静止画、ダウンロードしたアプリやデータなどの保存にすべての容量を使用することはできません。使用可能な空き容量については、「ストレージ」(P188)をご参照ください。
- ※2 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。連続待受時間は、設定状況、使用環境や通話・メール・カメラなどのご利用頻度により、大きく変動します。各種機能のご利用頻度が多い場合、実際の時間は半分以下になることがあります。
- ※3 連続通話時間は、設定状況、使用環境や通話・メール・カメラなどのご利用頻度により、大きく変動します。各種機能のご利用頻度が多い場合、実際の時間は半分以下になることがあります。
- ※4 本端末を含むすべてのBluetooth[®]機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth[®]標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しております。Bluetooth[®]機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、データのやりとりができない場合があります。

- ※5 通信機器間の障害物や、電波状況により異なります。
- ※6 Bluetooth[®]対応機器同士の使用目的に応じた仕様で、Bluetooth[®]の標準規格です。
- ※7 動画サイズ(リア)が1920×1080(FHD)の場合の撮影時間です。
- ※8 縦画面利用かつイヤホンマイク利用時の時間を示しています。
- ※9 最大保存件数は本端末のメモリの空き容量により異なります。

テレビアンテナケーブル L01

長さ	約140mm
質量	約8g

SIM取り出しツール

長さ	約21mm
質量	約0.2g

携帯電話機の比吸収率 (SAR) について

この機種L-01Lの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準（※1）ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の頭部におけるSARの最大値は0.595W/kg（※2）、身体に装着した場合のSARの最大値は0.427W/kg（※3）です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

<https://www.who.int/peh-emf/publications/factsheets/en/>

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

<https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

一般社団法人電波産業会のホームページ

<https://www.arib-emf.org/O1denpa/denpa02-02.html>

ドコモのホームページ

<https://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/>

LG Electronics ホームページ (本端末の「仕様」のページをご確認ください)

<https://www.lg.com/jp/mobile-phone>

(URLは予告なく変更される場合があります。)

- ※ 1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第 14 条の 2）で規定されています。
- ※ 2 LTE / FOMA と同時に使用可能な無線機能を含みます。
- ※ 3 LTE / FOMA と同時に使用可能な無線機能を含みます。

Specific Absorption Rate (SAR) of Mobile Phones

This model L-01L mobile phone complies with Japanese technical regulations and international guidelines regarding exposure to radio waves.

This mobile phone was designed in observance of Japanese technical regulations regarding exposure to radio waves(*1) and limits to exposure to radio waves recommended by a set of equivalent international guidelines. This set of international guidelines was set out by the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is in collaboration with the World Health Organization (WHO), and the permissible limits include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health condition.

The technical regulations and international guidelines set out limits for radio waves as the Specific Absorption Rate, or SAR, which is the value of absorbed energy in any 10 grams of tissue over a 6-minute period. The SAR limit for mobile phones is 2.0 W/kg. The highest SAR value for this mobile phone when tested for use near the head is 0.595 W/kg (*2) and when

worn on the body is 0.427 W/kg (*3). There may be slight differences between the SAR levels for each product, but they all satisfy the limit. The actual SAR of this mobile phone while operating can be well below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum required to reach the network. Therefore in general, the closer you are to a base station, the lower the power output of the device. This mobile phone can be used in positions other than against your head. Please keep the mobile phone farther than 1.5 cm away from your body by using such as a carrying case or a wearable accessory without including any metals. This mobile phone satisfies the technical regulations and international guidelines. The World Health Organization has stated that "a large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use." Please refer to the WHO website if you would like more detailed information.
<https://www.who.int/peh-emf/publications/factsheets/en/>

Please refer to the websites listed below if you would like more detailed information regarding SAR.

Ministry of Internal Affairs and Communications Website:

<https://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/index.htm>

Association of Radio Industries and Businesses Website:

<https://www.arib-emf.org/O1denpa/denpa02-02.html> (in Japanese only)

NTT DOCOMO, INC. Website:

<https://www.nttdocomo.co.jp/english/product/sar/>

LG Electronics Inc. Website (Check the Specifications page for this terminal.)

<https://www.lg.com/jp/mobile-phone> (in Japanese only)

(the above URLs are subject to change for without notice.)

-
- *1 Technical regulations are defined by the Ministerial Ordinance Related to Radio Law (Article 14-2 of Radio Equipment Regulations).
 - *2 Including other radio systems that can be simultaneously used with LTE/FOMA.
 - *3 Including other radio systems that can be simultaneously used with LTE/FOMA.

Radio Frequency (RF) Signals

THIS MODEL PHONE MEETS THE U.S. GOVERNMENT'S REQUIREMENTS FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES.

Your wireless phone contains a radio transmitter and receiver.

Your phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.* Tests for SAR are conducted using standard operating positions accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands.

Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the output.

Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed on position and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model handset as reported to the FCC when tested for use at the ear is 1.14 W/kg, and when worn on the body (Body-worn/Hotspot) in a holder or carry case, is 1.18 W/kg. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements).

While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirement.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section at <https://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/> after search on FCC ID ZNFOJ1928. For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines. Please use an accessory designated for this product or an accessory which contains no metal and which positions the handset a minimum of 1.0 cm from the body.

-
- * In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the public is 1.6 watts/kg (W/kg) averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

Wi-Fi® Caution

This device is capable of operating in 802.11a/n mode. For 802.11a/n devices operating in the frequency range of 5.15 - 5.25 GHz, they are restricted for indoor operations to reduce any potential harmful interference for Mobile Satellite Services (MSS) in the US.

WIFI Access Points that are capable of allowing your device to operate in 802.11a/n mode(5.15 - 5.25 GHz band) are optimized for indoor use only.

If your WIFI network is capable of operating in this mode, please restrict your WIFI use indoors to not violate federal regulations to protect Mobile Satellite Services.

Regulatory information (FCC ID number, etc.)

For regulatory details, operate from the Home screen, "Settings" → "System" → "Regulatory & safety" on your phone.

FCC Statement for the USA

This device complies with part 15 of FCC rules. Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference.
- (2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Part 15.21 statement

Change or Modifications that are not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.

Part 15.19 statement

This device complies with part 15 of FCC rules. Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference.
- (2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Part 15.105 statement

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation.

This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Declaration of Conformity

The product "L-01L" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 2014/53/EU Radio Equipment Directive 3.1 (a), 3.1 (b) and 3.2.

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves.

Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits** for exposure to radio-frequency (RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was 0.382 W/kg at the ear, and 1.050 W/kg when worn on the body. To comply with the RF Exposure limits a distance of greater than 0.5 cm must be maintained from the user's body.

While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet*** the EU requirements for RF exposure.

* The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

** The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

*** Tests for SAR have been conducted using standard operating positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

European Union Directives Conformance Statement



Hereby, LG Electronics declares that this L-01L product is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 2014/53/EU. A copy of the Declaration of Conformity can be found at <https://www.lg.com/global/declaration>

■ 5GHz Wi-Fi® Device

The use of the 5150 - 5350 MHz band is restricted to indoor use only.

	AT	BE	BG	CH	CY	CZ	DE	DK	EE	EL	ES	FI	FR
	HR	HU	IE	IS	IT	LI	LT	LU	LV	MT	NL	NO	PL
	PT	RO	SE	SI	SK	UK	AL	ME	RS	MK	TR	BA	XK

■ Tx Output power

Supported Bands	Tx Output power
GSM 900	33.0 dBm
GSM 1800	30.0 dBm
WCDMA B1	24.0 dBm
LTE B1	24.0 dBm
LTE B3	24.0 dBm
BT 2.4GHz	11.0 dBm
WLAN 2.4GHz	16.5 dBm
WLAN 5GHz	15.0 dBm
NFC	-24 dBuA/m

Important Safety Information

AIRCRAFT

Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. Consult airline staff about the use of Airplane Mode in flight.

DRIVING

Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

HOSPITALS

Mobile phones should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.

PETROL STATIONS

Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.

INTERFERENCE

Care must be taken when using the phone in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.

Pacemakers

Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15cm be maintained between a mobile phone and a pacemaker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the phone on the opposite ear to your pacemaker and do not carry it in a breast pocket.

Hearing Aids

Some digital wireless phones may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.

NOTE : Excessive sound pressure from earphones and headphones can cause hearing loss.



To prevent possible hearing damage, do not listen at high volume levels for long periods.

For other Medical Devices:

Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with the operation of your medical device.

CAUTION

RISK OF EXPLOSION IF BATTERY IS
REPLACED BY AN INCORRECT TYPE.
DISPOSE OF USED BATTERIES ACCORDING
TO THE INSTRUCTIONS.

輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本製品及び付属品を輸出又は再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省又は米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権

著作権・肖像権について

お客様が本端末を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、地図データ、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。

また、お客様が本端末を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標について

- 「Xi」「Xi / クロッシィ」「FOMA」「おまかせロック」「spモード」「エリアメール」「WORLD CALL」「WORLD WING」「公共モード」「mopera U」「ビジネスmopera」「おサイフケータイ」「iD」「イマドコサーチ」「イマドコかんたんサーチ」「マチキャラ」「eトリセツ」「dメニュー」「dマーケット」「dポイント」「あんしん遠隔サポート」「マイマガジン」「LIVE UX」「スグ電」および「おサイフケータイ」ロゴ、「dmenu」ロゴ、「dマーケット」ロゴ、「エリアメール」ロゴ、「iD」ロゴ、「dポイント」ロゴ、「あんしん遠隔サポート」ロゴ、「ドコモメール」ロゴ、「ドコモ電話帳」ロゴ、「データ保管BOX」ロゴ、「スケジュール」ロゴ、「メモ」ロゴ、「マイマガジン」ロゴ、「ドコモデータコピー」ロゴは(株)NTTドコモの商標または登録商標です。
- 「キャッチホン」は、日本電信電話株式会社の登録商標です。
- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。



- Bluetooth®とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INC.の登録商標で、LG Electronics Inc.はライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。



- Wi-Fi Certified®とそのロゴは、Wi-Fi Allianceの登録商標または商標です。



- Microsoft®, Windows®, Windows Media®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Google、Googleロゴ、Android、Androidロゴ、Google Play、Google Playロゴ、Gmail、Gmailロゴ、YouTube、YouTubeロゴ、Googleマップ、Googleマップロゴ、Google検索、Google検索ロゴ、Googleドキュメント、Googleドキュメントロゴ、Google Chrome、Google Chromeロゴ、Googleフォト、Googleフォトロゴ、Googleアシスタント、Googleアシスタントロゴは、Google LLCの商標または登録商標です。
- 🐾はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。

- 文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。
iWnn © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2020 All Rights Reserved.
- DTSの特許については、<https://dts.com/patents> をご参照ください。DTS Licensing Limitedからの実施権に基づき製造されています。DTS、シンボル、DTSとシンボルの組み合わせ、DTS:X、DTS:Xロゴは米国および/または他の国々におけるDTS, Inc.の商標または登録商標です。© DTS, Inc.無断複写・転載を禁じます。



- 「Disney DX」アプリには、ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社やその親会社、ならびにこれらの関連会社（総称して「ディズニー」）の著作権やその他の知的財産権が含まれます。利用条件はディズニーデラックス利用規約をご覧ください。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

- 本書では各 OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
 - Windows 10は、Microsoft® Windows® 10 (Home, Pro, Enterprise, Education) の略です。
 - Windows 8.1は、Microsoft® Windows® 8.1、Microsoft® Windows® 8.1 Pro、Microsoft® Windows® 8.1 Enterpriseの略です。
 - Windows 7は、Microsoft® Windows® 7 (Starter, Home Basic, Home Premium, Professional, Enterprise, Ultimate) の略です。
- 本端末は、MPEG-4 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。
 - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4ビデオ）を記録する場合
 - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4ビデオを再生する場合
 - MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者から入手されたMPEG-4ビデオを再生する場合詳細については米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。

オープンソースソフトウェア通知情報

本端末に実装されている GPL、LGPL、MPL 及び、その他のオープンソースライセンスで開発されたソースコードの入手は <http://opensource.lge.com/> の WEB サイトをご覧ください。ソースコードと共に、該当するすべてのライセンスの内容、保証免責の内容および著作権表示をダウンロードすることができます。また、弊社はおお客様のご負担（メディア代、送料や手数料など）にて CD-ROM でオープンソースコードを提供しています。E メールにて次のアドレスへ CD-ROM をお申し込みください： opensource@lge.com このお申し込みは、LG エレクトロニクスにて本端末を販売後 3 年にかぎり有効となっておりますのでご注意ください。本サービスは、本情報を受け取られた方どなたでもご利用いただけます。

SIMロック解除

本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- ご利用になれるサービス、機能などが制限される場合があります。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除の手続きの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

1 他社のSIMカードを取り付ける

2 電源キーを1秒以上押し続ける

- ロック画面には「ネットワークロック中です」と表示されます。

3 画面ロックを設定している場合は、設定した解除方法を行う

4 「SIMネットワークのロック解除PIN」欄にSIMロック解除コードを入力→「ロック解除」

- 「ネットワークロックを解除しました」と表示され、しばらくするとホーム画面が表示されます。
- SIMロックが解除され、他社のSIMカードが利用可能になります。

ア

アカウント	190
削除する	191
設定する	190
アクセスポイント	170
確認する	170
初期化する	171
追加で設定する	170
アプリ一覧	73
アプリと通知	184
アプリの権限	52
アプリの更新	239
暗証番号	58
あんしん遠隔サポート	233
位置情報	182
ウェブブラウザ	115
開く	115
メニューを利用する	116
エラーメッセージ	232
オーディオレコーダー	155
おサイフケータイ	132
主な仕様	240
音楽を再生する	146

カ

海外設定	220
海外利用	214
相手からの電話のかけかた	219
海外にいる WORLD WING 利用者に電話をかける	218
帰国後の確認	222
国際ローミングの設定	220
事前設定	215
出発前の確認	215
滞在国外（日本含む）に電話をかける	217
滞在国での確認	215
滞在国内に電話をかける	218
滞在先で電話を受ける	219
通信事業者の設定	216
データローミングの設定	216
ネットワークタイプの設定	216
利用可能なサービス	214
外部機器接続	208
DLNA 機器との接続	211
その他の機器との接続	211
パソコンとの接続	208
プリンターとの接続	210
各部の名称と機能	36

壁紙	71
カメラ	119
撮影画面の見かた	120
撮影するときの注意	119
静止画を撮影する	122
著作権・肖像権について	119
動画を撮影する	123
画面の表示	46
画面の表示方向を自動的に切り替える	51
画面のロック	176
画面表示とアイコン	61
カレンダー	152
設定を変更する	154
開く	152
予定を作成する	153
予定を変更／削除する	154
きせかえ	71
キャプチャー＋	50
ギャラリー	125
緊急速報「エリアメール」	112
確認する	113
削除する	113
受信する	113
設定する	113
緊急通報	87
言語と入力	192
公共モード（電源 OFF）設定	97
国際電話を利用する	88
一般電話へかける場合	88

携帯電話へかける場合	88
国際ローミング（WORLD WING）	214

サ

再起動と初期化	193
材質一覧	20
サウンド	174
システム	192
自分の電話番号	195
指紋認証	179
充電	43
ACアダプタで充電する	44
充電について	43
パソコンを使って充電する	45
連続待受時間	241
商標	254
ショートカット	182
初期設定	57
スクリーンショット	51
ステータスアイコン	62
ステータスバー	61
ストレージ	188
セーフモード	226
世界時計を設定する	151
設定メニュー	160
ソフトウェアアップデート	236
ソフトウェアキーボード	53
10キーキーボード	53

50音キーボード	53
QWERTYキーボード	53
手書き入力キーボード	55
文字入力の設定を変更する	56

タ

タスクマネージャー	65
タッチスクリーン	47
操作	48
利用上の注意	47
端末情報	194
知的財産権	254
着信	89
アプリ起動中に着信があった場合	91
音声着信の場合	89
ビデオコール着信の場合	90
著作権・肖像権について	254
通知LED	60
通知アイコン	61
通知パネル	64
詳細を表示する	65
閉じる	65
通話設定	97
通話中の操作	92
音声通話の場合	92
ビデオコール通話の場合	93
通話履歴	94
ディスプレイ	36

データ使用量	166
データローミング	216
テザリング	167
テレビ（ワンセグ）	136
視聴エリアを切り替える	144
視聴画面の見かた	138
データ放送画面の見かた	140
テレビリンクを利用する	143
テレビ（ワンセグ）のメニューを利用する	144
番組表を利用する	141
見る	138
録画した番組を視聴する	142
録画予約／視聴予約をする	142
電源を入れる	45
電源を切る	45
電卓	156
電池の寿命	44
電話	85
緊急通報	87
国際電話を利用する	88
通話中の操作	92
通話履歴	94
伝言メモ	96
電話帳	102
電話を受ける	89
電話をかける	85
不在着信の相手に電話をかける／メッセージを 送信する	92
ポーズを入力する	86

動画を再生する	127
時計	150
アラームを設定する	150
ストップウォッチを利用する	152
タイマーを設定する	151
ドコモ nanoUIM カード	38
取り付け	38
取り外し	40
ドコモデータコピー	157
データ移行	157
バックアップ・復元	157
ドコモ電話帳	102
削除する	104
登録する	102
ラベル（グループ）を追加／編集する	105
連絡先をインポート／エクスポートする	105
連絡先を確認／利用する	103
ドコモのサービス／クラウド	189
ドコモメール	106
トラブルシューティング	223

ナ

ナビゲーションバー	49
ネットワーク暗証番号	59
ネットワークタイプ	216
ネットワークとインターネット	161

ハ

パスキー（PIN）	203
パソコンとの接続	208
バッテリー	187
比吸収率（SAR）	244
非常用節電モード	51
日付と時刻	193
表示	175
ファイル管理	199
ファイル形式	242
フォルダーやファイルの操作	200
フォルダを作成	71
ブックマーク	117
プライバシー	181
ブラウザ	115
シークレットタブを開く	116
開く	115
ブックマークや履歴を活用する	117
メニューを利用する	116
プリンターとの接続	210
便利な機能	182
防水／防塵、耐衝撃性能	30
ご使用にあたって	32
充電のときには	35
注意事項	32
防水性能でできること	31
水抜きについて	33
ポーズ	86

ホームアプリの切り替えかた	67
ホームアプリの情報	84
ホーム画面	68
アプリなどの移動	70
壁紙の変更	71
きせかえの変更	71
設定	175
本体付属品	1
本端末のご利用について	5
本端末を初期化する	194

マ

マイマガジン	82
マップ	149
開く	149
マルチウィンドウ	66
無線LAN (WLAN)	27
文字入力	53

ヤ

ユーザー補助	196
輸出管理規制	253

ラ

ロック画面とセキュリティ	176
--------------	-----

ワ

ワンセグ	136
------	-----

英数字

Bluetooth®	202
Bluetooth® テザリング	169
Chrome	115
Declaration of Conformity	250
Digital Wellbeing と保護者による使用制限	183
docomo LIVE UX	68
アプリ一覧	73
アプリを探す	80
おすすめアプリを利用	80
ホーム画面の管理	70
ホーム画面のバックアップと復元	81
ホーム画面の見かた	68
d マーケット	129
d メニュー	129
European Union Directives Conformance Statement	251
FAQ	223
FCC Statement for the USA	249
Gmail	111
Google	191
Google Play	130
GPS	147
iD アプリ	135

Important Safety Information	252
microSD カード	41
初期化する	43
取り付ける	41
取り外す	42
NFC / おサイフケータイ	173
NFC 通信	206
PIN コード	59
設定する	60
変更する	60
PIN ロック	59
PIN ロック解除コード	59
Play ストア	130
アプリをアンインストールする	131
アプリをインストールする	130
アプリを購入する	130
Q メモ+	154
Radio Frequency (RF) Signals	247
SIM ロック解除	257
SmartShare Beam	211
設定	211
ファイルを受信する	212
ファイルを送信する	212
Specific Absorption Rate (SAR) of Mobile Phones	245
USB テザリング	167

VPN	171
削除する	172
接続する	172
追加する	171
常使用する	172
編集する	172
Wi-Fi®	161
詳細設定を行う	165
接続する	162
切断する	163
追加する	163
Wi-Fi Direct®	165
Wi-Fi® Miracast 対応機器	212
Wi-Fi® テザリング	168
Windows Media Player	208
WORLD CALL	88

記号

+メッセージ	106
スレッドを削除	110
設定	110
メッセージを削除	110
メッセージを送信	108
メッセージを転送	110
メッセージを読む	110

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合

航空機内や病院では、各航空会社または各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では、電源を切ってください。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ 運転中の場合

自動車などを運転中の使用にはご注意ください。法令で定める場合を除き、運転中に本端末の画面を注視したり、手で持って通話することは、罰則の対象となります。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で本端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

■ カメラ付き端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

歩きながらのスマートフォンの使用はやめましょう

■ スマートフォンや携帯電話の画面を見つめながらの歩行は大変危険です。視野が極端に狭くなり、自分自身だけでなく、周囲の方も巻き込む事故につながることもあります。

■ スマートフォンを使用する際は、安全な場所で立ち止まって使用するようにしてください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、本端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

■ マナーモード（バイブのみ、サイレント）→P174

操作音・着信音など本端末から鳴る音を消します。

※ ただし、シャッター音は消せません。

■ 公共モード（電源OFF）→P97

電話をかけてきた相手に、電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

■ バイブ →P174

電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。

その他にも、留守番電話サービス（P97）、転送でんわサービス（P97）などのオプションサービスが利用できます。



モバイルリサイクルネットワーク
携帯電話 PHS/リサイクルのご協力

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。

※ 回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ（自社・他社製品を問わず回収）

オンラインでのご利用料金・ご利用データ量・ご契約内容の確認・ 各種手続きなど

- 本端末から
dメニュー→「My docomo（お客様サポート）」
- パソコンから
My docomo (<https://www.nttdocomo.co.jp/mydocomo/>)
- システムメンテナンスやご契約内容などにより、ご利用になれない場合があります。
- 「My docomo」のご利用には、「ネットワーク暗証番号」や「dアカウントのID / パスワード」が必要です。

海外からのお問い合わせ先（紛失・盗難・つながらない場合など）

- ドコモの携帯電話からの場合

「+」を画面表示

-81-3-6832-6600（無料）

（「+」は「0」をロングタッチします。）

※「+」発信のかわりに国際電話アクセス番号でも発信できます。

- 一般電話などからの場合

滞在国の国際電話アクセス番号

-81-3-6832-6600（有料）

※ 日本向け通話料がかかります。

※ 国際電話アクセス番号については、ドコモのホームページをご覧ください。

受付時間 24時間（年中無休）

- 番号をよくご確認の上、お間違いないようにおかけください。
- 紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
- お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

総合お問い合わせ先 〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ ドコモの携帯電話からの場合

 (局番なしの) **151** (無料)

※ 一般電話などからはご利用になれません。

■ 一般電話などからの場合

 **0120-800-000**

※ 一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 午前9:00～午後8:00 (年中無休)

- 番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
- 各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモのホームページにてお近くのドコモショップなどをご確認の上、お問い合わせください。

ドコモのホームページ <https://www.nttdocomo.co.jp/>

故障お問い合わせ・ 修理お申込み先

■ ドコモの携帯電話からの場合

 (局番なしの) **113** (無料)

※ 一般電話などからはご利用になれません。

■ 一般電話などからの場合

 **0120-800-000**

※ 一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 24時間 (年中無休)

試供品のお問い合わせ先

■ LGモバイルお客様ご相談センター

 **0120-011-167** 受付時間 午前9:00～午後6:00 (土・日・祝日・年末年始を除く)

- 番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
- 試供品については、本書内でご確認ください。



マナーもいっしょに携帯しましょう。

○ 公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。



危険です、
歩きスマホ。



キケン！
水ぬれ充電



あぶない！
電池への衝撃



Li-ion00

販売元
製造元

株式会社NTTドコモ
LG Electronics Inc.

'20.9(2版)
MFL71482601